

# 調査概要

## 1 調査目的

ふじのくに健康増進計画の進行管理を行うとともに、より機動的・効果的な健康づくり施策を今後展開するための基礎資料とするため、県民の健康に関する意識及び行動などの実態の把握・分析を行う。

## 2 調査内容

- (1) 食生活について
- (2) 身体活動・運動について
- (3) 休養・こころの健康について
- (4) タバコについて
- (5) 歯の健康について
- (6) 健康状況等について

## 3 調査方法

- (1) 調査対象 静岡県に在住する20歳以上の男女個人
- (2) 調査方法 郵送調査法（郵送配布—郵送回収）
- (3) 抽出方法 静岡県全域を母集団とし、選挙人名簿より6,000人を二段無作為抽出
- (4) 抽出対象

地域別（県内全域を伊豆・東部・中部・西部の4地域に分割）、年代別（20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の6年代に分割）、性別（男女の2分割）に対象を各125人抽出する。対象6,000人の内訳（男性3,000人、女性3,000人）

3,000人の内訳（単位：人）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
計	500	500	500	500	500	500	3,000
伊豆	125	125	125	125	125	125	750
東部	125	125	125	125	125	125	750
中部	125	125	125	125	125	125	750
西部	125	125	125	125	125	125	750

抽出地域と市町

伊豆地域：下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、熱海市、伊東市

東部地域：沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町、富士宮市、富士市

中部地域：静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町

西部地域：磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、森町、浜松市、湖西市

- (5) 調査期間 平成24年11月20日～12月14日

## 4 回収結果

発送数 6,000人（男性3,000人、女性3,000人）

回収数 3,060票

回収率 51.0%

ただし、白票を除く。また、性別、年齢、市町のいずれかが無回答を除いた回答数を有効回収数とした。

性・地域・年代別の有効回収数と有効回収率

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
全体	315 31.5%	362 36.2%	441 44.1%	542 54.2%	676 67.6%	675 67.5%	3,011 50.2%
男性全体	129 25.8%	155 31.0%	194 38.8%	250 50.0%	312 62.4%	345 69.0%	1,385 46.2%
伊豆	34 27.2%	30 24.0%	48 38.4%	60 48.0%	67 53.6%	81 64.8%	320 42.7%
東部	29 23.2%	39 31.2%	46 36.8%	55 44.0%	75 60.0%	85 68.0%	329 43.9%
中部	34 27.2%	38 30.4%	50 40.0%	68 54.4%	82 65.6%	90 72.0%	362 48.3%
西部	32 25.6%	48 38.4%	50 40.0%	67 53.6%	88 70.4%	89 71.2%	374 49.9%
女性全体	186 37.2%	207 41.4%	247 49.4%	292 58.4%	364 72.8%	330 66.0%	1,626 54.2%
伊豆	41 32.8%	52 41.6%	43 34.4%	70 56.0%	80 64.0%	81 64.8%	367 48.9%
東部	46 36.8%	48 38.4%	65 52.0%	75 60.0%	85 68.0%	85 68.0%	404 53.9%
中部	55 44.0%	52 41.6%	72 57.6%	79 63.2%	93 74.4%	82 65.6%	433 57.7%
西部	44 35.2%	55 44.0%	67 53.6%	68 54.4%	106 84.8%	82 65.6%	422 56.3%

上段：有効回収数

下段：有効回収率

## 5 報告書の見方

比率はすべて百分率で表し、小数第二位を四捨五入で算出した。そのため、百分率の合計が100%にならないことがある。数値も小数第一位を四捨五入しているため、合計数にならないことがある。

複数回答の設間は、全ての回答比率を合計すると100%を超える。

## 6 集計上の重み付け

集計において、代表性がある結果として扱えるようにするため、各地域の性別・年代別・地域別人口を考慮し、重み付けを行っている。

○ 重み付けの値

		全体集計用重み付け (W <sub>1</sub> )		性別集計用重み付け (W <sub>2</sub> )		地域別集計用重み付け (W <sub>3</sub> )		性・年代別集計用重み付け (W <sub>4</sub> )		性・地域別集計用重み付け (W <sub>5</sub> )	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
伊豆	20歳代	0.14	0.12	0.14	0.13	0.64	0.55	0.10	0.14	0.65	0.54
	30歳代	0.29	0.17	0.27	0.18	1.29	0.74	0.18	0.14	1.31	0.73
	40歳代	0.22	0.25	0.20	0.26	0.96	1.09	0.17	0.25	0.97	1.08
	50歳代	0.18	0.16	0.17	0.17	0.82	0.73	0.19	0.20	0.83	0.72
	60歳代	0.25	0.24	0.24	0.26	1.11	1.08	0.29	0.32	1.13	1.06
	70歳以上	0.24	0.35	0.22	0.37	1.05	1.57	0.30	0.31	1.06	1.54
東部	20歳代	1.75	1.00	1.65	1.05	1.52	0.87	1.26	1.10	1.39	0.93
	30歳代	1.92	1.44	1.81	1.51	1.66	1.25	1.16	1.24	1.52	1.35
	40歳代	1.62	1.08	1.53	1.13	1.41	0.94	1.25	1.11	1.29	1.01
	50歳代	1.22	0.88	1.15	0.93	1.06	0.76	1.28	1.09	0.97	0.82
	60歳代	1.00	0.93	0.95	0.98	0.87	0.80	1.16	1.21	0.80	0.87
	70歳以上	0.84	1.19	0.80	1.25	0.73	1.03	1.07	1.03	0.67	1.12
中部	20歳代	1.61	1.01	1.52	1.06	1.34	0.84	1.16	1.11	1.27	0.88
	30歳代	2.06	1.45	1.95	1.53	1.71	1.20	1.25	1.25	1.62	1.26
	40歳代	1.57	1.07	1.48	1.12	1.30	0.89	1.21	1.10	1.23	0.93
	50歳代	1.08	0.95	1.03	0.99	0.90	0.78	1.14	1.17	0.85	0.82
	60歳代	1.05	0.98	1.00	1.03	0.87	0.81	1.22	1.27	0.83	0.85
	70歳以上	0.98	1.52	0.93	1.60	0.82	1.26	1.25	1.31	0.77	1.32
西部	20歳代	2.14	1.41	2.02	1.49	1.62	1.07	1.54	1.56	1.54	1.12
	30歳代	1.96	1.58	1.85	1.67	1.48	1.20	1.19	1.36	1.41	1.25
	40歳代	1.77	1.24	1.68	1.30	1.34	0.93	1.36	1.27	1.27	0.98
	50歳代	1.28	1.22	1.21	1.28	0.96	0.92	1.34	1.52	0.92	0.97
	60歳代	1.04	0.86	0.98	0.90	0.79	0.65	1.20	1.12	0.75	0.68
	70歳以上	1.03	1.55	0.98	1.63	0.78	1.17	1.31	1.34	0.74	1.23

○ 重み付けの算出方法

(1) 全体集計用重み付け (W<sub>1</sub>)

$$W_1 = \frac{\text{有効回収総数}3,011 \times (\text{当該性} \cdot \text{年代} \cdot \text{地域の実人口} / \text{県全体の対象人口総数})}{\text{当該性} \cdot \text{年代} \cdot \text{地域の有効回収数}}$$

(2) 性別集計重み付け (W<sub>2</sub>)

$$W_2 = \frac{\text{当該性の有効回収総数} \times (\text{当該性} \cdot \text{年代} \cdot \text{地域の実人口} / \text{当該性の対象人口総数})}{\text{当該性} \cdot \text{年代} \cdot \text{地域の有効回収数}}$$

(3) 地域別集計重み付け ( $w_3$ )

$$W_3 = \frac{\text{当該地域の有効回収総数} \times (\text{当該性} \cdot \text{年代} \cdot \text{地域の実人口} / \text{当該地域の対象人口総数})}{\text{当該性} \cdot \text{年代} \cdot \text{地域の有効回収数}}$$

(4) 性・年代別重み付け ( $w_4$ )

$$W_4 = \frac{\text{当該性} \cdot \text{年代の有効回収総数} \times (\text{当該性} \cdot \text{年代} \cdot \text{地域の実人口} / \text{当該性} \cdot \text{年代の対象人口総数})}{\text{当該性} \cdot \text{年代} \cdot \text{地域の有効回収数}}$$

(5) 性・地域別重み付け ( $w_5$ )

$$W_5 = \frac{\text{当該性} \cdot \text{地域の有効回収総数} \times (\text{当該性} \cdot \text{年代} \cdot \text{地域の実人口} / \text{当該性} \cdot \text{地域の対象人口総数})}{\text{当該性} \cdot \text{年代} \cdot \text{地域の有効回収数}}$$

※ ただし、いずれも「対象人口」は、静岡県の20歳以上の人口を表す。

	有効回収数		H23. 10. 1現在の対象人口	
	男性	女性	男性	女性
県全体	1,385	1,626	1,482,584	1,565,613
伊豆地域全体	320	367	71,730	84,902
20歳代	34	41	4,942	5,125
30歳代	30	52	8,800	8,804
40歳代	48	43	10,460	10,723
50歳代	60	70	11,196	11,625
60歳代	67	80	17,019	19,674
70歳以上	81	81	19,313	28,951
東部地域全体	329	404	419,158	436,691
20歳代	29	46	51,327	46,469
30歳代	39	48	75,673	69,982
40歳代	46	65	75,505	70,998
50歳代	55	75	67,934	66,862
60歳代	75	85	76,176	79,855
70歳以上	85	85	72,543	102,525
中部地域全体	362	433	465,545	503,792
20歳代	34	55	55,351	56,069
30歳代	38	52	79,294	76,381
40歳代	50	72	79,282	77,874
50歳代	68	79	74,661	75,590
60歳代	82	93	87,353	91,827
70歳以上	90	82	89,604	126,051
西部地域全体	374	422	526,151	540,228
20歳代	32	44	69,336	62,925
30歳代	48	55	95,009	88,199
40歳代	50	67	89,651	83,853
50歳代	67	68	86,566	84,110
60歳代	88	106	92,556	92,145
70歳以上	89	82	93,033	128,996

# 回答者属性

回答者属性では、重みを付けることなく、実際の回答者の属性を示している。

## F 1 性別

	全体	男性	女性
回答数	3,011	1,385	1,626
割合	100.0	46.0	54.0

## F 2 年齢

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	3,011	315	362	441	542	676	675
割合	100.0	10.5	12.0	14.6	18.0	22.5	22.4

## F 3 あなたは何人暮らしですか。あなたを含めた人数を教えてください。

	全体	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
回答数	3,011	272	822	695	571	623	28
割合	100.0	9.0	27.3	23.1	19.0	20.7	0.9

## F 5 あなたのお仕事など

	全体	収入のある仕事をしている	専業主婦、専業主夫	学生	無職	その他	無回答
回答数	3,011	1,771	449	59	663	34	35
割合	100.0	58.8	14.9	2.0	22.0	1.1	1.2

## F 5-2 1週間の労働時間を平均するとおおよどのくらいですか。

(F 5で「収入のある仕事をしている」と回答した人)

	全体	20時間未満	20～40時間未満	40～60時間未満	60時間以上	無回答
回答数	1,771	254	538	803	153	23
割合	100.0	14.3	30.4	45.3	8.6	1.3

#### F 4 お住まいの市町名と地域

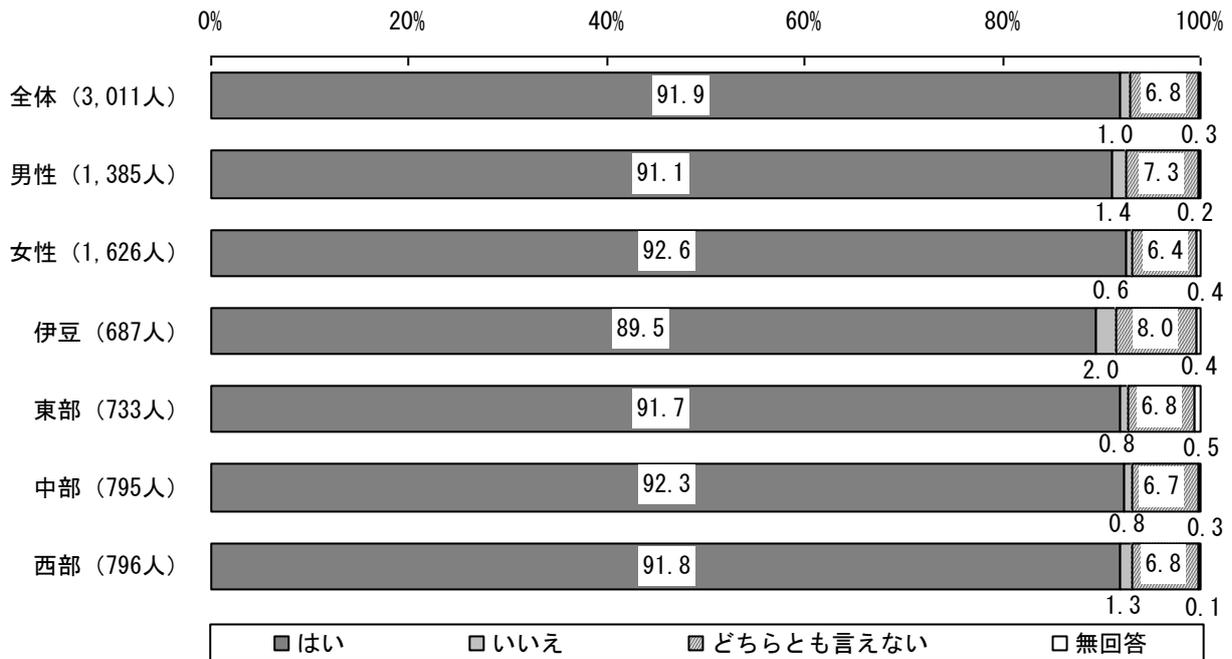
	回答数	割合
全体	3,011	100.0
<b>伊豆地域全体</b>	687	22.8
下田市	98	3.3
東伊豆町	44	1.5
河津町	37	1.2
南伊豆町	43	1.4
松崎町	28	0.9
西伊豆町	44	1.5
熱海市	142	4.7
伊東市	251	8.3
<b>東部地域全体</b>	733	24.3
沼津市	137	4.5
三島市	79	2.6
御殿場市	69	2.3
裾野市	44	1.5
伊豆市	22	0.7
伊豆の国市	36	1.2
函南町	29	1.0
清水町	21	0.7
長泉町	27	0.9
小山町	12	0.4
富士宮市	89	3.0
富士市	168	5.6
<b>中部地域全体</b>	795	26.4
静岡市	484	16.1
島田市	63	2.1
焼津市	96	3.2
藤枝市	93	3.1
牧之原市	33	1.1
吉田町	18	0.6
川根本町	8	0.3
<b>西部地域全体</b>	796	26.4
磐田市	105	3.5
掛川市	70	2.3
袋井市	47	1.6
御前崎市	16	0.5
菊川市	26	0.9
森町	12	0.4
浜松市	481	16.0
湖西市	39	1.3

# 調査結果

## 1 食生活について

### 1-1 食事の摂取状況

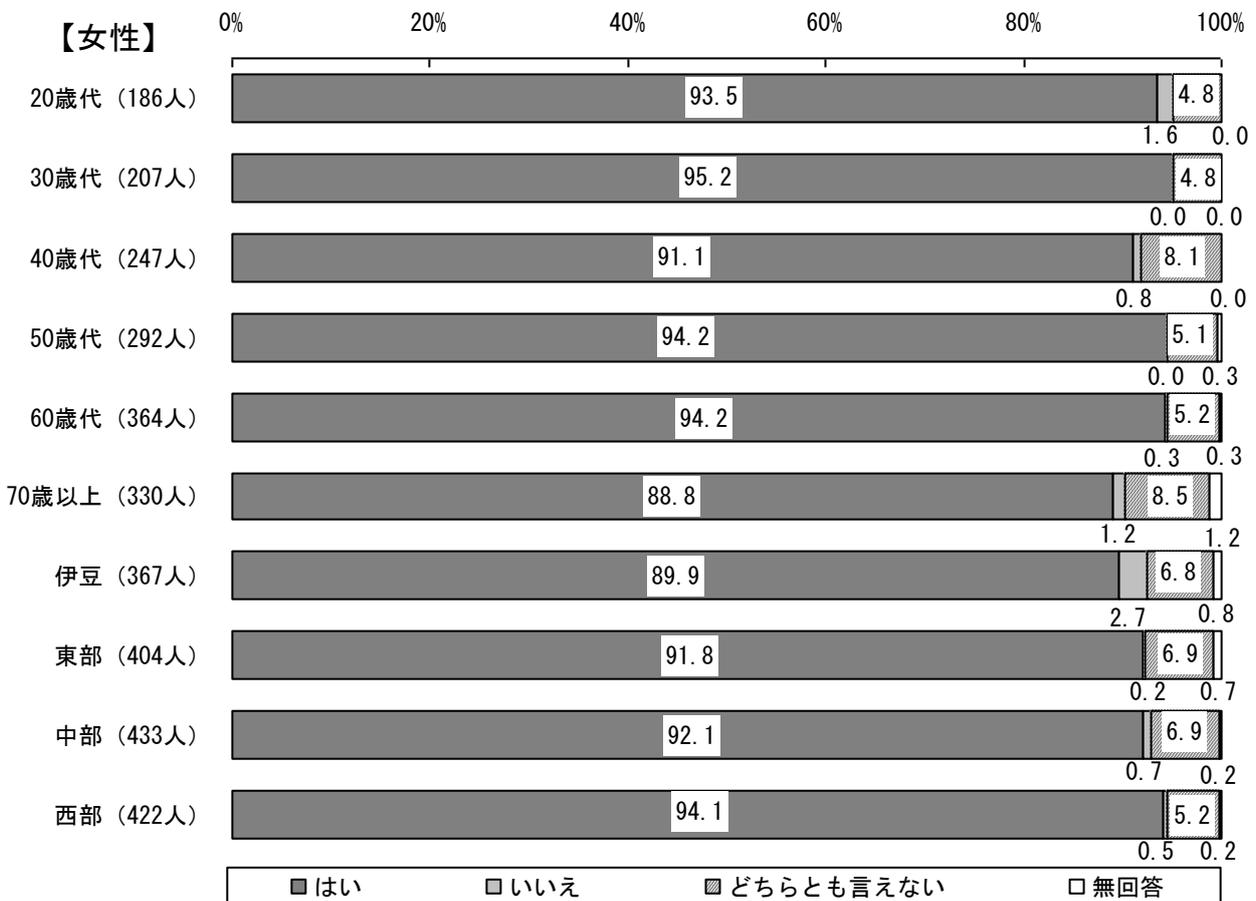
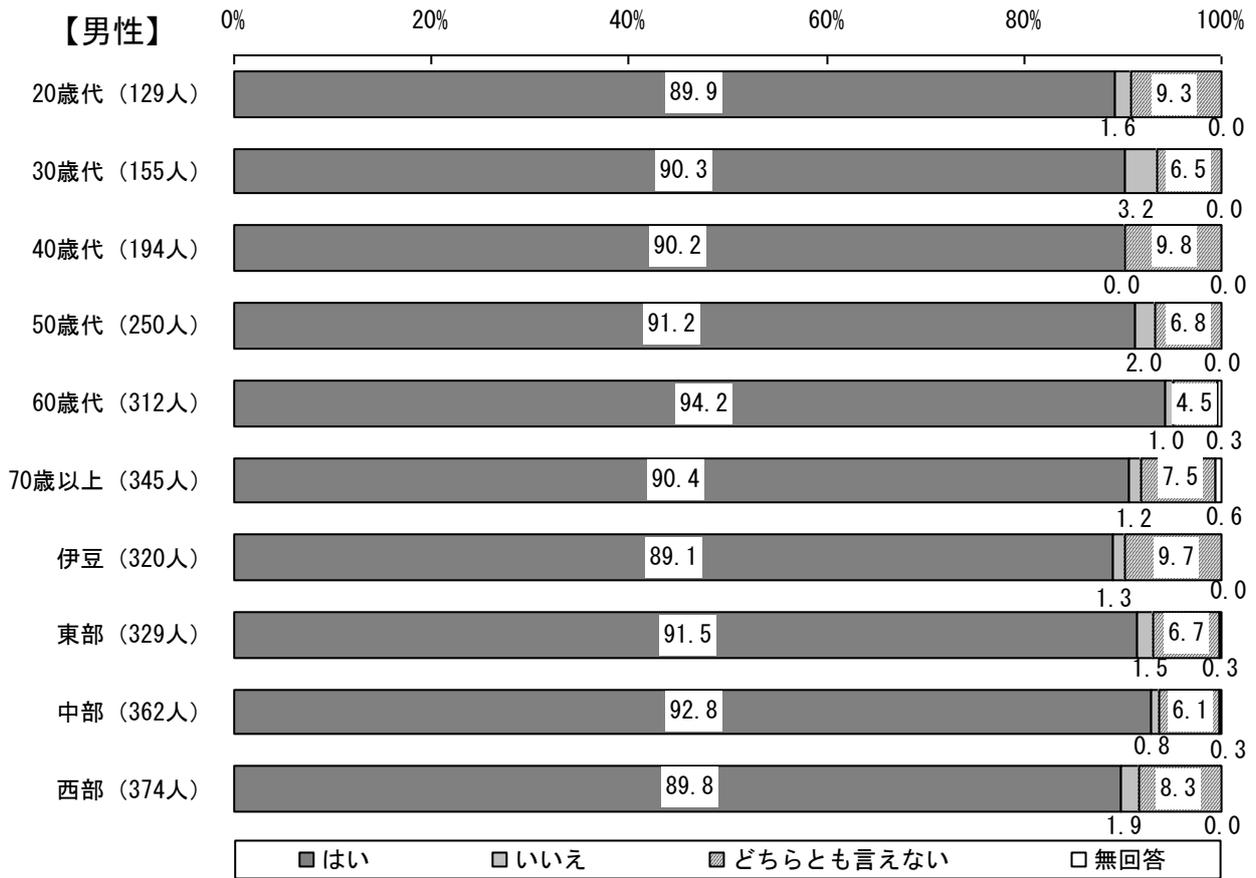
【問1】あなたは、おいしく食事ができますか。



食事の摂取状況について、「おいしく食事ができますか。」とたずねたところ、全体では「はい」は91.9%、「いいえ」は1.0%、「どちらとも言えない」は6.8%となっている。

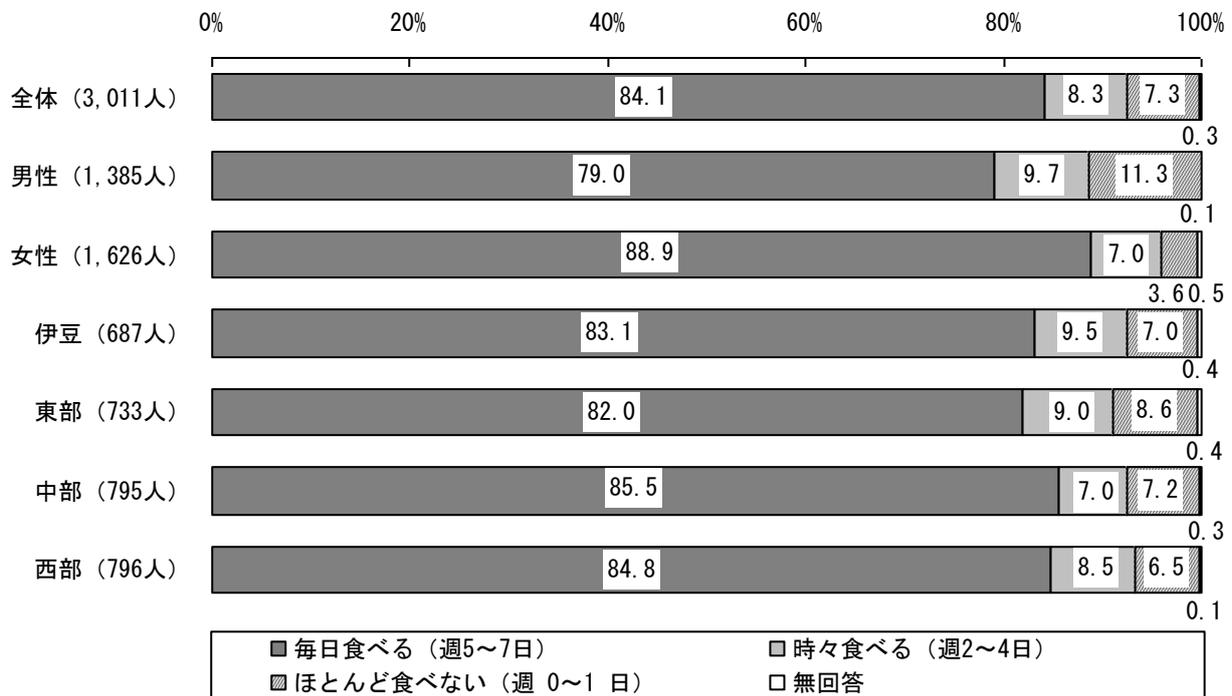
性別では、「はい」は男性が91.1%、女性が92.6%と1.5ポイント女性が上回っている。

地域別では、「はい」との回答が最も高かったのは中部が92.3%、最も低かったのは伊豆が89.5%となっている。



## 1-2 朝食の摂取の有無

【問2】あなたは、ふだん朝食を食べますか。

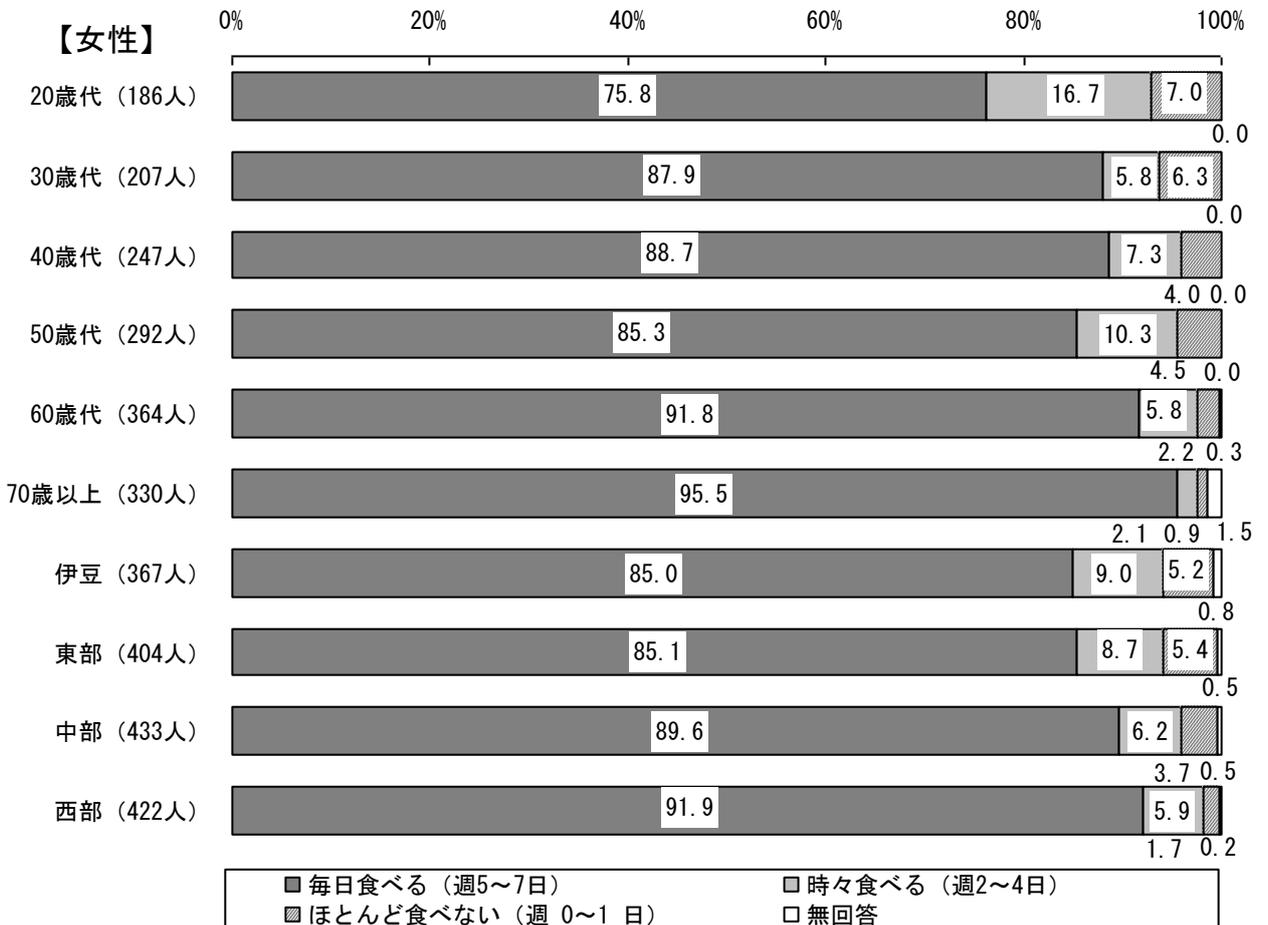
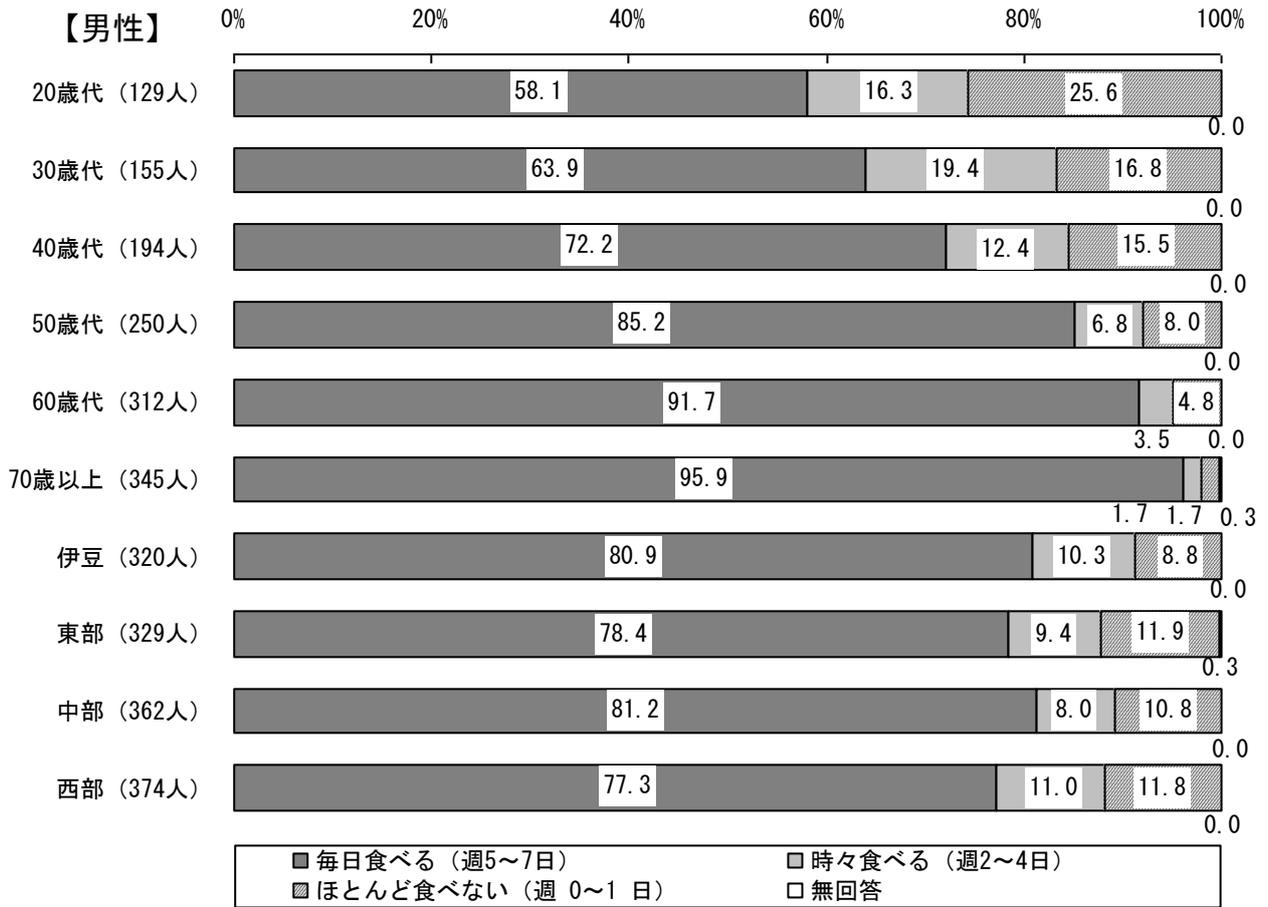


朝食の摂取の有無について、全体では「毎日食べる (週5~7日)」は84.1%、「時々食べる (週2~4日)」は8.3%、「ほとんど食べない (週0~1日)」は7.3%となっている。

性別では、「毎日食べる (週5~7日)」は男性が79.0%、女性が88.9%と9.9ポイント女性が上回っている。

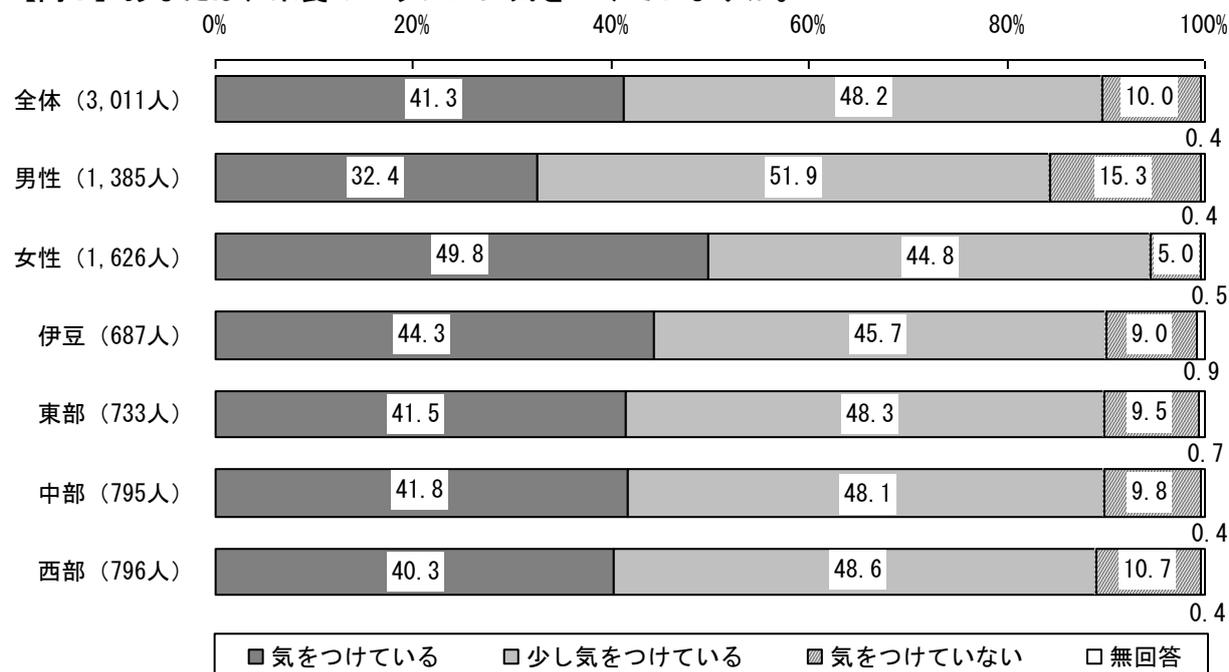
地域別では、「毎日食べる (週5~7日)」との回答が最も高かったのは中部が85.5%、最も低かったのは東部が82.0%となっている。

性・年代別にみると、男性は年代があがるにつれ「毎日食べる (週5~7日)」割合が高くなり、男性20歳代では58.1%、男性70歳以上では95.9%となっている。男女間の比較では、20歳代から40歳代で、「毎日食べる (週5~7日)」割合が、男性は女性に比べ1~2割程度低くなっている。



### 1-3 栄養バランスの意識

【問3】あなたは、栄養のバランスに気をつけていますか。

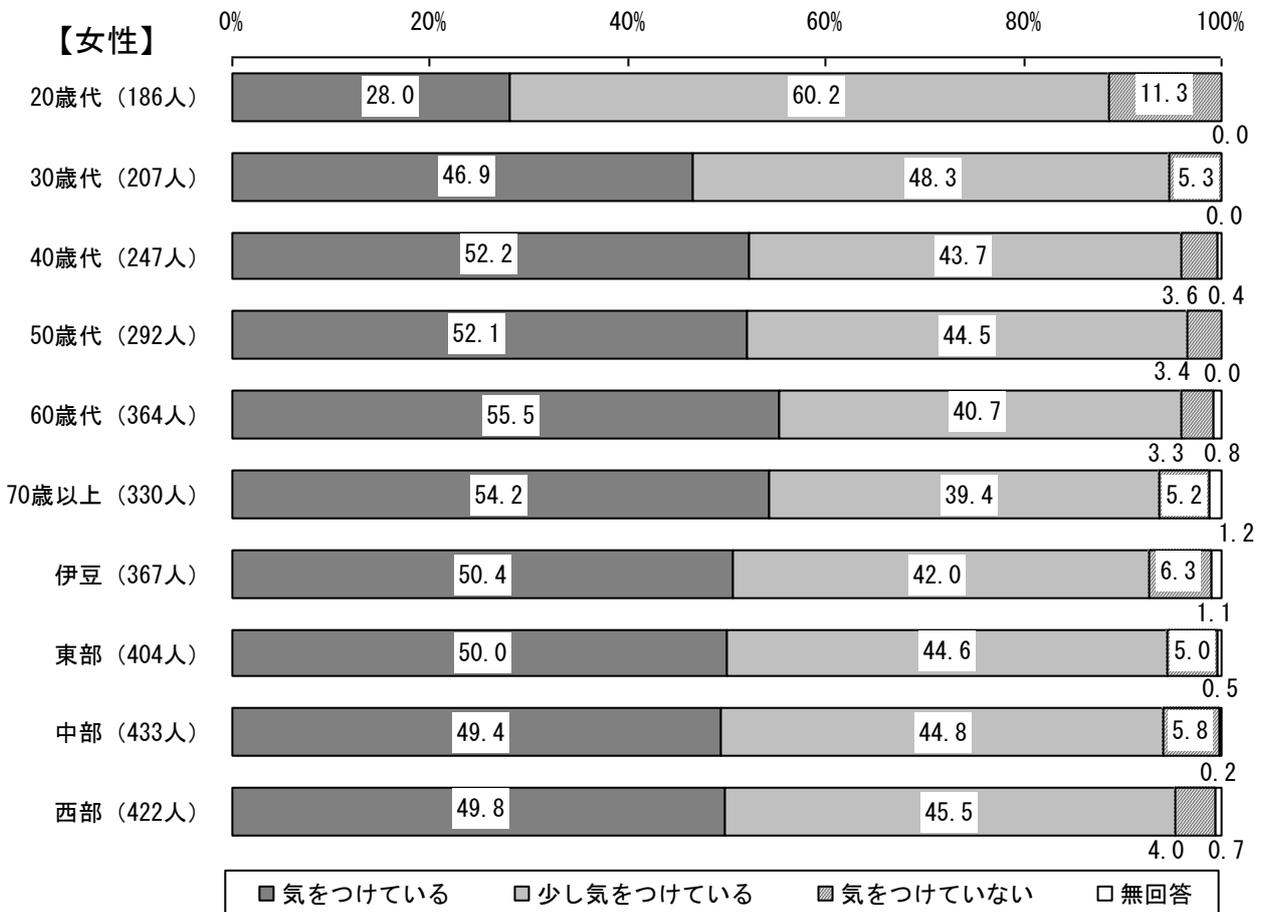
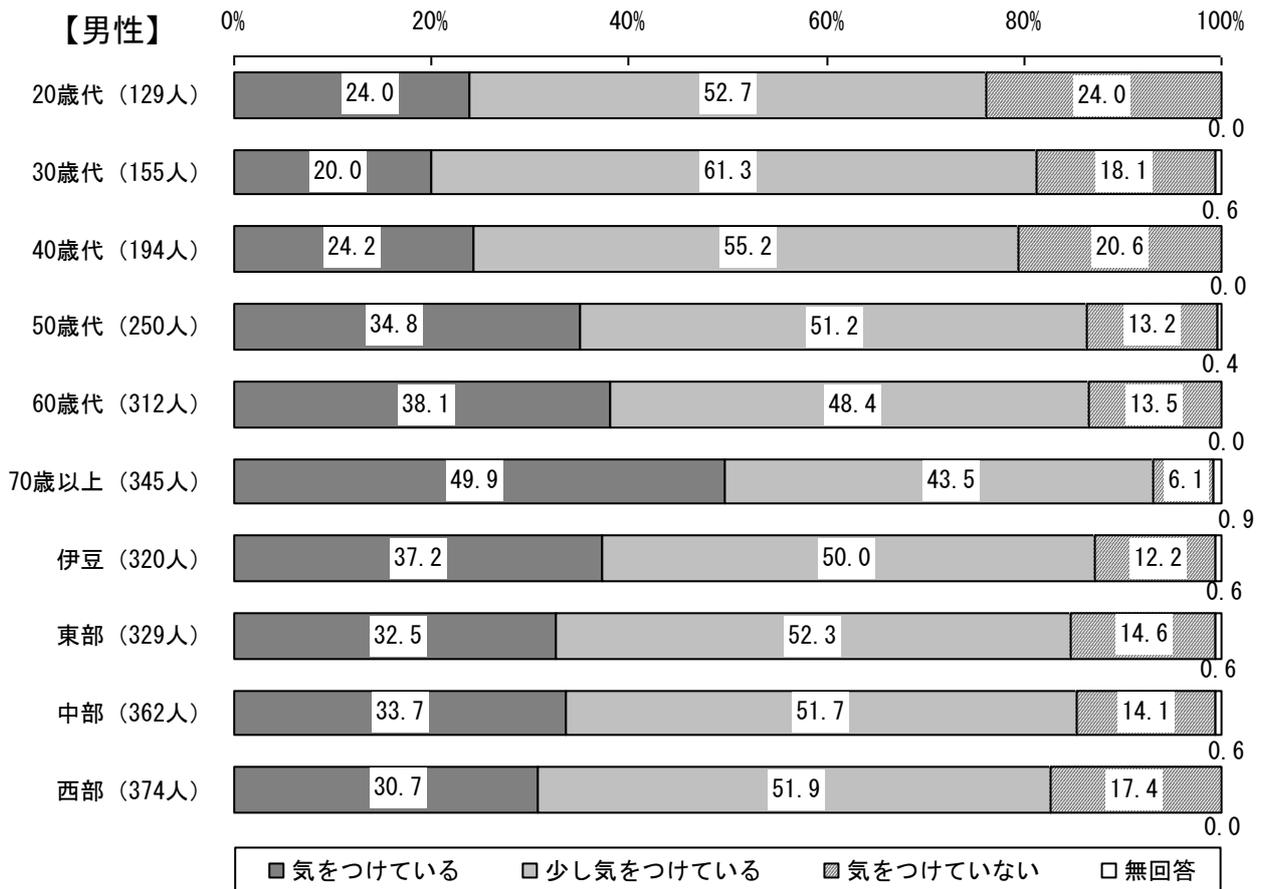


栄養のバランスの意識について、全体では「気をつけている」が41.3%、「少し気をつけている」が48.2%、「気をつけていない」が10.0%となっている。「気をつけている」「少し気をつけている」を合わせた気をつけているとの回答は89.5%となっている。

性別では、気をつけているとの回答は男性が84.3%、女性が94.6%と女性が10.3ポイント上回っている。

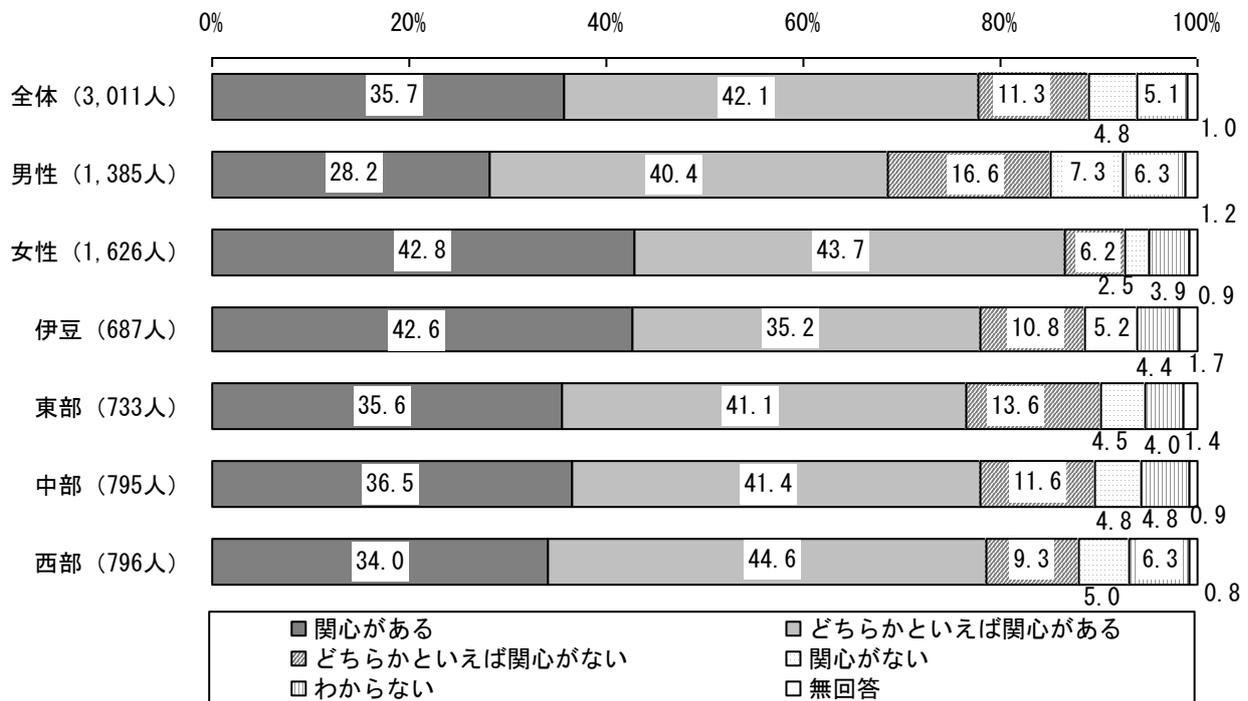
地域別では、気をつけているとの回答が最も高かったのは伊豆が90.0%、最も低かったのは西部が88.9%と大きな差異はみられない。

性・年代別にみると、「気をつけていない」との回答は、男性20歳代24.0%、男性40歳代20.6%、男性30歳代18.1%と他の年代と比較し割合が高くなっている。



## 1-4 食育への関心

【問4】あなたは食育に関心がありますか。

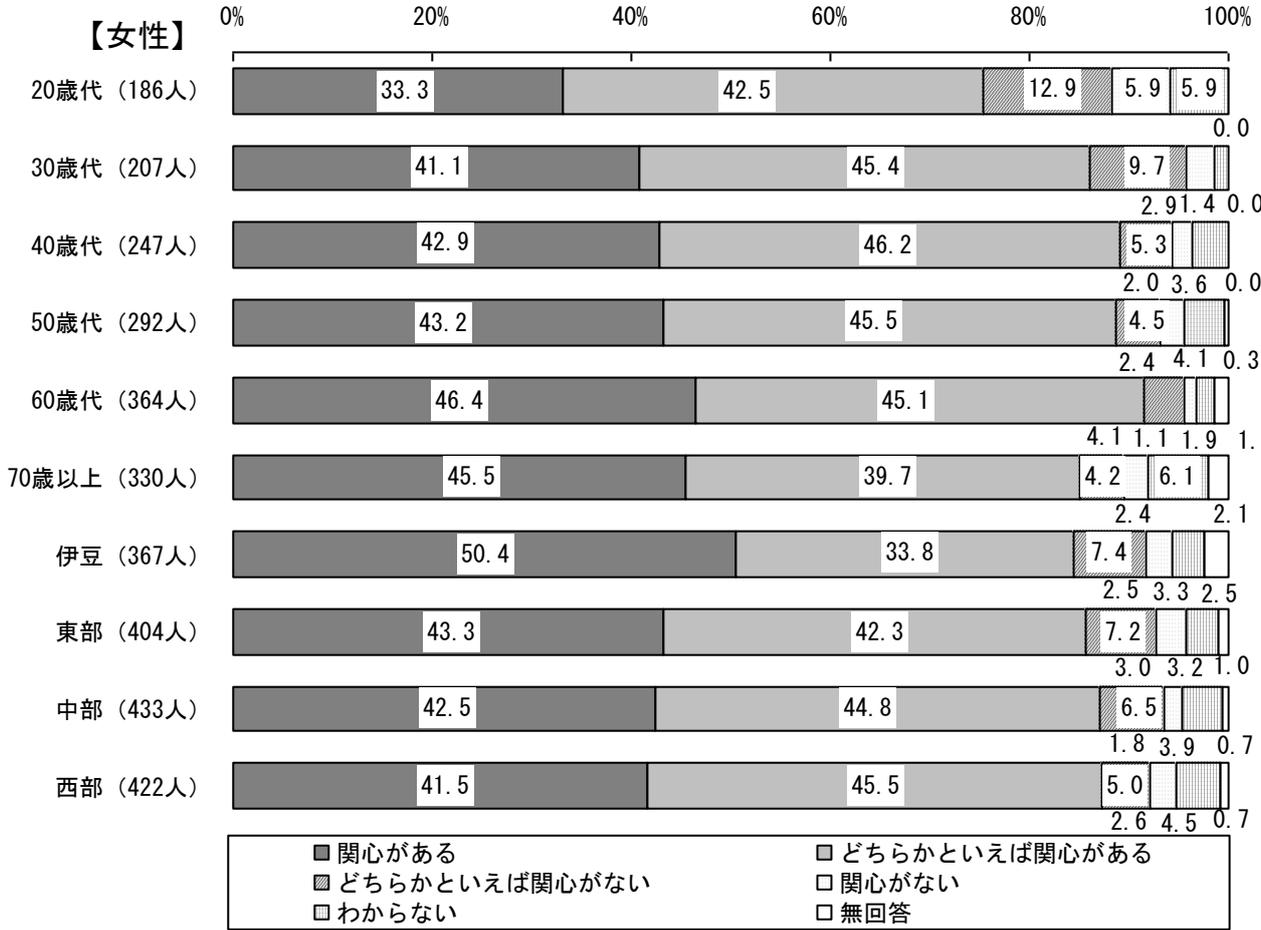
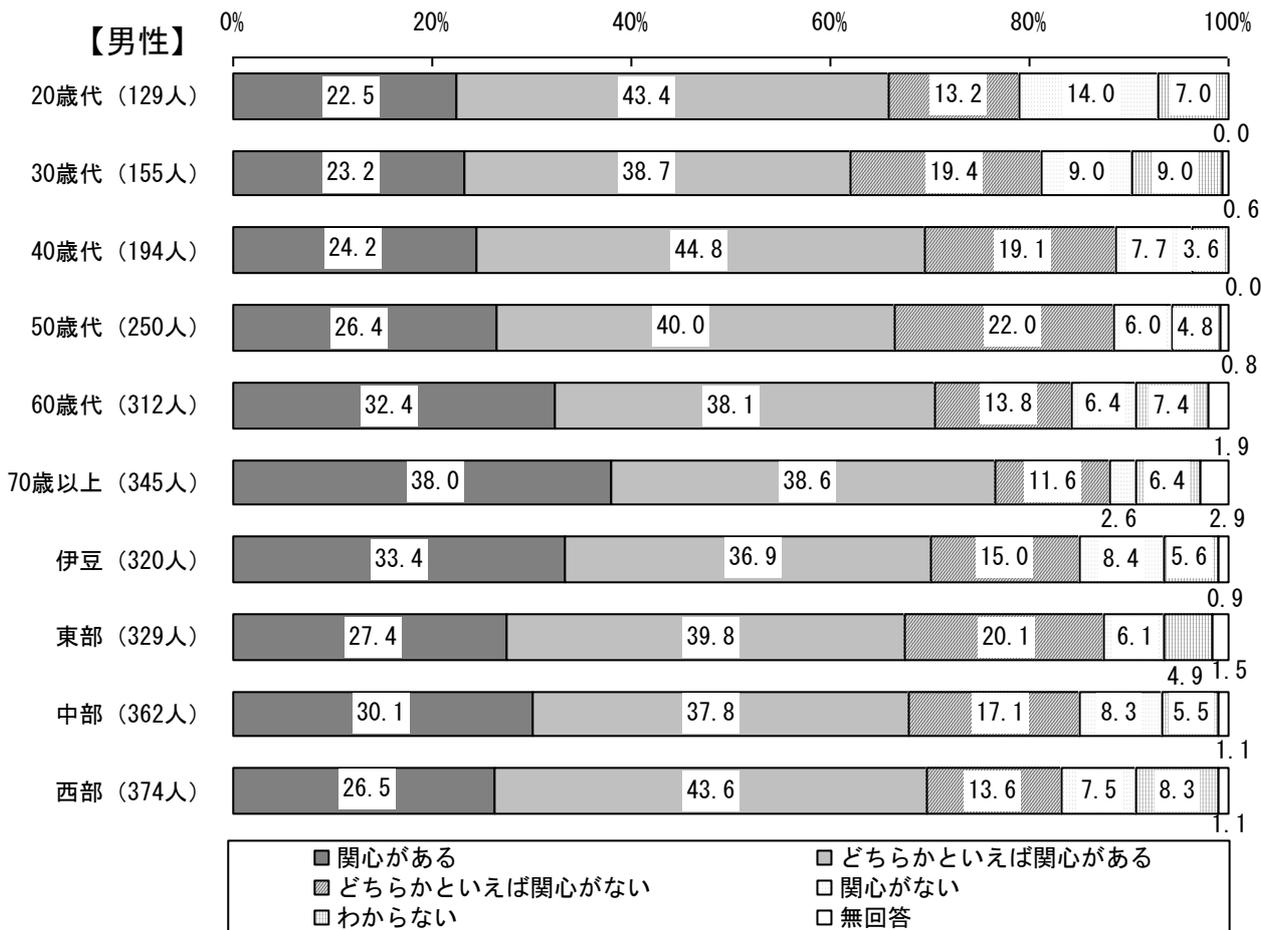


食育への関心について、全体では「関心がある」が35.7%、「どちらかといえば関心がある」が42.1%と「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた関心があるとの回答は77.8%となっている。一方「どちらかといえば関心がない」「関心がない」を合わせた関心がないとの回答は16.1%となっている。

性別では、関心があるとの回答は男性が68.6%、女性が86.5%と女性が17.9ポイント上回っている。

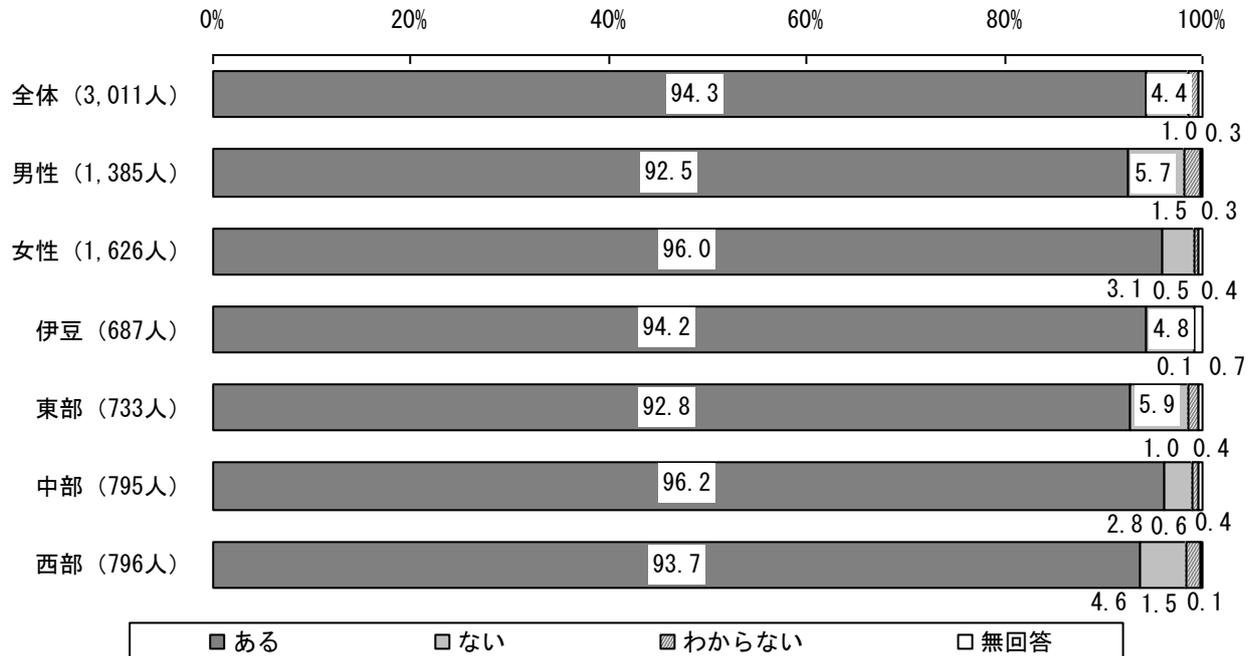
地域別では、関心があるとの回答は、最も高いのは西部が78.6%、最も低いのは東部が76.7%と大きな差異はみられない。

性・年代別にみると、関心があるとの回答は、男女間の比較では30歳代から60歳代で女性の方が2割程度関心度が高くなっている。



## 1-5 急須の有無

【問5】あなたのお宅には、急須がありますか。

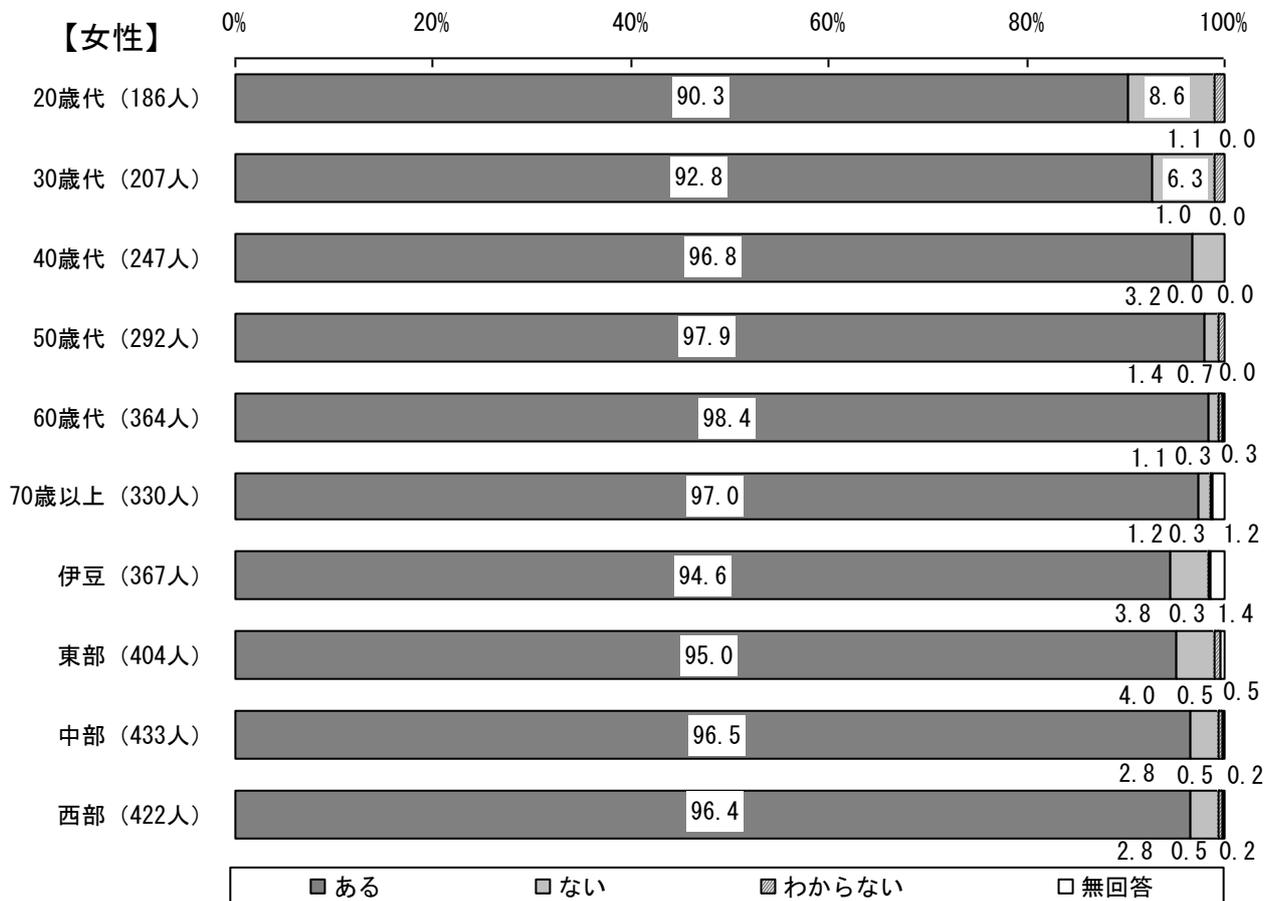
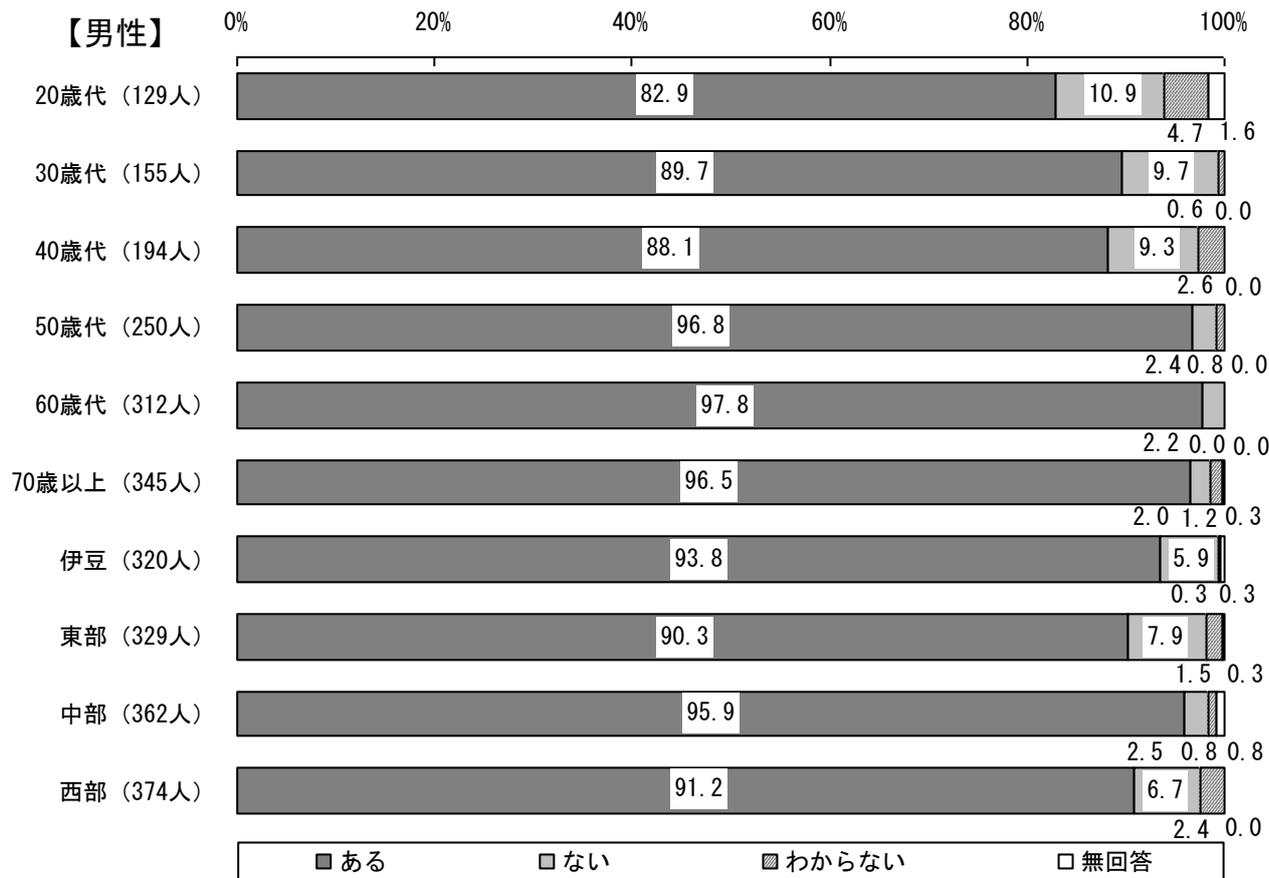


急須の有無について、全体では「ある」が94.3%、「ない」が4.4%となっている。

性別では、「ある」は男性が92.5%、女性が96.0%となっている。

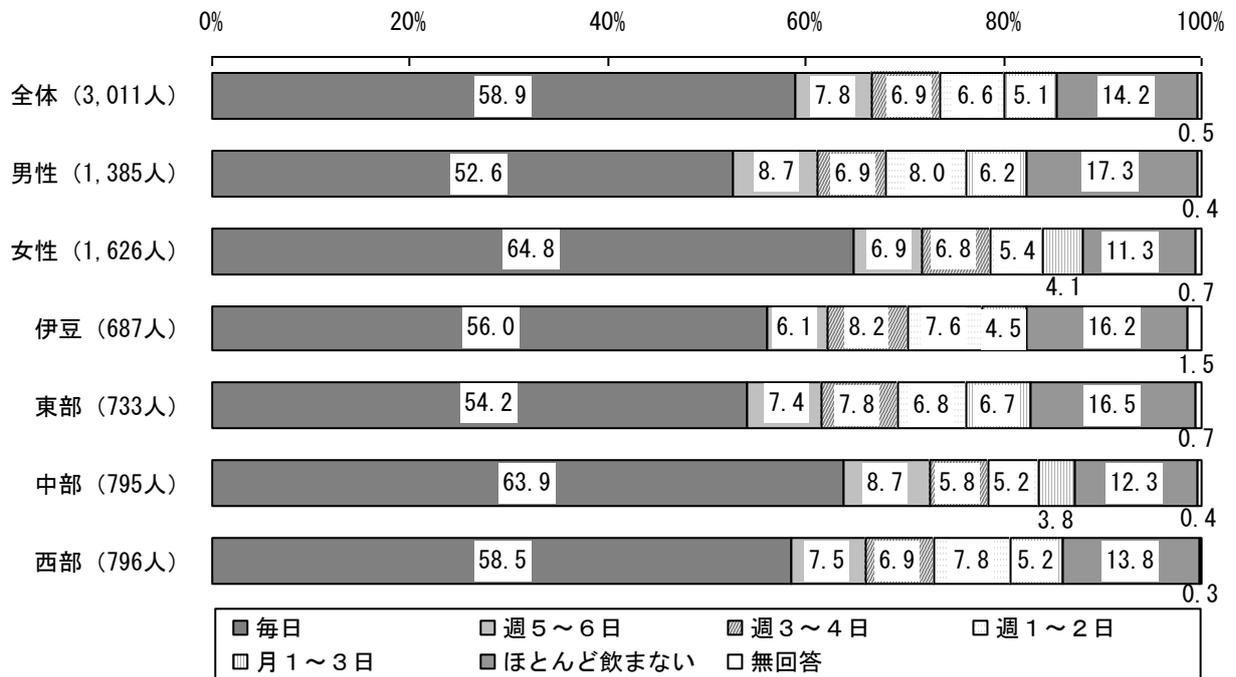
地域別では、「ある」との回答が最も高いのは中部が96.2%、最も低いのは東部が92.8%となっている。

性・年代別にみると、「ある」が男性20歳代82.9%、男性30歳代89.7%、男性40歳代88.1%と9割に満たないが、他の性・年代、いずれの地域でも9割を超えている。



## 1-6 茶葉で淹れた緑茶の飲用頻度と1日あたりの飲む量

【問6】あなたは、茶葉で淹れた緑茶をこの1ヶ月間にどのくらい飲みましたか。

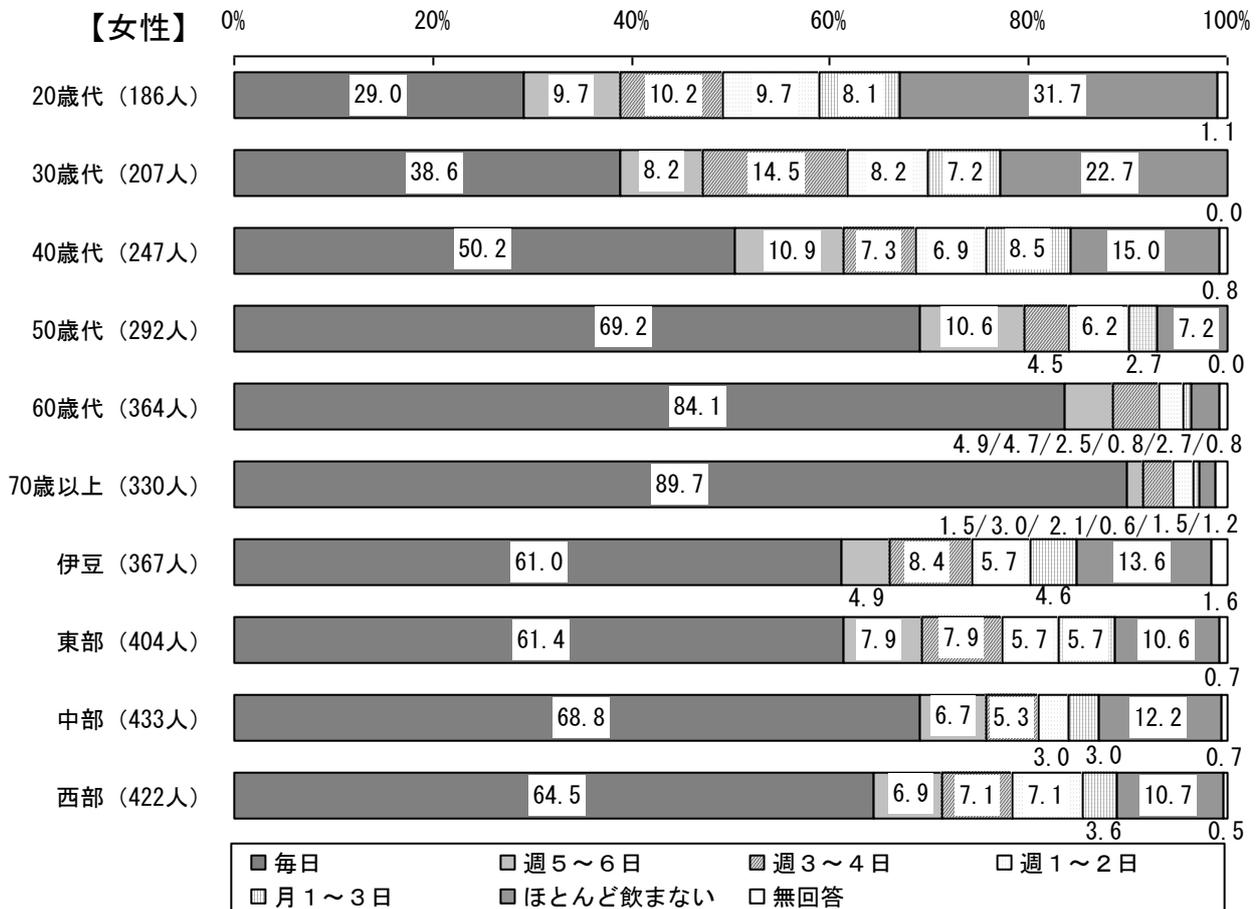
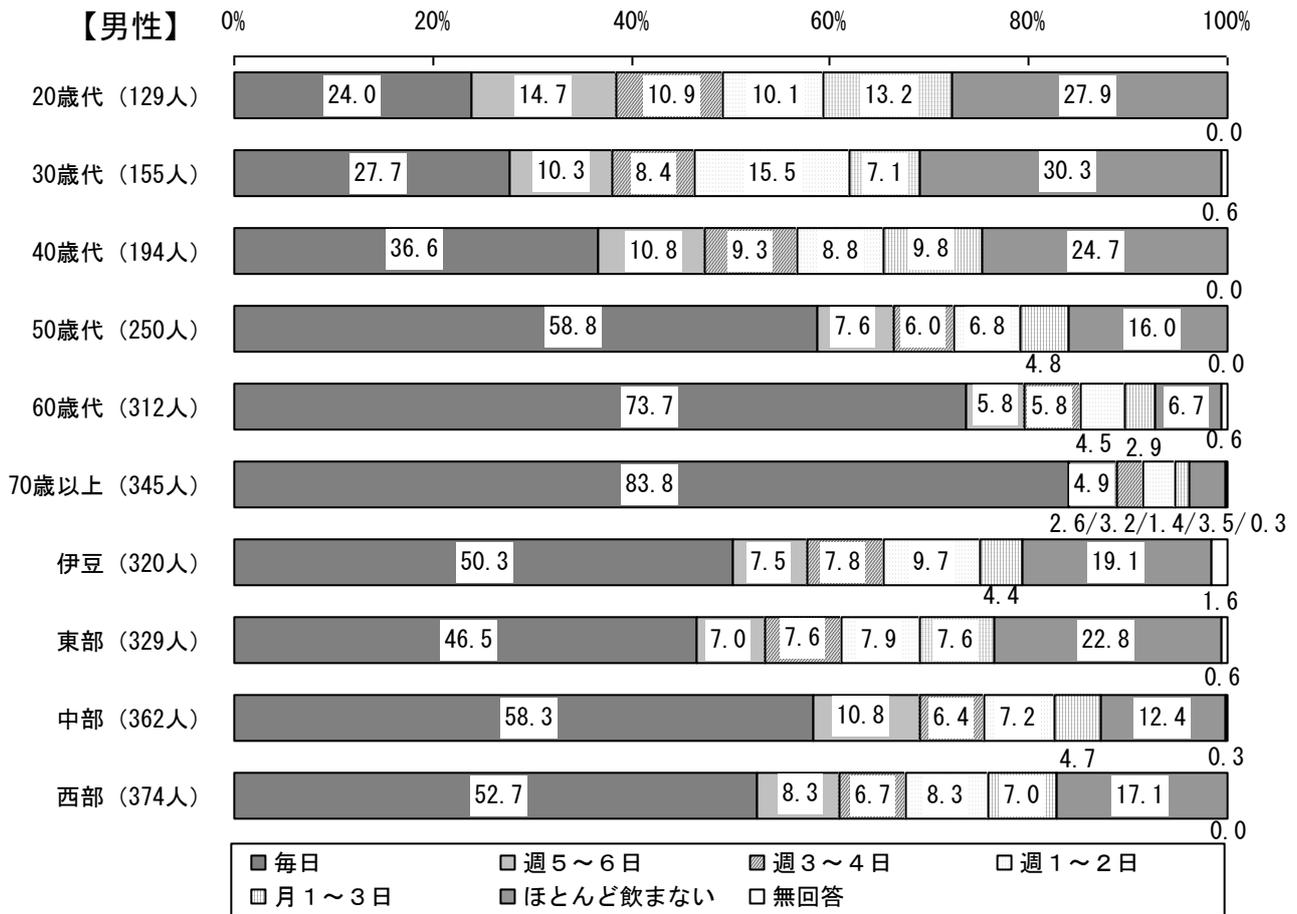


茶葉で淹れた緑茶の飲用頻度について、全体では「毎日」は58.9%、「週5~6日」は7.8%、「週3~4日」は6.9%、「週1~2日」は6.6%、「月1~3日」は5.1%、「ほとんど飲まない」は14.2%となっている。

性別では、「毎日」は男性が52.6%、女性が64.8%と女性が12.2ポイント上回っている。

地域別では、「毎日」との回答が最も高かったのは中部が63.9%、最も低かったのは東部が54.2%となっている。

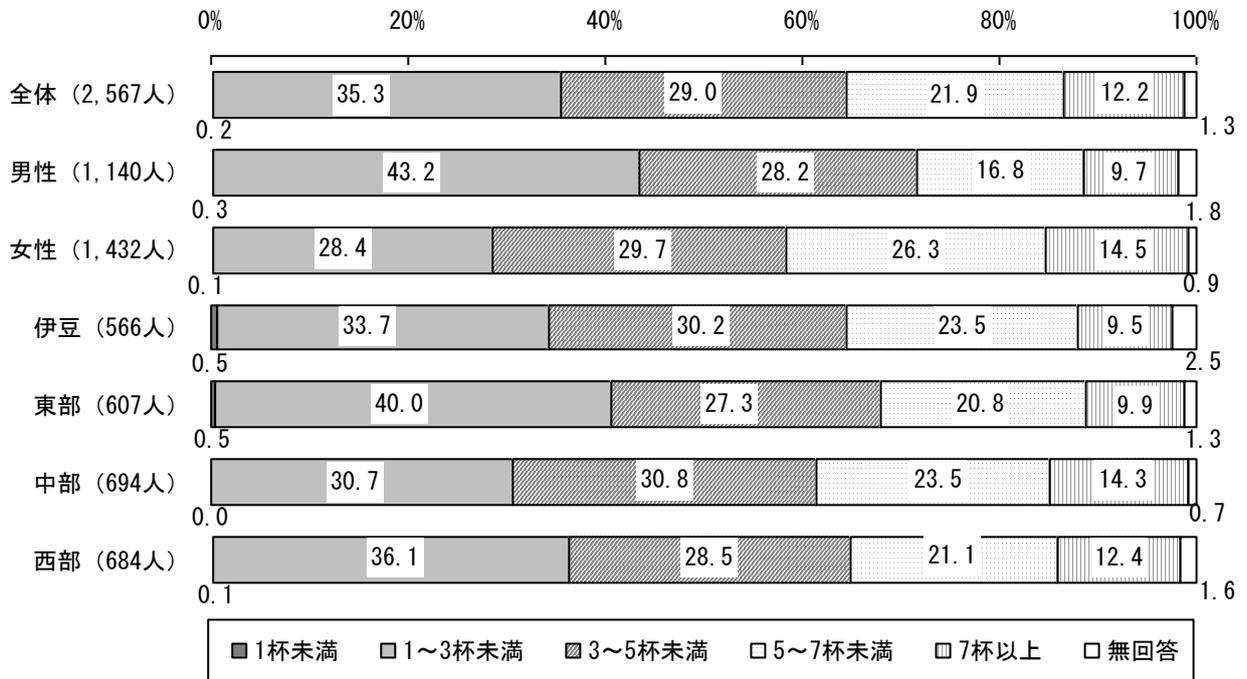
性・年代別にみると、「毎日」が男女共に年代があがるにつれ高くなり、男性20歳代24.0%から男性70歳以上83.8%、女性20歳代29.0%から女性70歳以上89.7%と高くなっている。



【問6-2】茶葉で淹れた緑茶を飲む日は、1日あたりどのくらいの量を飲みますか。

（【問6】茶葉で淹れた緑茶をこの1ヶ月間に1日以上、飲むと回答した人。）

1杯：湯呑 150ml とする。

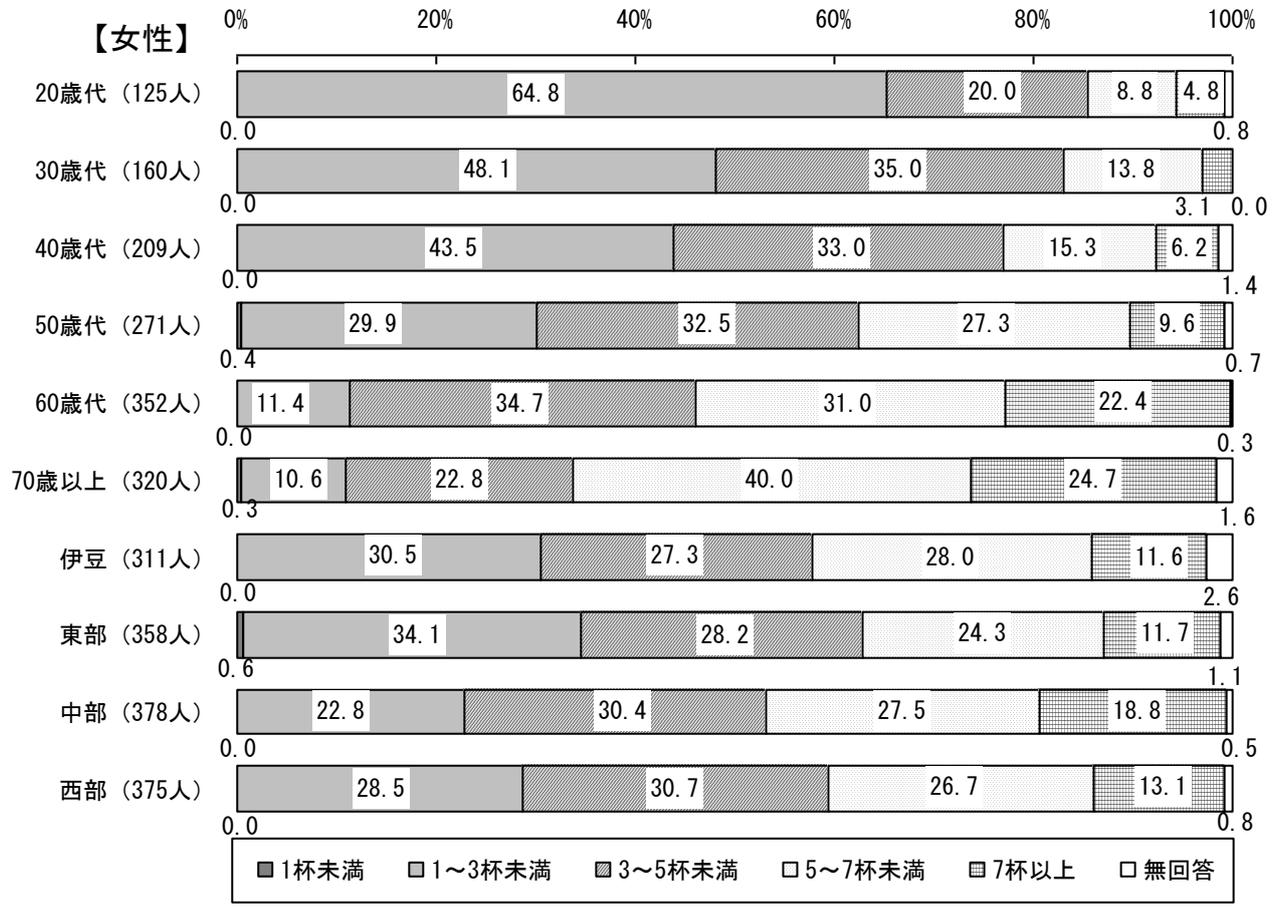
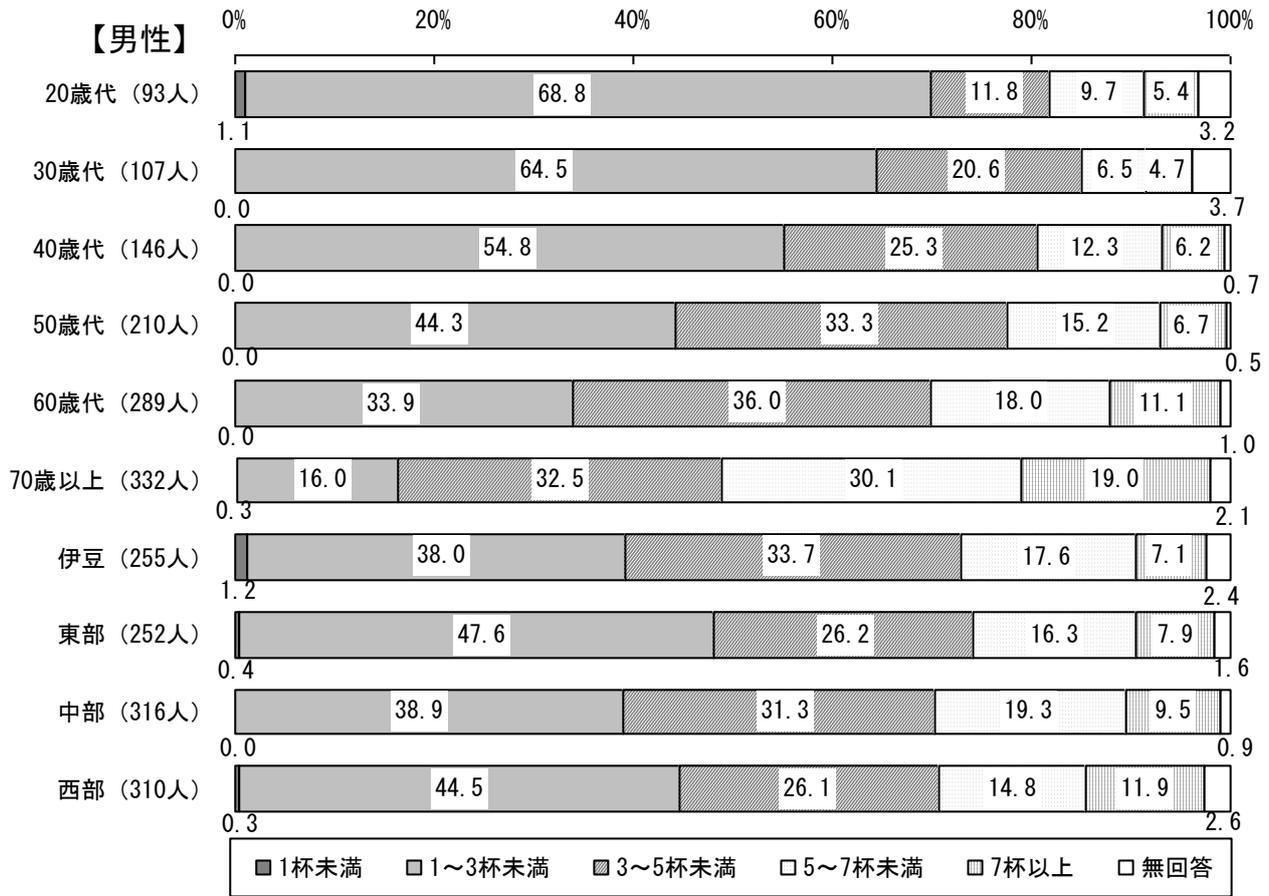


前問で茶葉で淹れた緑茶をこの1ヶ月間に1日以上、飲むと回答した方の1日あたりの飲む量について、全体では「1杯未満」は0.2%、「1~3杯未満」は35.3%、「3~5杯未満」は29.0%、「5~7杯未満」は21.9%、「7杯以上」は12.2%となり、3杯以上との回答は63.1%となっている。

性別では、3杯以上との回答は、男性が54.7%、女性が70.5%となっている。

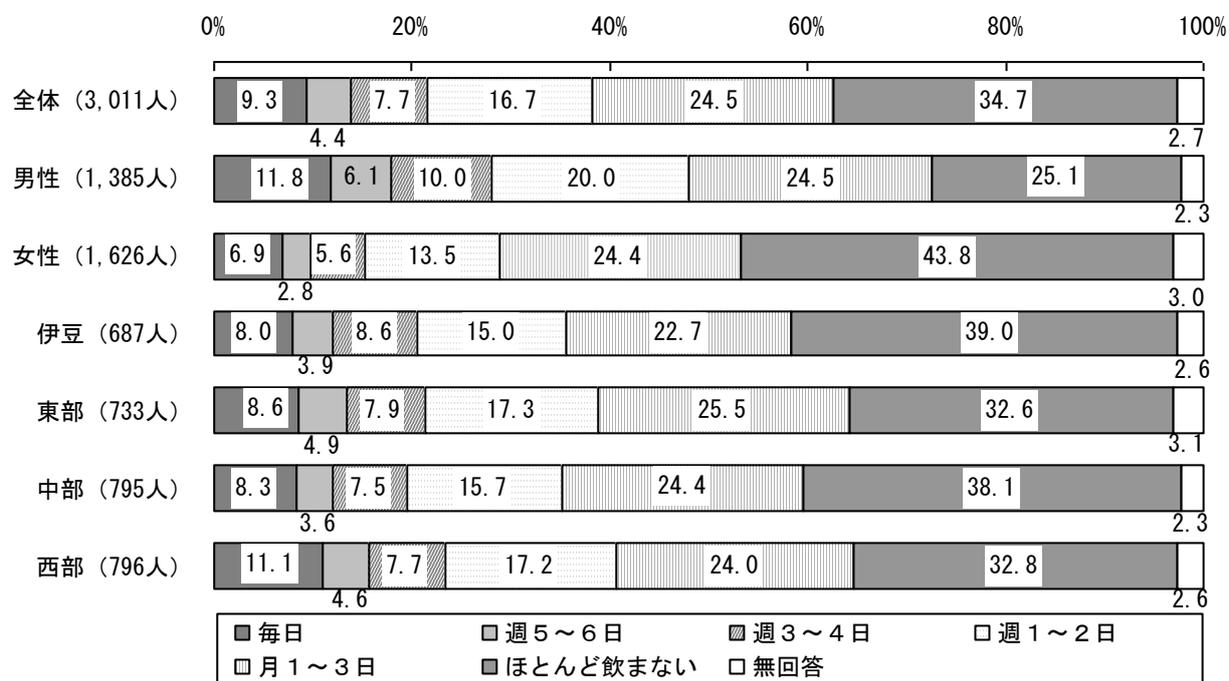
地域別では、3杯以上との回答が最も高かったのは中部が68.6%、最も低かったのは東部が58.0%となっている。

性・年代別にみると、3杯以上との回答は男女共に年代があがるにつれ高くなり、男性20歳代26.9%から男性70歳以上81.6%、女性20歳代33.6%から女性70歳以上87.5%と高くなっている。



### 1-7 缶やペットボトルのお茶の飲用頻度と1日あたりの飲む量

【問7】あなたは、缶やペットボトルのお茶を、この1ヶ月間にどのくらい飲みましたか。

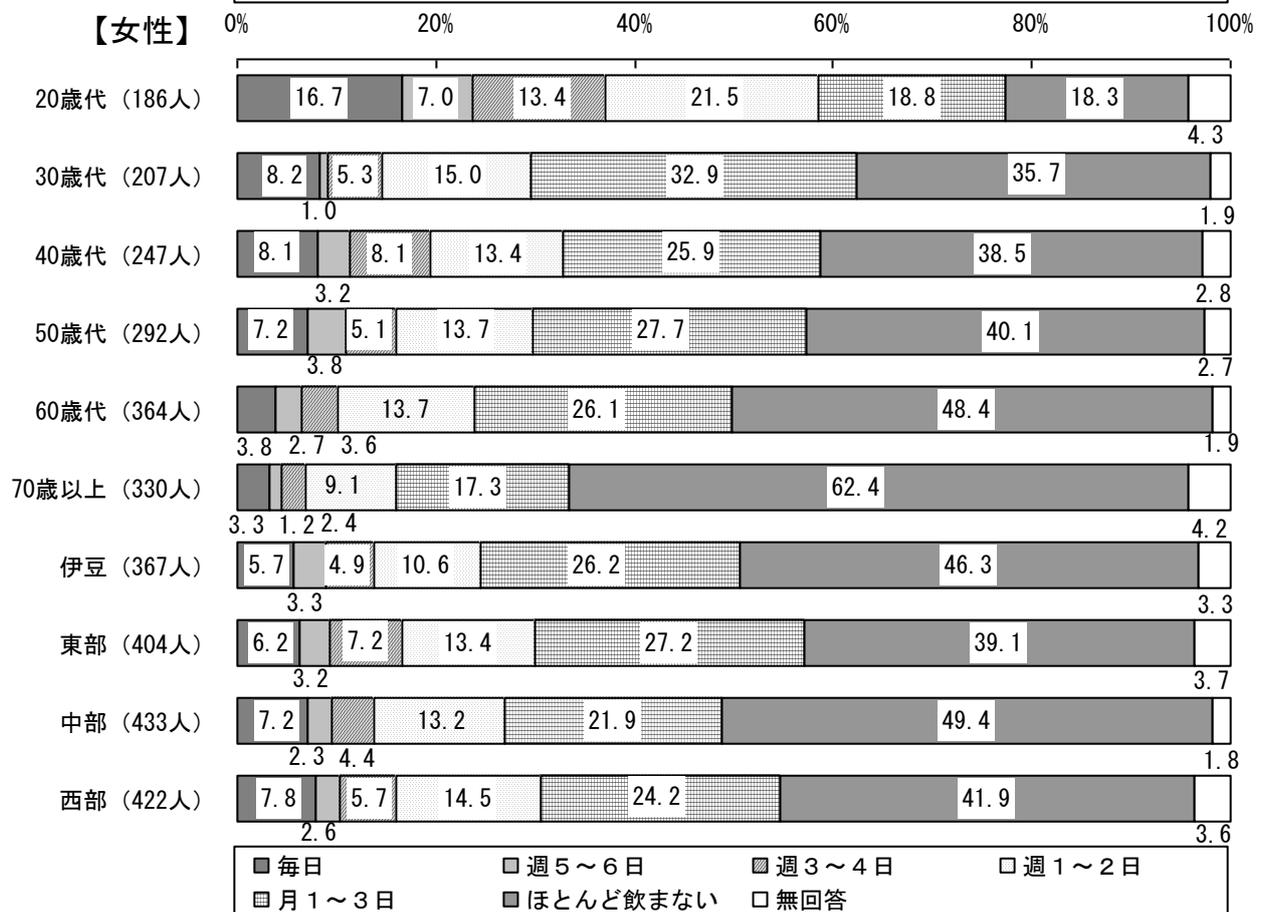
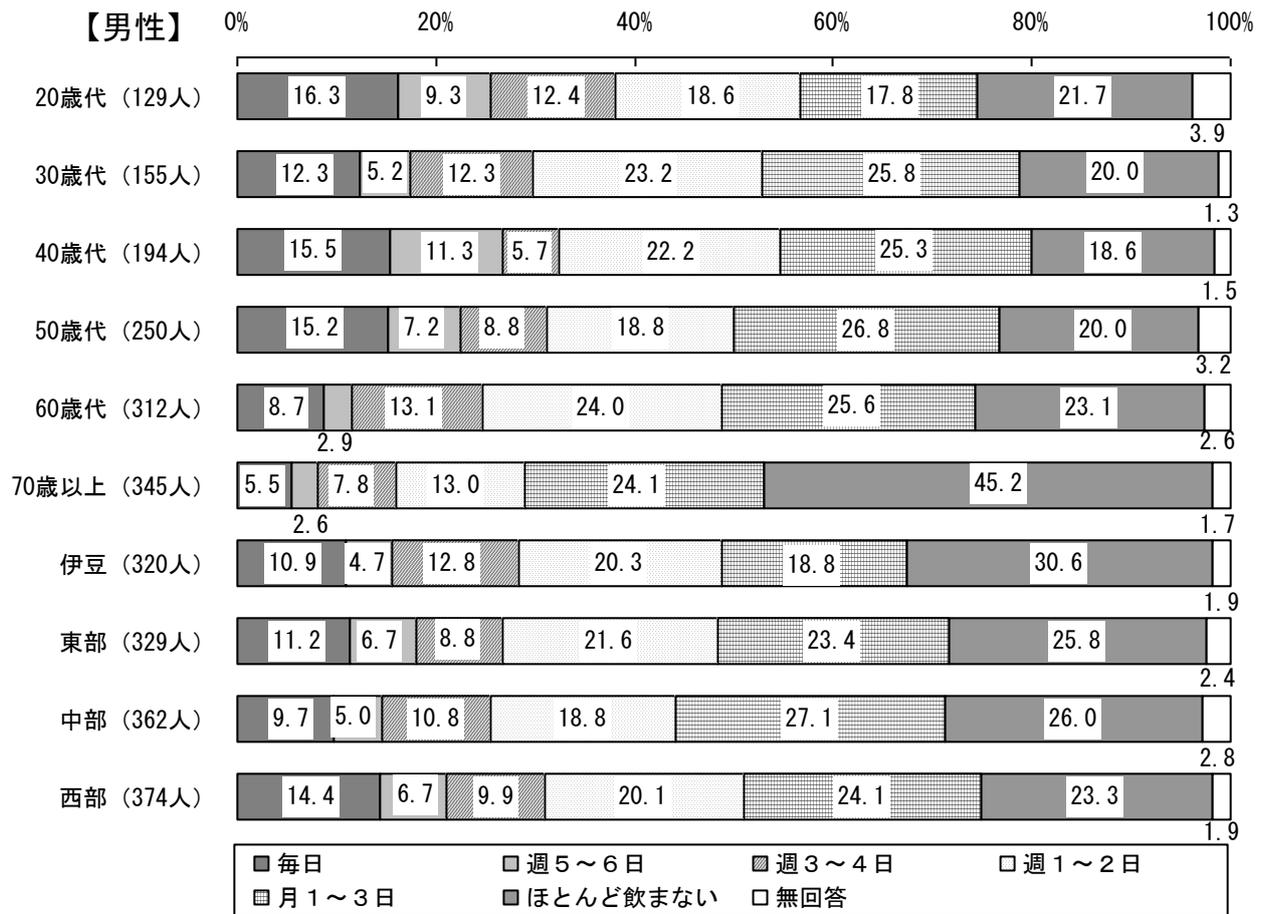


缶やペットボトルのお茶の飲用頻度について、全体では「毎日」は9.3%、「週5~6日」は4.4%、「週3~4日」は7.7%、「週1~2日」は16.7%、「月1~3日」は24.5%、「ほとんど飲まない」は34.7%と週3日以上との回答は21.4%となっている。

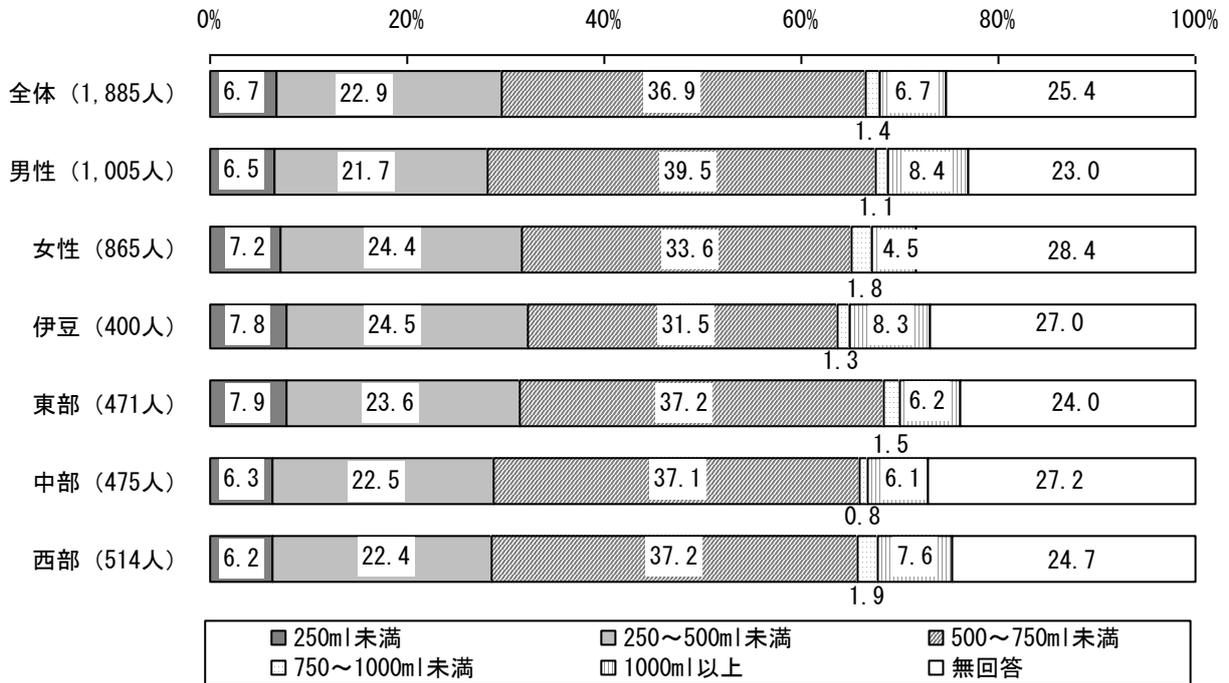
性別では、「毎日」は男性が11.8%、女性が6.9%と男性が4.9ポイント上回り、週3日以上との回答は男性が27.9%、女性が15.3%と男性が12.6ポイント上回っている。

地域別では、週3日以上との回答が最も高かったのは西部が23.4%、最も低かったのは中部が19.4%となっている。

性・年代別にみると、週3日以上との回答が男女共に20歳代が最も高く、男性20歳代38.0%、女性20歳代37.1%となっている。



【問7-2】 缶やペットボトルのお茶を飲む日は、1日あたりどのくらいの量を飲みますか。  
 (【問7】 缶やペットボトルのお茶を、この1ヶ月間に1日以上、飲むと回答した人。)

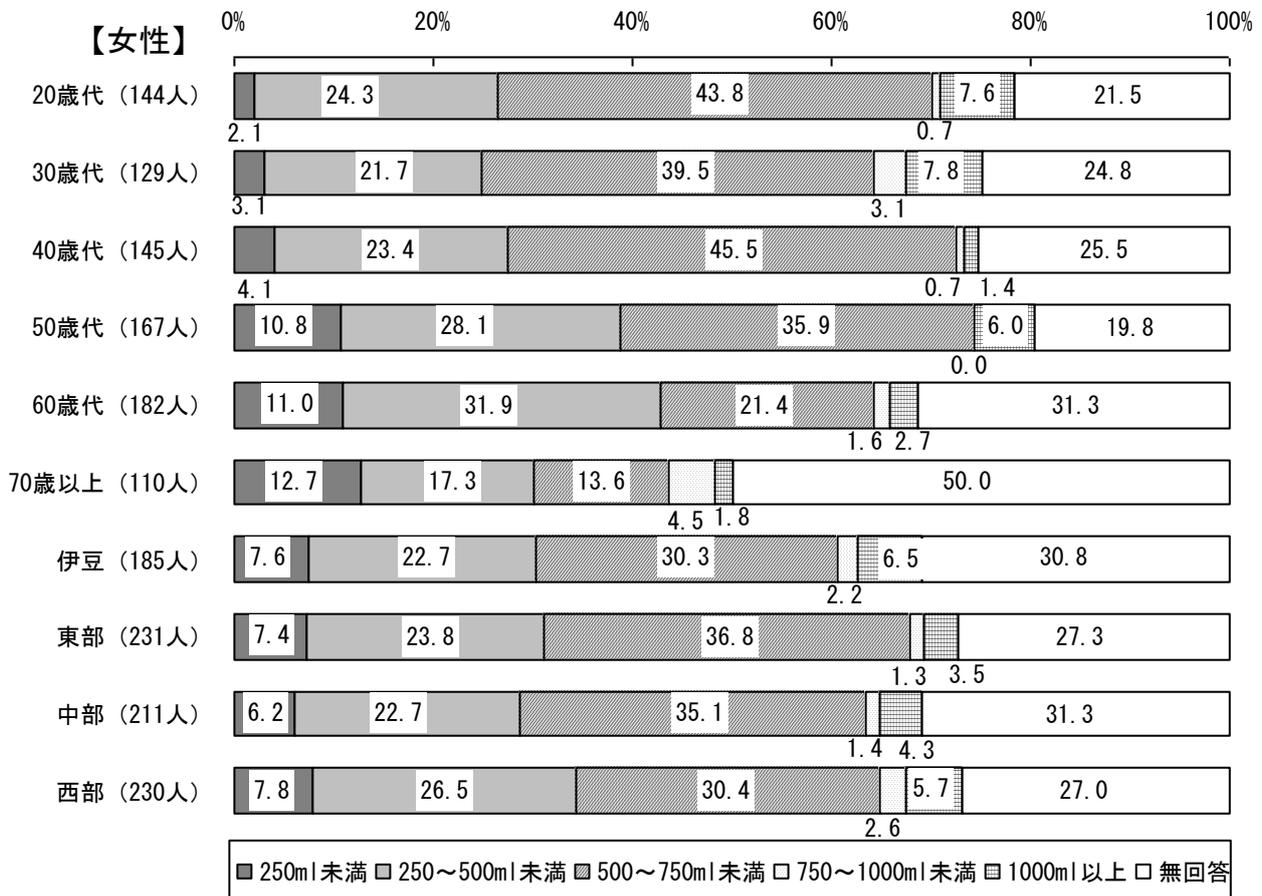
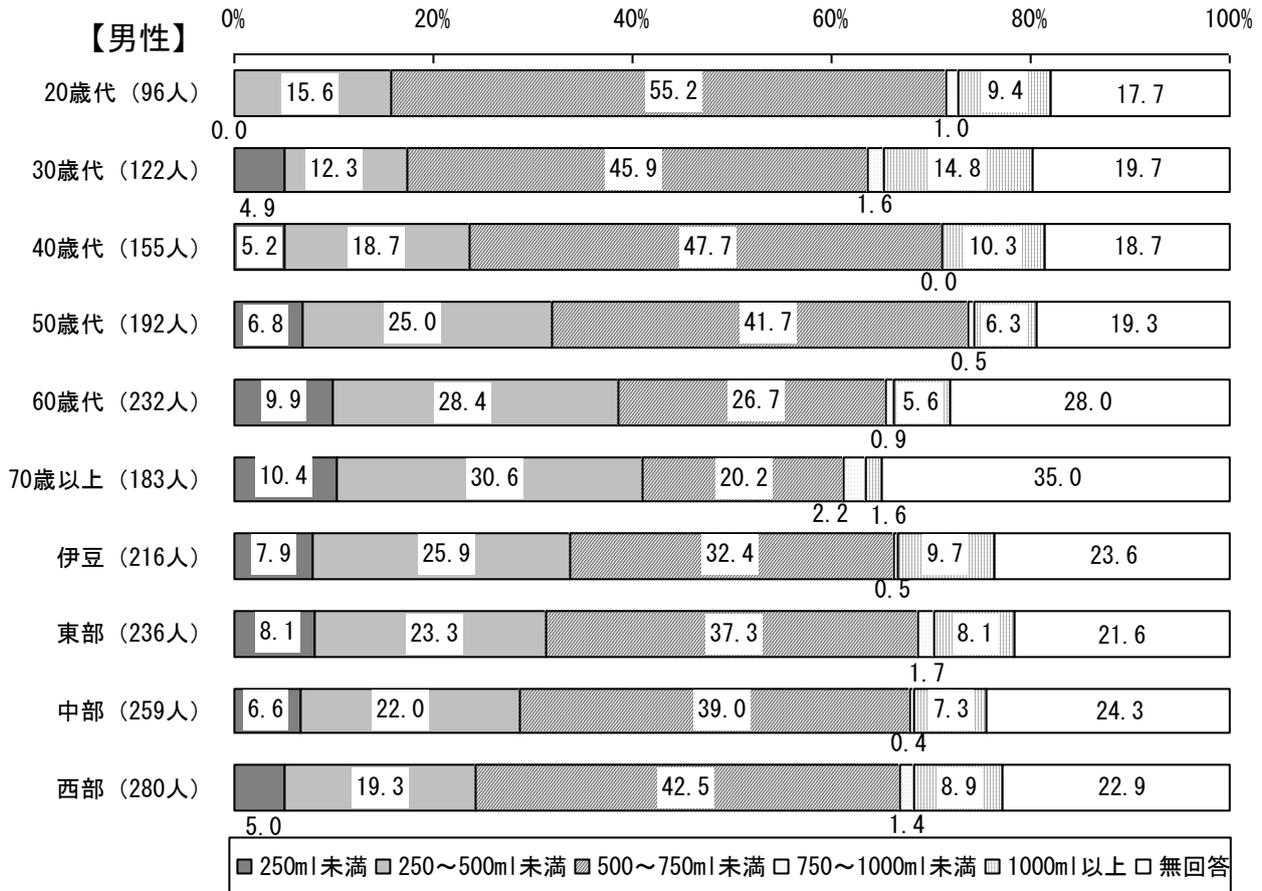


前問で缶やペットボトルのお茶をこの1ヶ月間に1日以上、飲むと回答した方の1日あたりの飲む量について、全体では「250ml未満」は6.7%、「250~500ml未満」は22.9%、「500~750ml未満」は36.9%、「750~1000ml未満」は1.4%、「1000ml以上」は6.7%となり、500ml以上との回答は45.0%となっている。

性別では、500ml以上との回答は、男性が49.0%、女性が39.9%となっている。

地域別では、500ml以上との回答が最も高かったのは西部が46.7%、最も低かったのは伊豆が41.1%となっている。

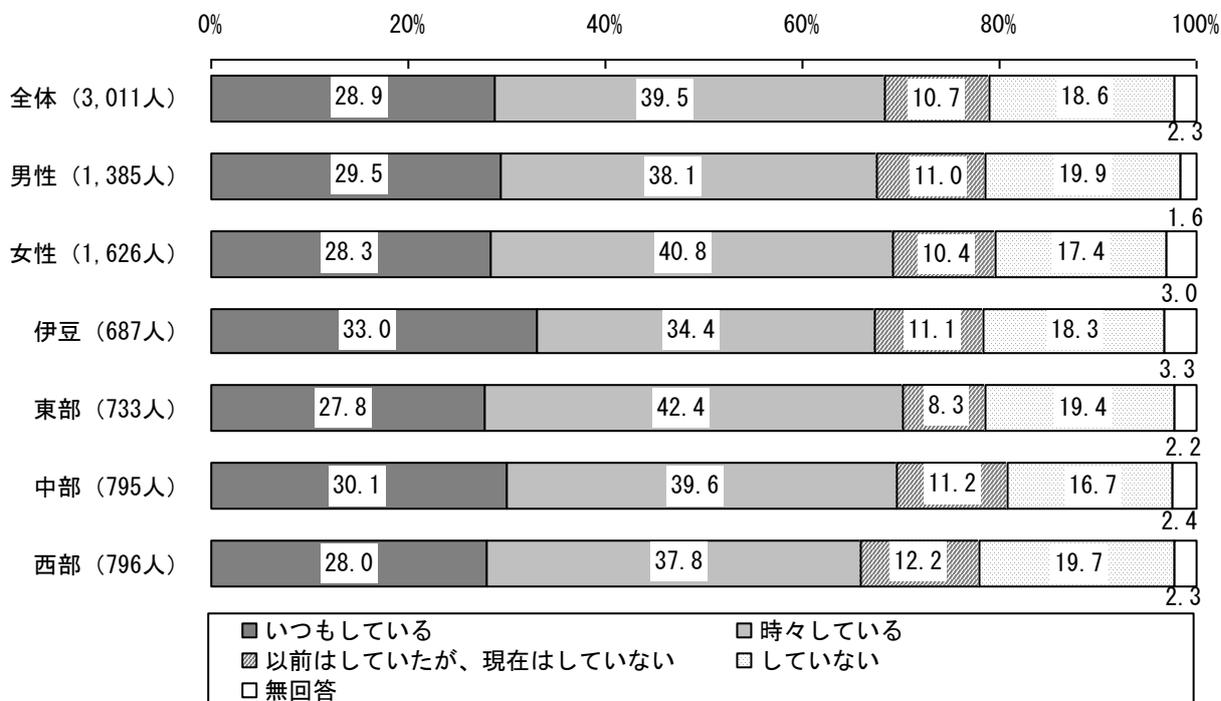
性・年代別にみると、500ml以上との回答は男女共に年代があがるにつれ低くなり、男性20歳代65.6%から男性70歳以上24.0%、女性20歳代52.1%から女性70歳以上19.9%と低くなり、茶葉で淹れた緑茶の1日あたりの飲む量は高齢層で多いのに対し、缶やペットボトルのお茶の1日あたりの飲む量は若年層が多い。



## 2 身体活動・運動について

### 2-1 日常生活での意識的に身体を動かす生活

【問8】あなたは、日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のために意識的に身体を動かすような生活をしていますか。（早歩きや、階段を使うなど）

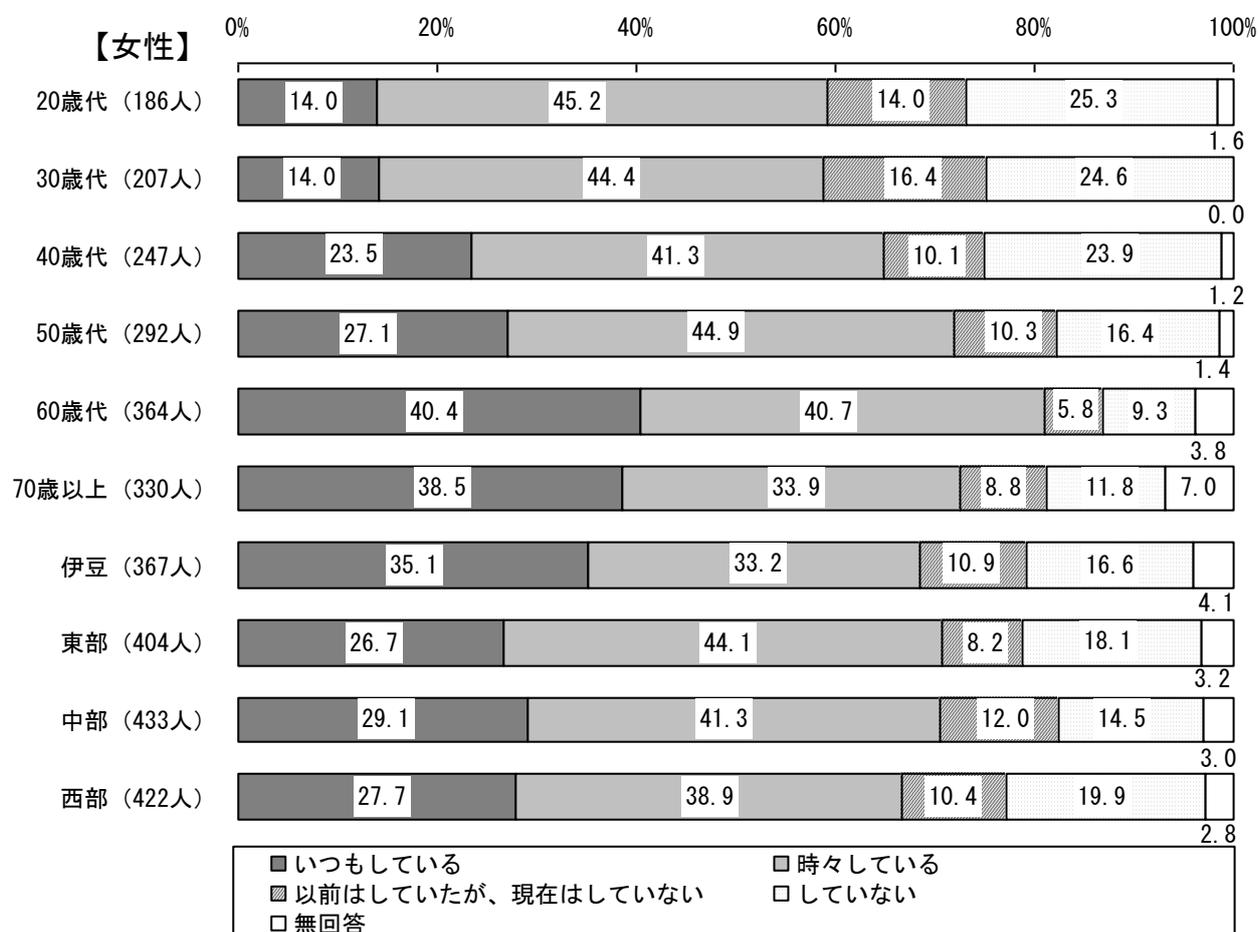
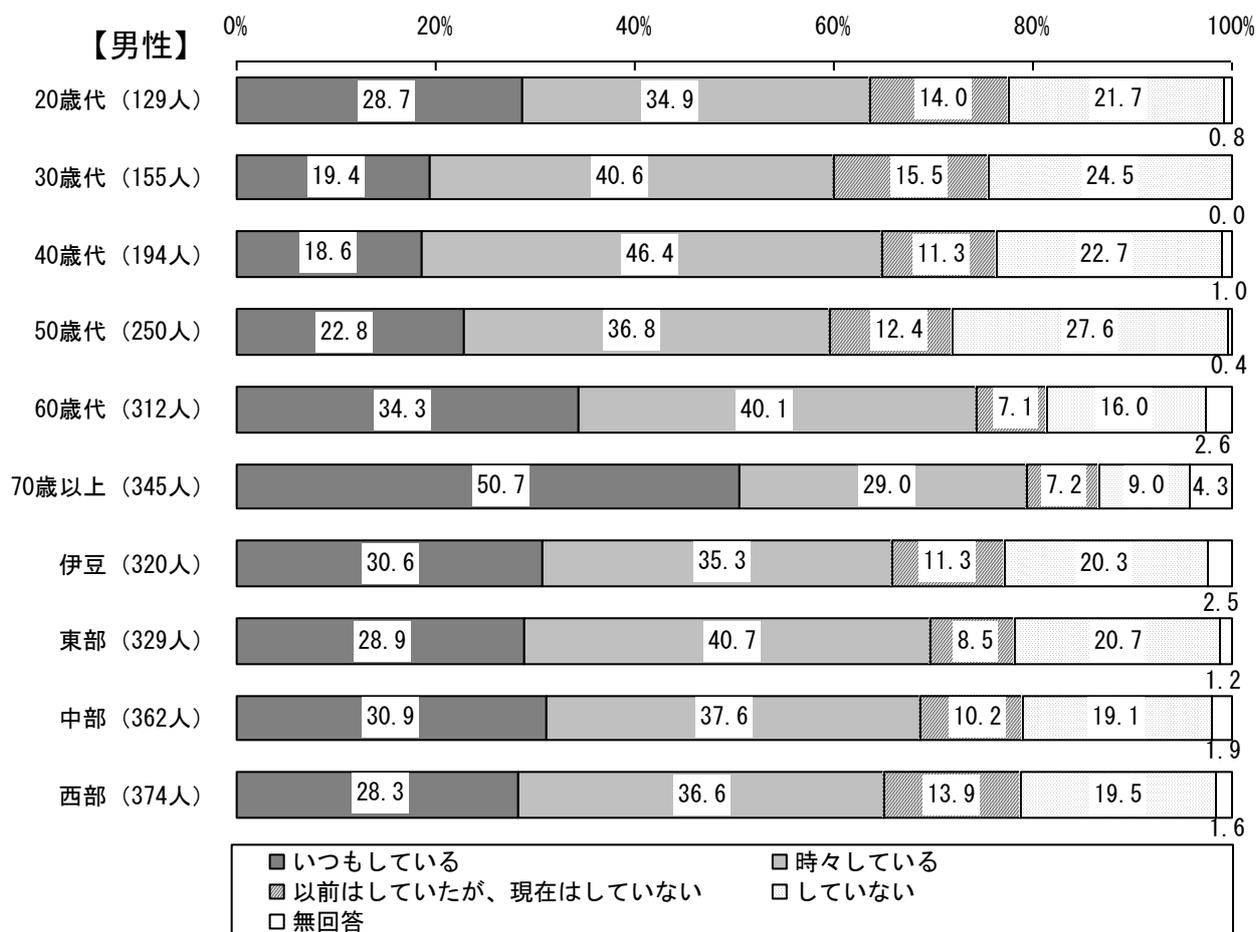


日常生活での意識的に身体を動かす生活について、全体では「いつもしている」は 28.9%、「時々している」は 39.5%、「以前はしていたが、現在はしていない」は 10.7%、「していない」は 18.6%となっている。「いつもしている」「時々している」を合わせた、しているとの回答は 68.4%、「以前はしていたが、現在はしていない」「していない」を合わせた、していないとの回答は 29.3%となっている。

性別では、しているとの回答は、男性が 67.6%、女性が 69.1%となっている。

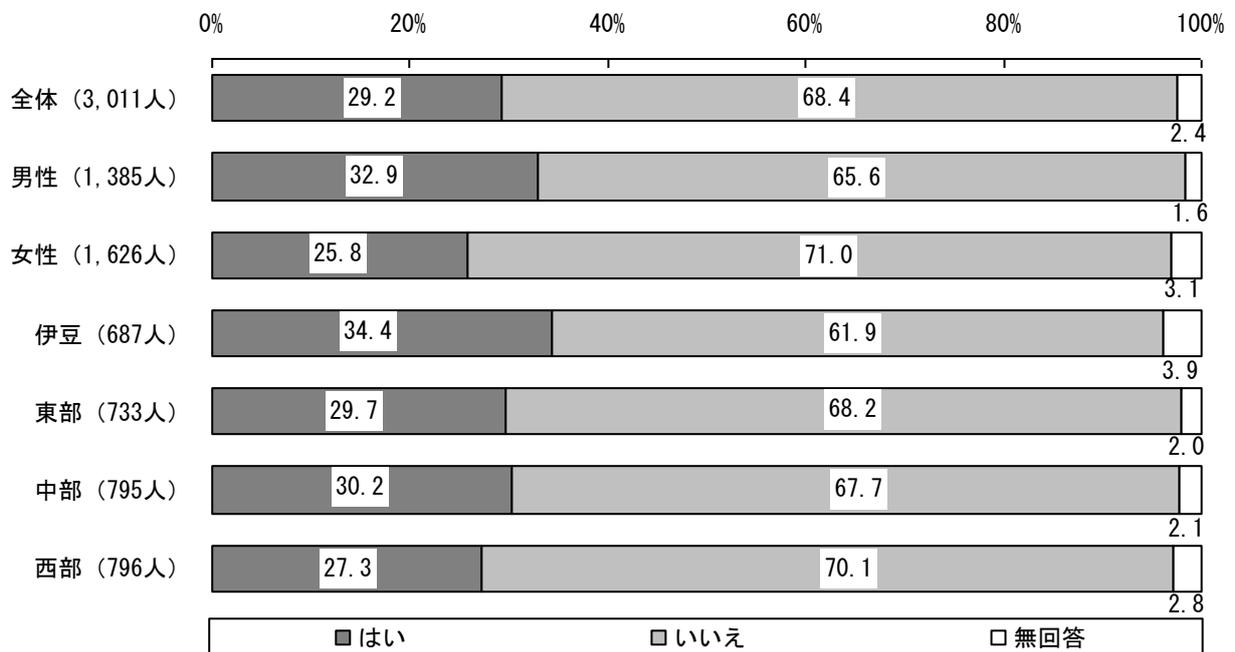
地域別では、しているとの回答が最も高かったのは東部が 70.2%、最も低かったのは西部が 65.8%となっている。

性・年代別にみると、しているとの回答は、男性では男性 60 歳代 74.4%、男性 70 歳以上 79.7%と高い。女性では女性 50 歳代 72.0%、女性 60 歳代 81.1%、女性 70 歳以上 72.4%と高くなっている。



## 2-2 1回30分以上の運動を週2日以上1年以上実施の有無

【問9】1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。

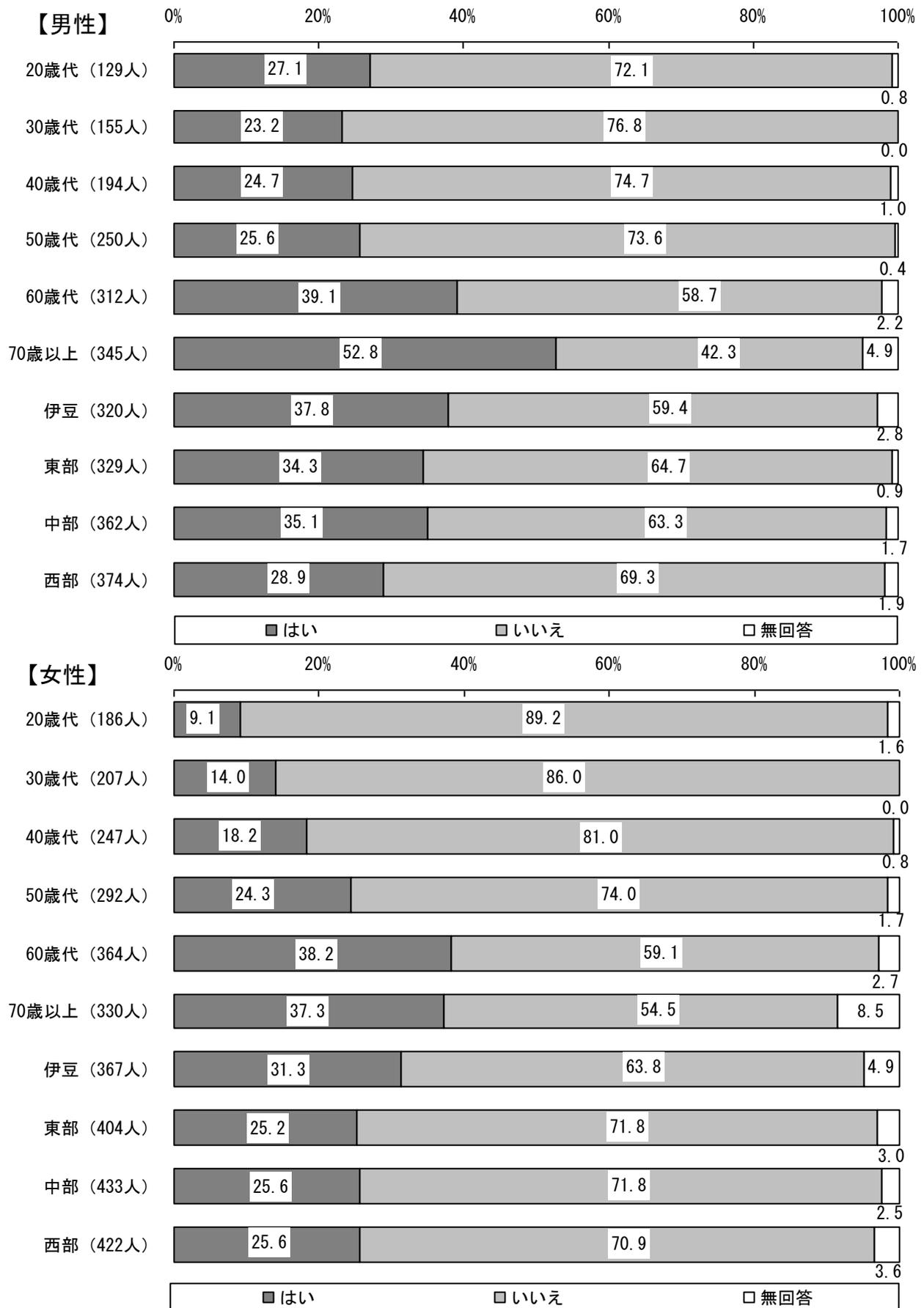


1回30分以上の運動を週2日以上1年以上実施の有無について、全体では「はい」は29.2%、「いいえ」は68.4%となっている。

性別では、「はい」は、男性が32.9%、女性が25.8%と男性が7.1ポイント上回っている。

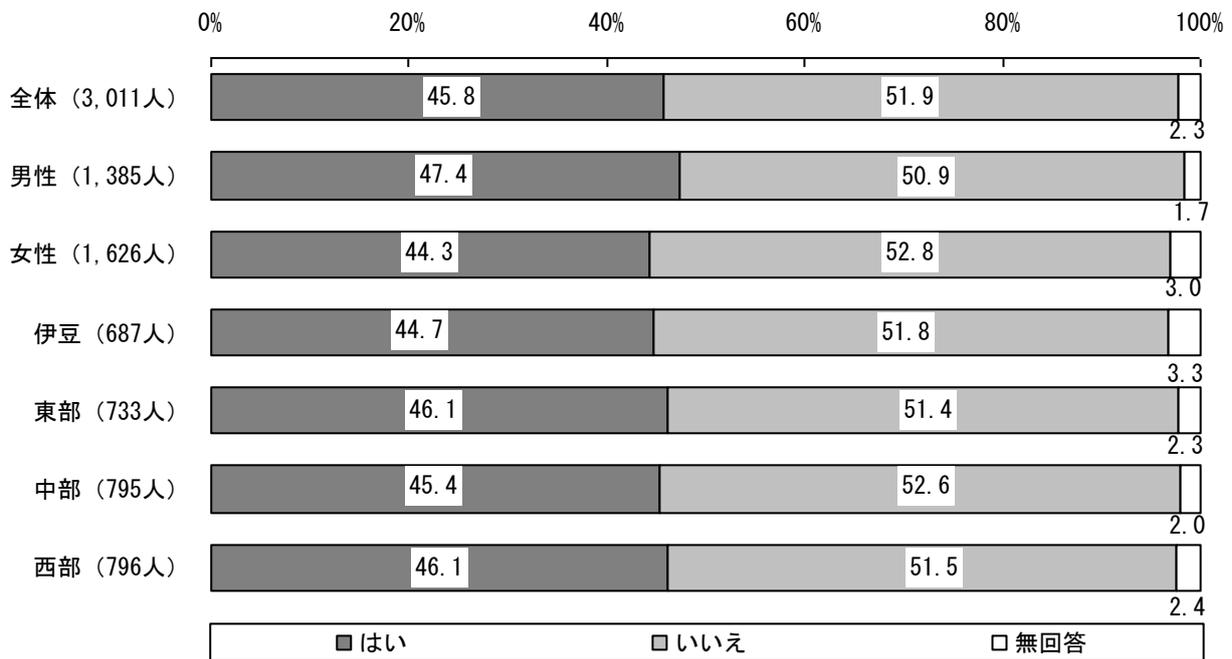
地域別では、「はい」との回答が最も高かったのは伊豆が34.4%、最も低かったのは西部が27.3%となっている。

性・年代別にみると、「はい」との回答は、男性では男性60歳代では39.1%、男性70歳以上52.8%と高い。女性でも女性60歳代38.2%、女性70歳以上37.3%と高くなっている。



## 2-3 日常生活での身体活動を1日1時間以上実施の有無

【問10】日常生活において歩行又は同等の身体活動を、1日1時間以上実施していますか。

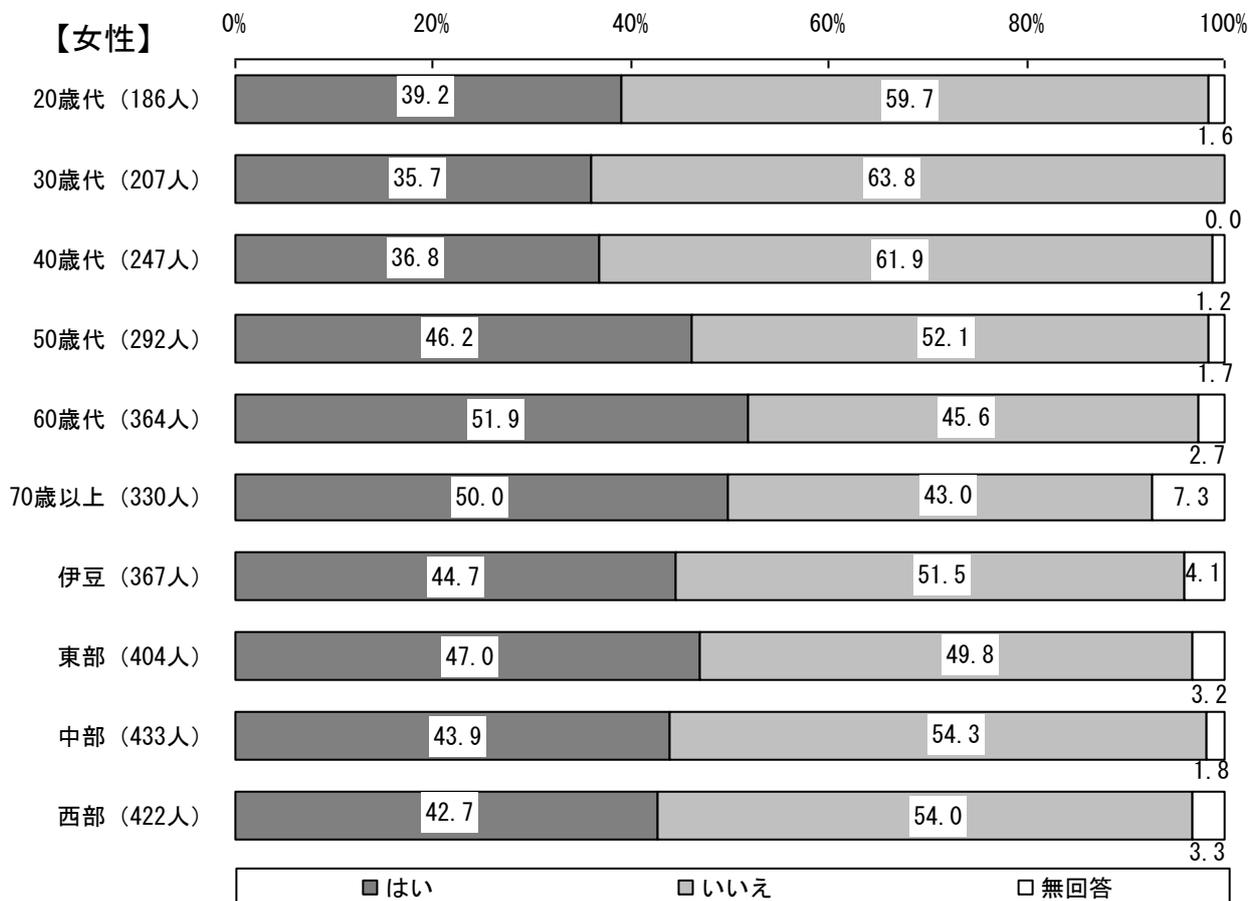
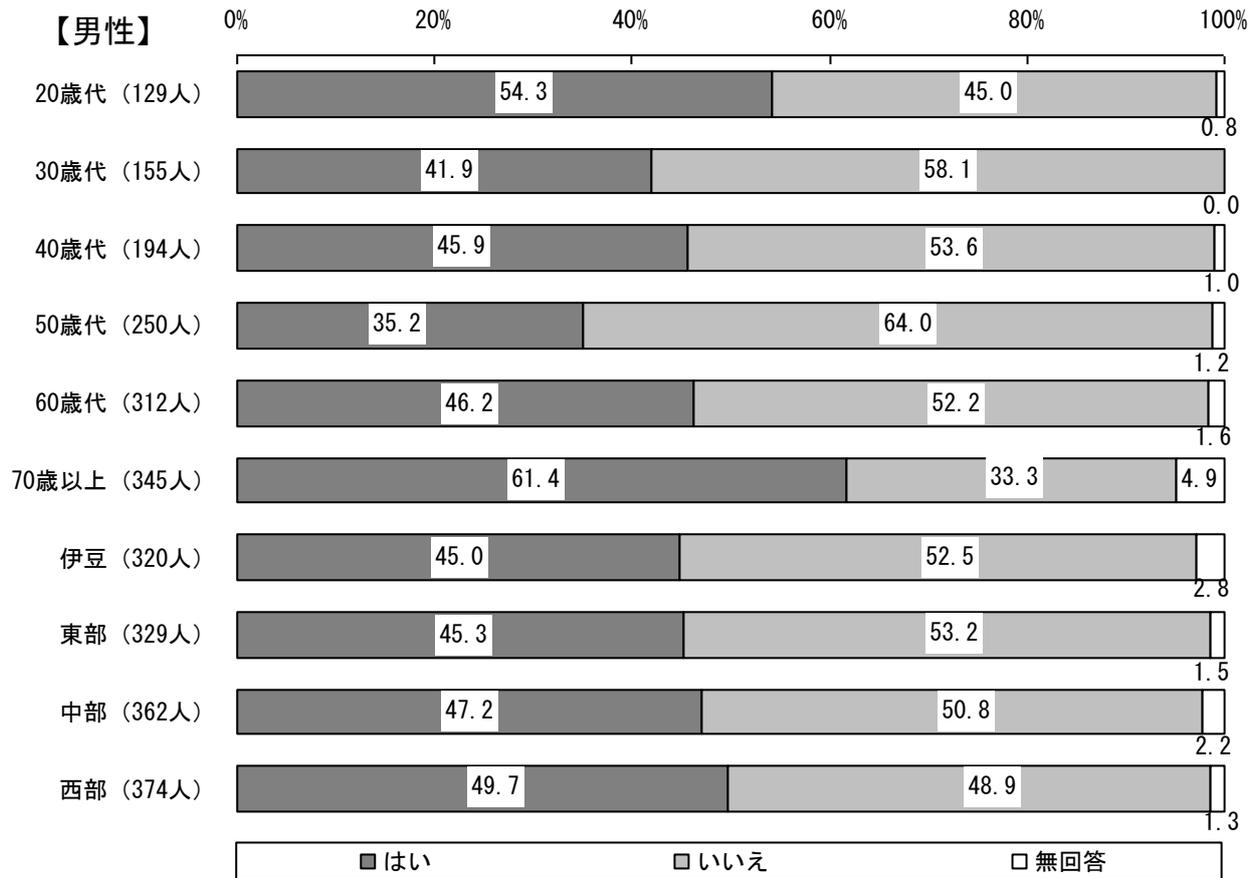


日常生活での身体活動を1日1時間以上実施の有無について、全体では「はい」は45.8%、「いいえ」は51.9%となっている。前問の1回30分以上の運動を週2日以上1年以上実施の「はい」との回答より、16.6ポイント高くなっている。

性別では、「はい」は、男性が47.4%、女性が44.3%と男性が3.1ポイント上回っている。

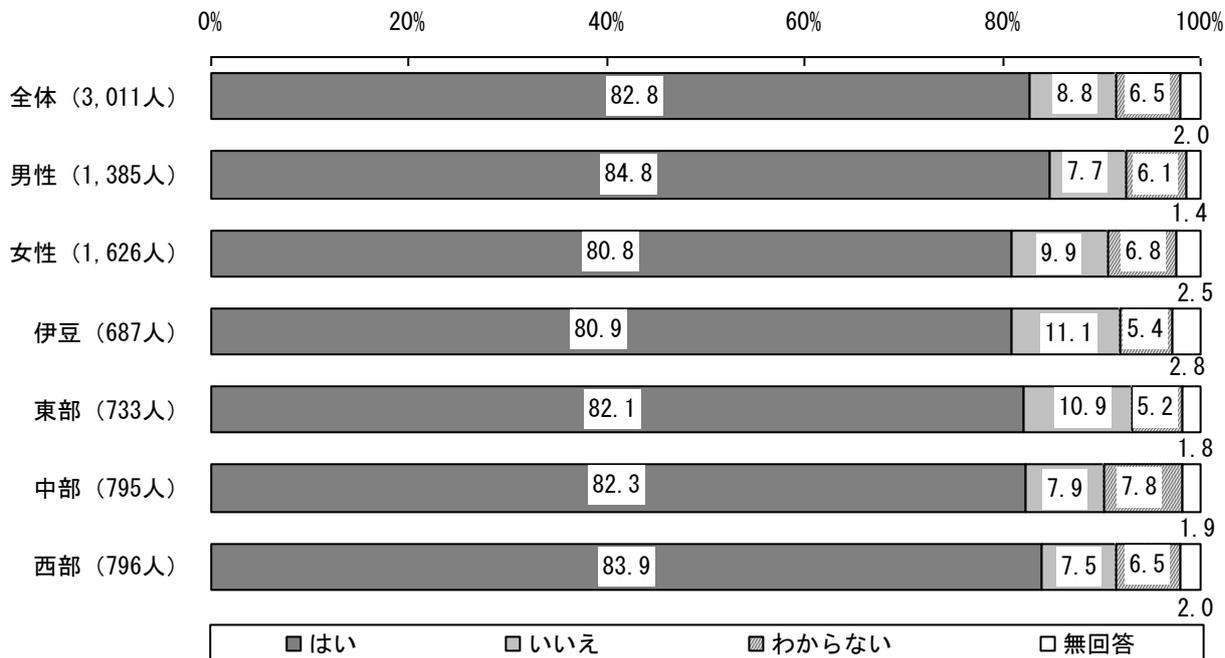
地域別では、「はい」との回答が最も高かったのは東部、西部が46.1%、最も低かったのは伊豆が44.7%となっている。

性・年代別にみると、「はい」との回答は、前問と同様、男性では男性70歳以上が他の年代より高く61.4%となっている。女性でも女性60歳代51.9%、女性70歳以上50.0%と高くなっている。



## 2-4 運動環境の有無

【問 11】 あなたの周辺に、ウォーキングや運動ができる場所がありますか。



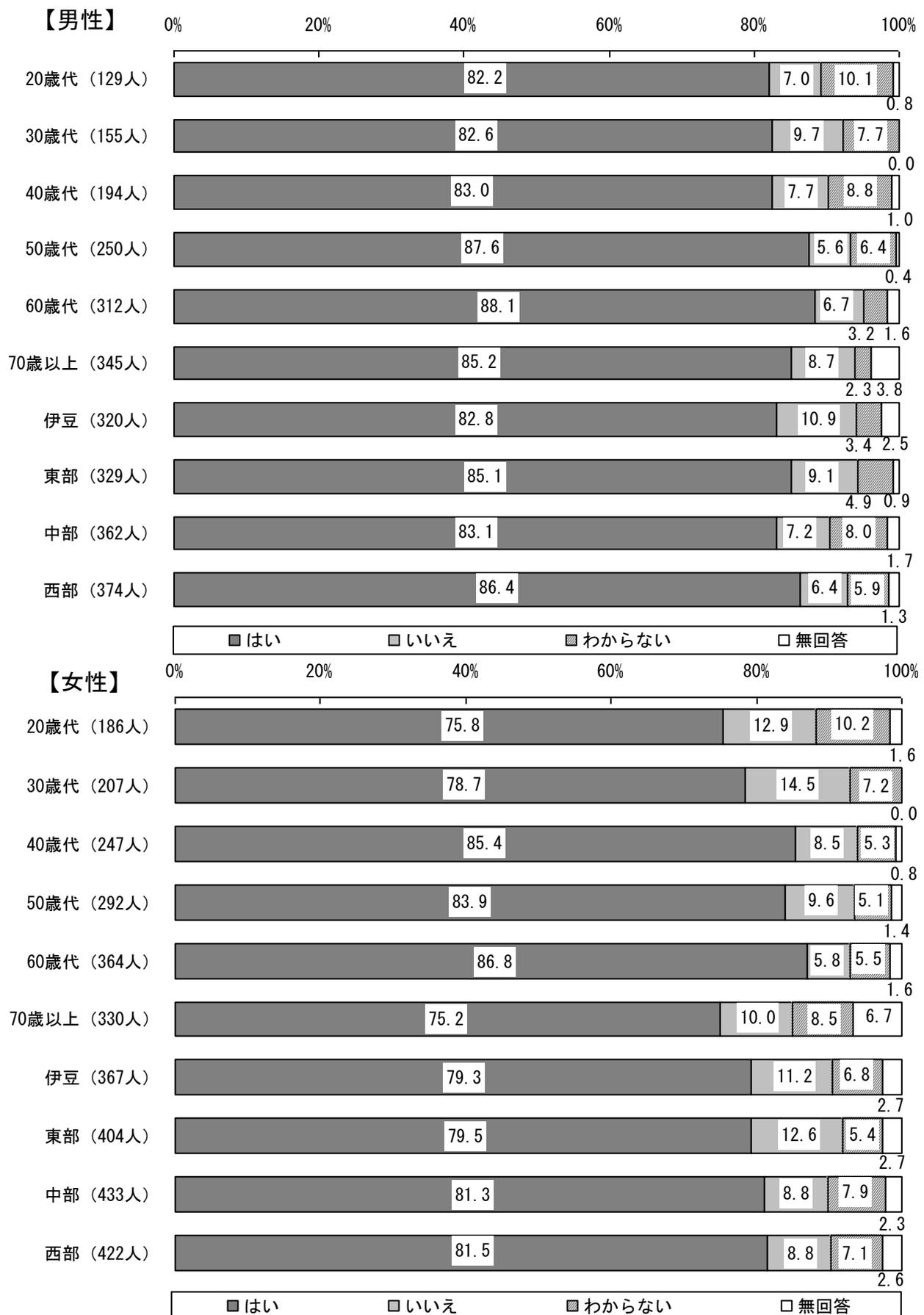
運動環境の有無について、全体では「はい」は82.8%、「いいえ」は8.8%、「わからない」は6.5%となっている。

性別では、「はい」は、男性が84.8%、女性が80.8%と男女共に8割程度となっている。

地域別では、「はい」との回答は8割程度で差異はみられないが、伊豆、東部では1割程度が「いいえ」と回答している。

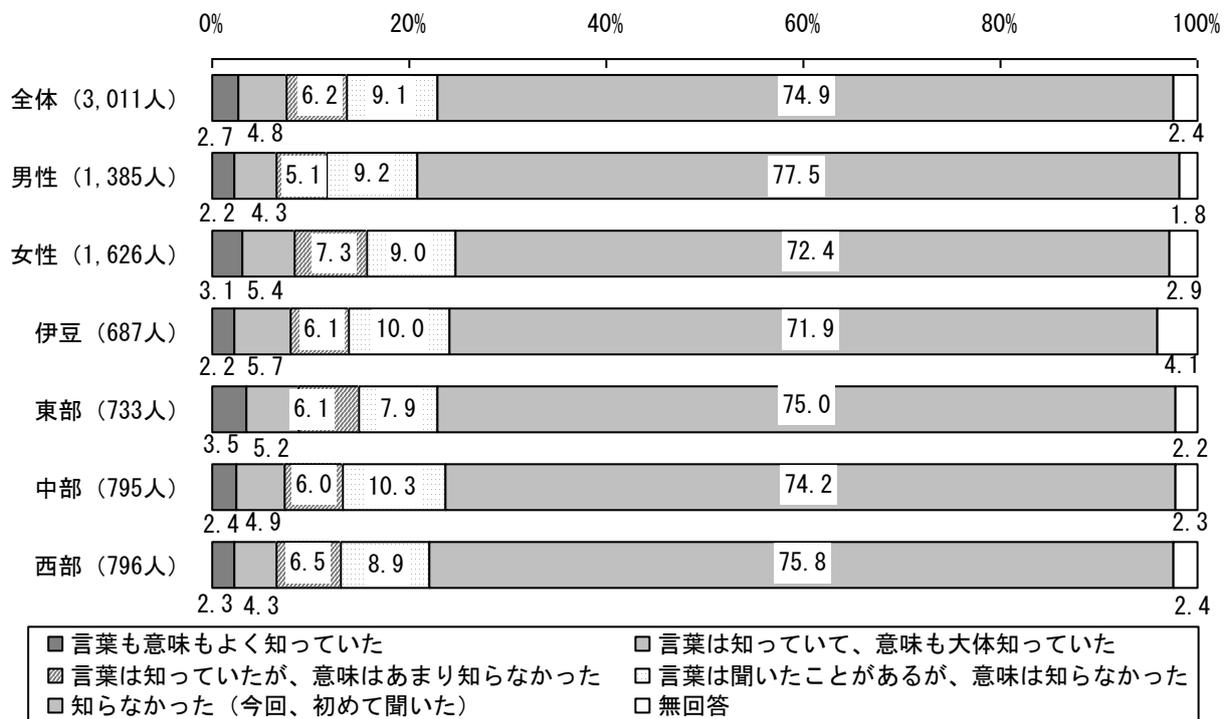
性・年代別にみると、「いいえ」との回答は、女性20歳代12.9%、女性30歳代14.5%と他の性・年代に比べて若干高く1割程度の回答があった。

性・地域別にみると、「いいえ」との回答は、男性伊豆10.9%、女性伊豆11.2%、女性東部12.6%と1割程度の回答があった。



## 2-5 ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知

【問 12】あなたは、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を知っていますか。

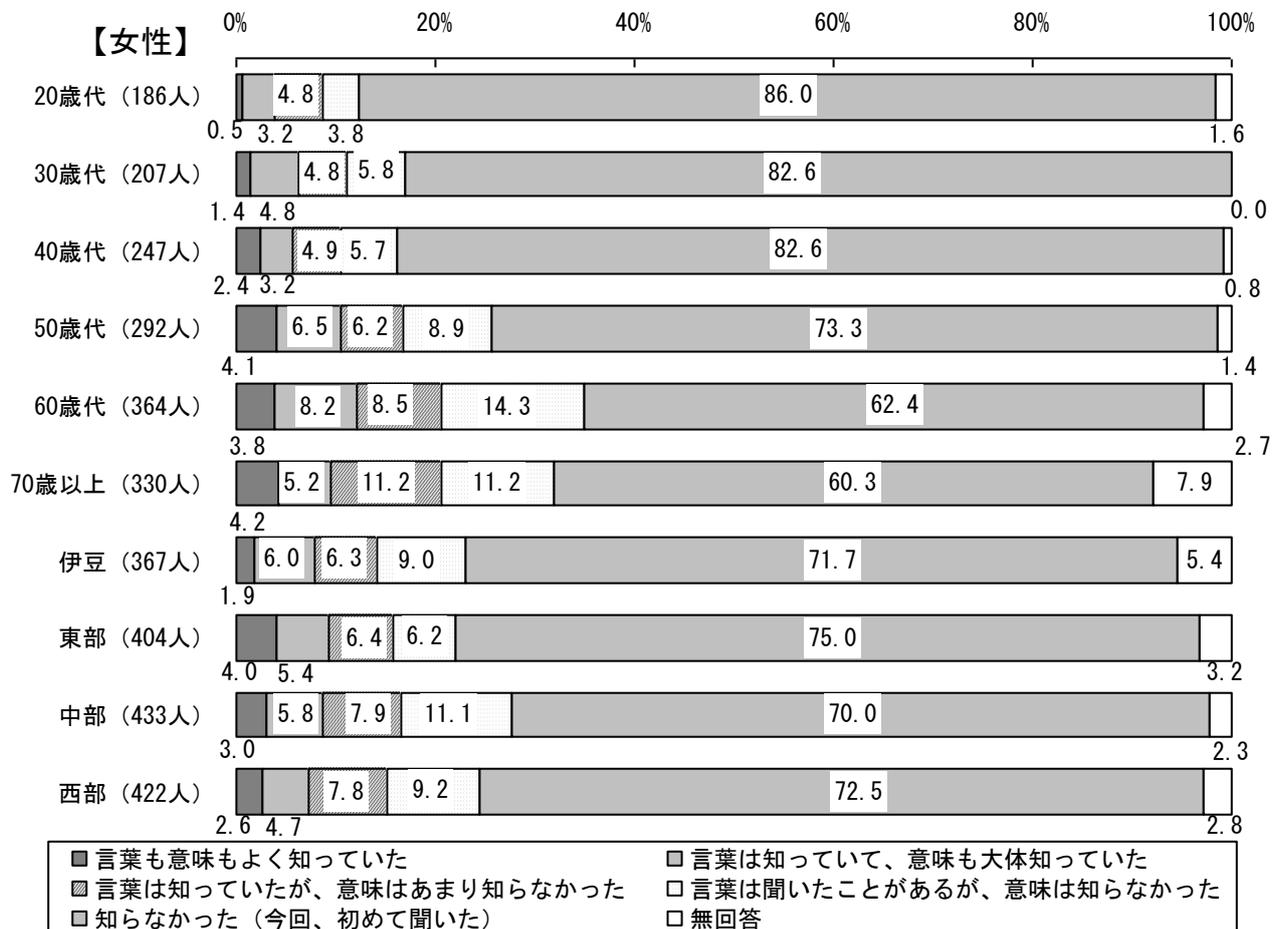
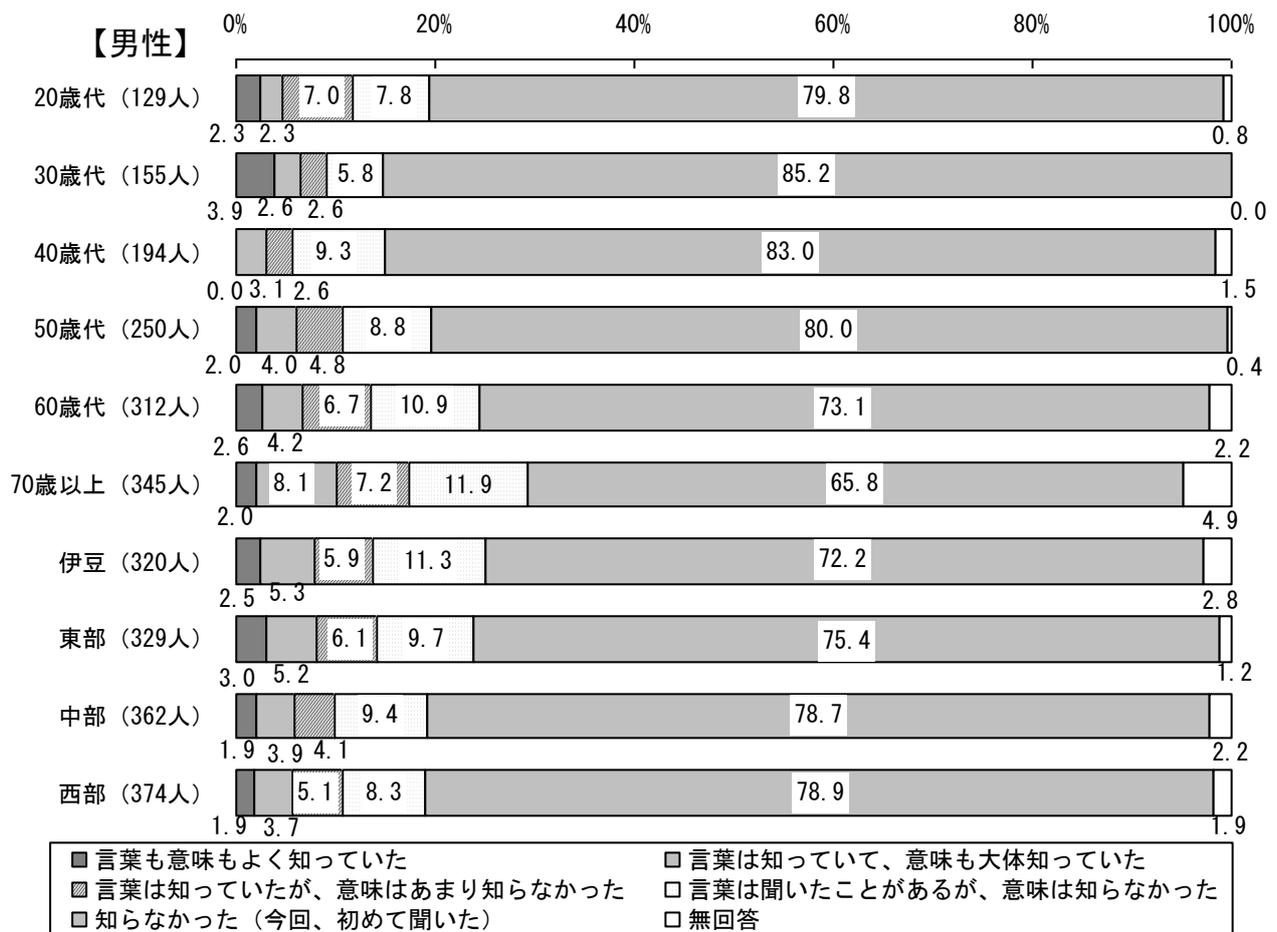


ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知について、全体では「言葉も意味もよく知っていた」は2.7%、「言葉は知っていて、意味も大体知っていた」は4.8%と「言葉も意味もよく知っていた」「言葉は知っていて、意味も大体知っていた」を合わせた知っていたとの回答は7.5%となっている。一方、「知らなかった（今回、初めて聞いた）」は74.9%となっている。

性別では、知っていたとの回答は、男性が6.5%、女性が8.5%と1割に満たない。「知らなかった（今回、初めて聞いた）」との回答も男性が77.5%、女性が72.4%と性別で大きな差異はみられない。

地域別でも、全体と同様に、「知らなかった（今回、初めて聞いた）」が7割強となっている。

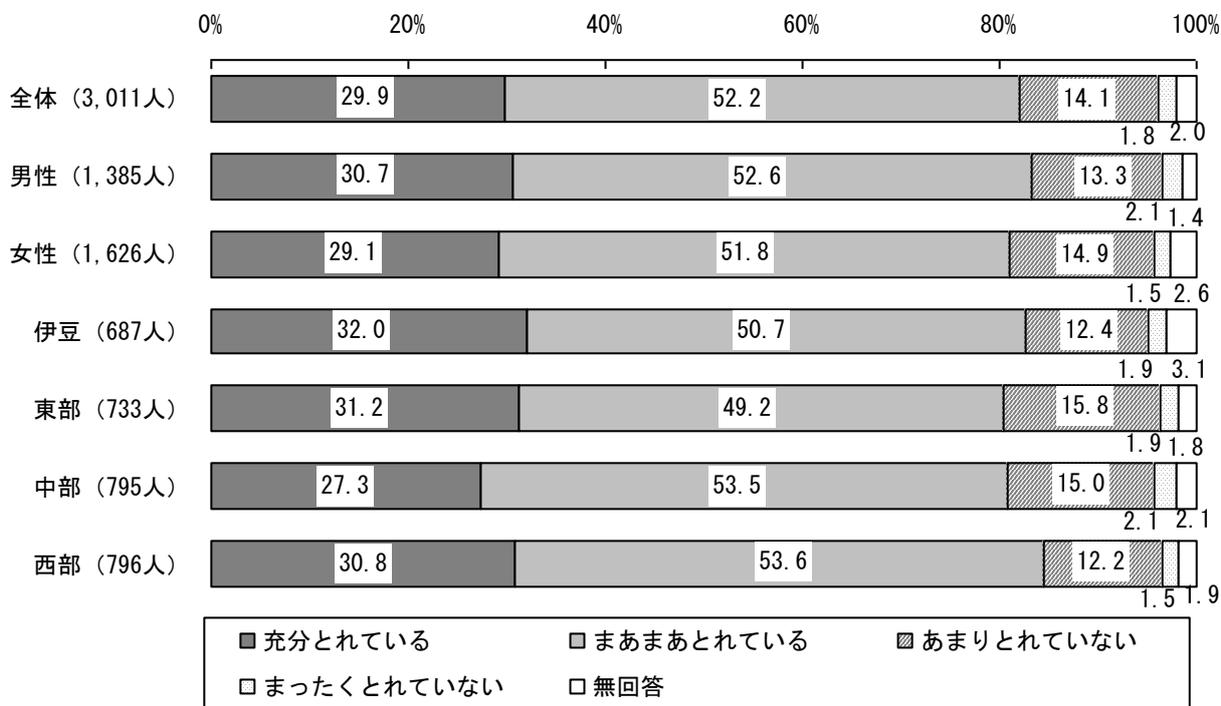
性・年代別にみると、「知らなかった（今回、初めて聞いた）」との回答は、年齢があがるにつれ減少はしているが、男性では男性60歳代73.1%、男性70歳以上65.8%、女性60歳代62.4%、女性70歳以上60.3%と高く、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度は低い。



### 3 休養・こころの健康について

#### 3-1 睡眠による休養の状況

【問 13】 あなたはこの1ヶ月間、睡眠によって休養が充分とれていますか。

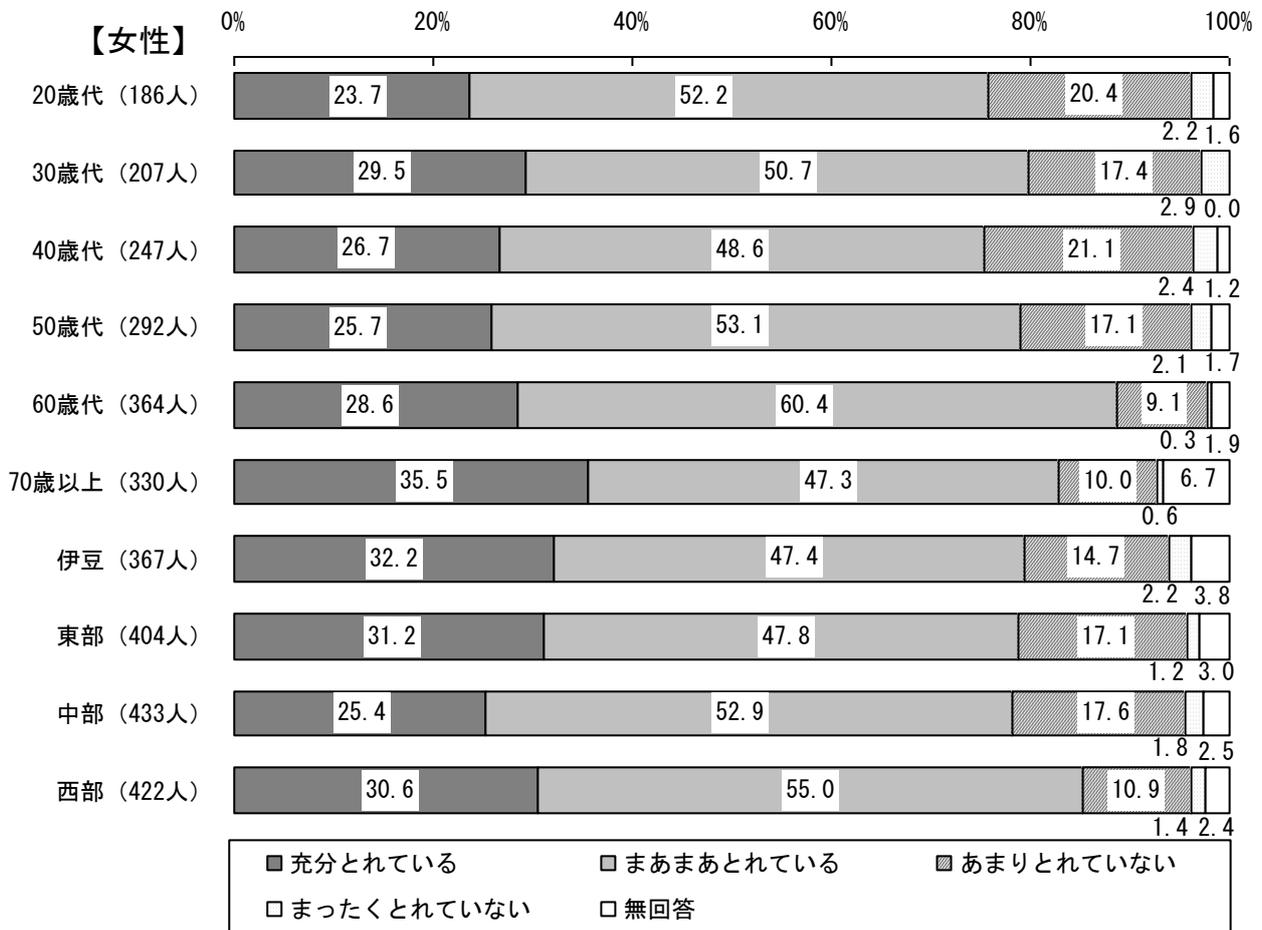
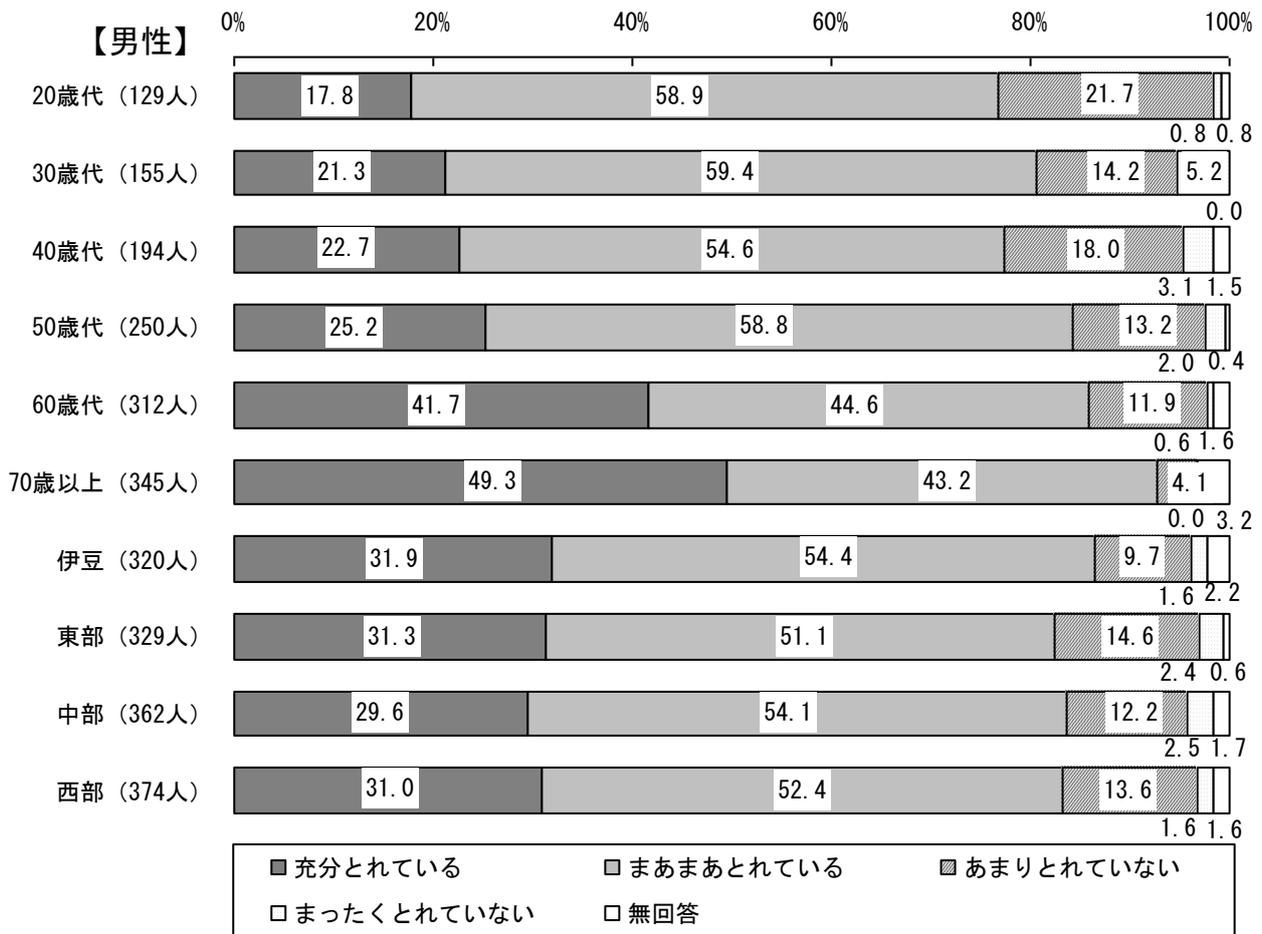


睡眠による休養の状況について、全体では「充分とれている」は 29.9%、「まあまあとれている」は 52.2%と「充分とれている」「まあまあとれている」を合わせた睡眠によって休養がとれているとの回答は 82.1%となっている。一方、「あまりとれていない」は 14.1%、「まったくとれていない」は 1.8%と、「あまりとれていない」「まったくとれていない」を合わせた睡眠によって休養がとれていないとの回答は 15.9%となっている。

性別では、睡眠によって休養がとれていないとの回答は、男性が 15.4%、女性が 16.4%と女性が 1.0 ポイント高くなっている。

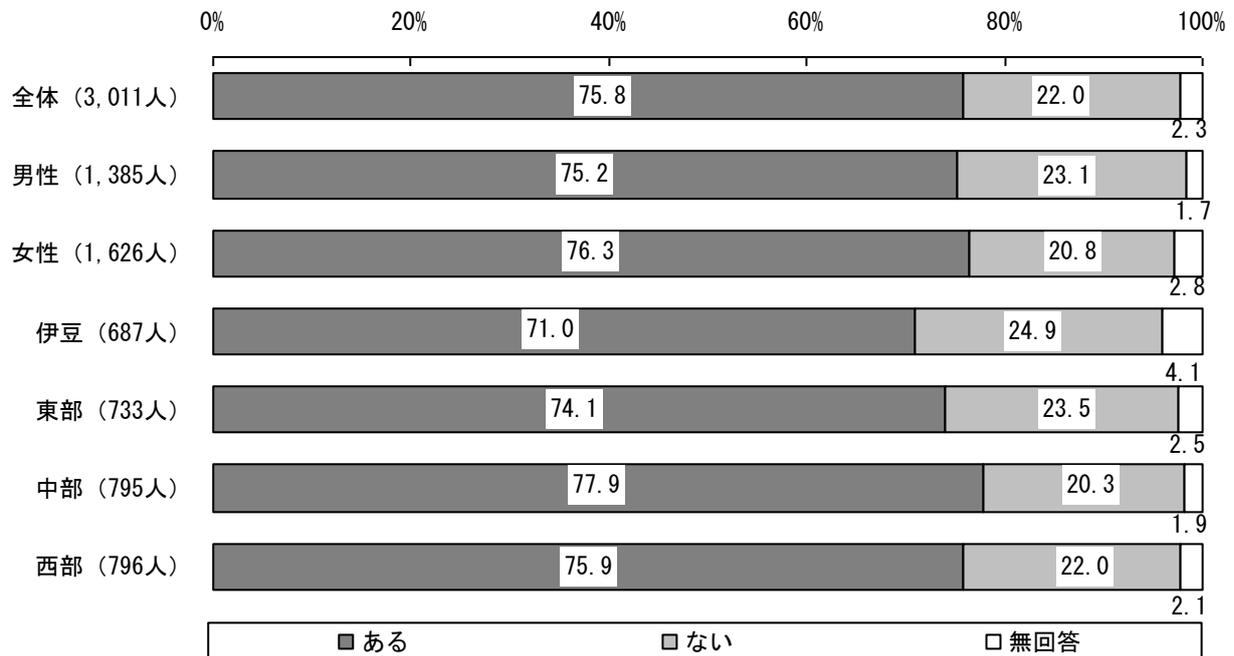
地域別では、休養がとれていないとの回答が最も高かったのは東部が 17.7%、最も低かったのは西部が 13.7%となっている。

性・年代別にみると、睡眠によって休養がとれていないとの回答は、男性 20 歳代 22.5%、男性 40 歳代 21.1%、女性 40 歳代 23.5%、女性 20 歳代 22.6%と高くなっている。



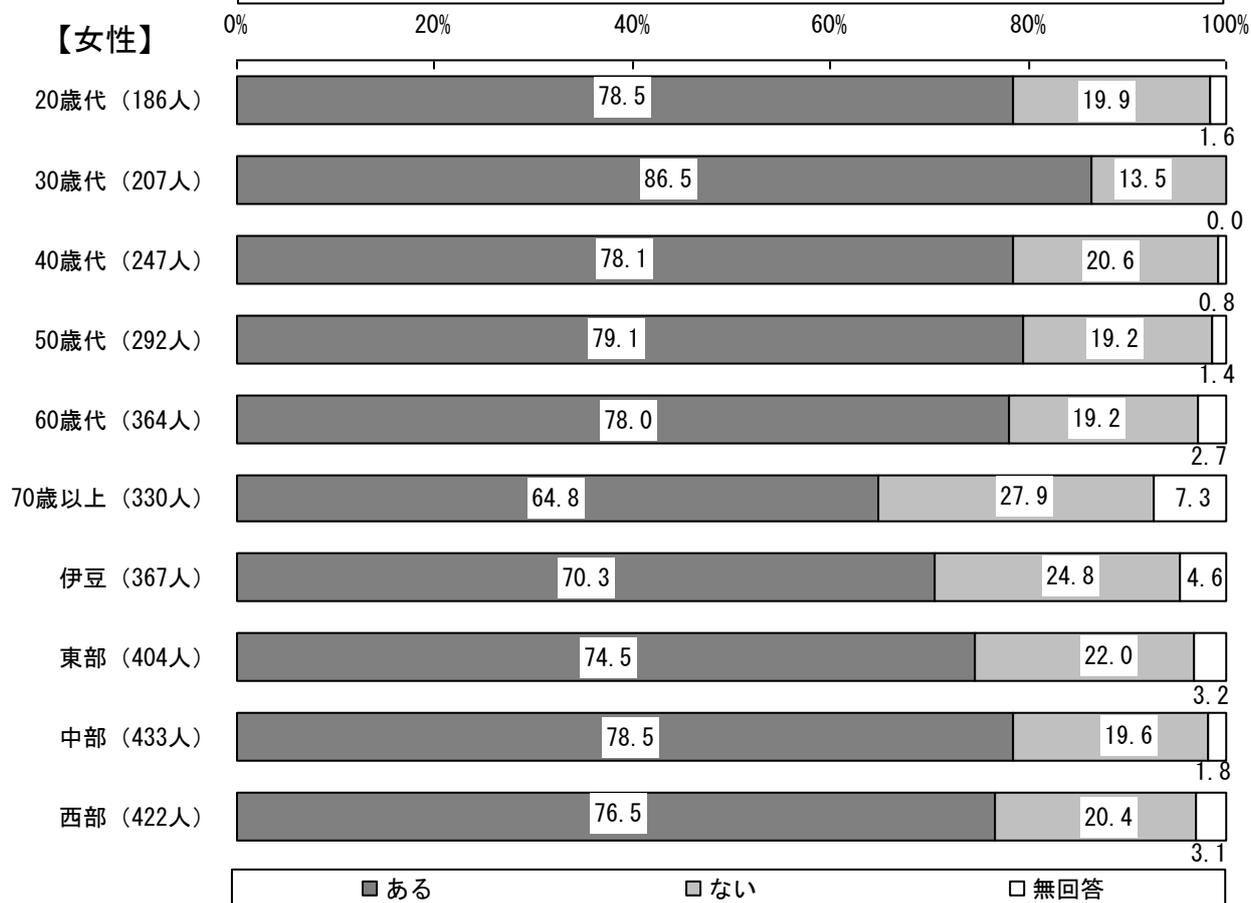
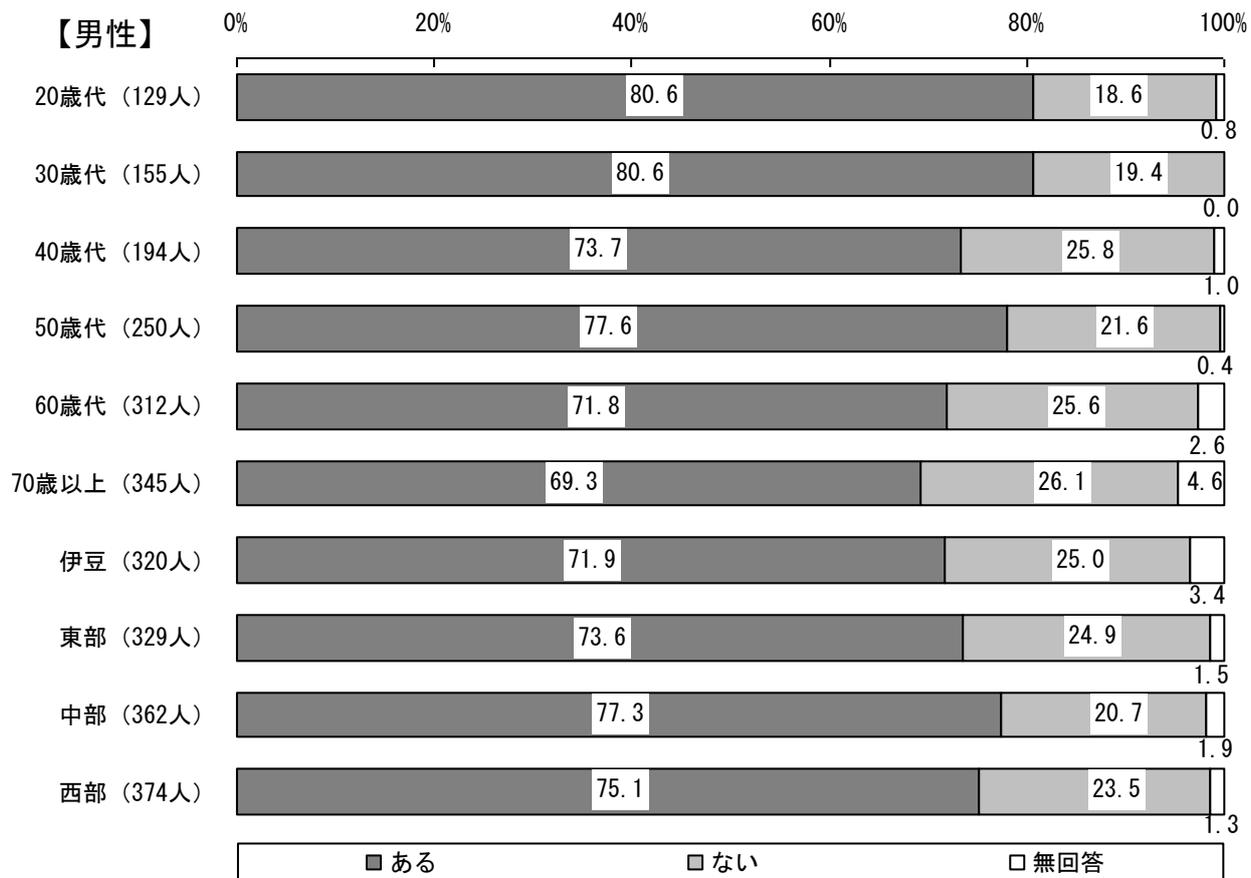
### 3-2 ストレス解消法の有無

【問 14】あなたは、自分なりのストレス解消法がありますか。



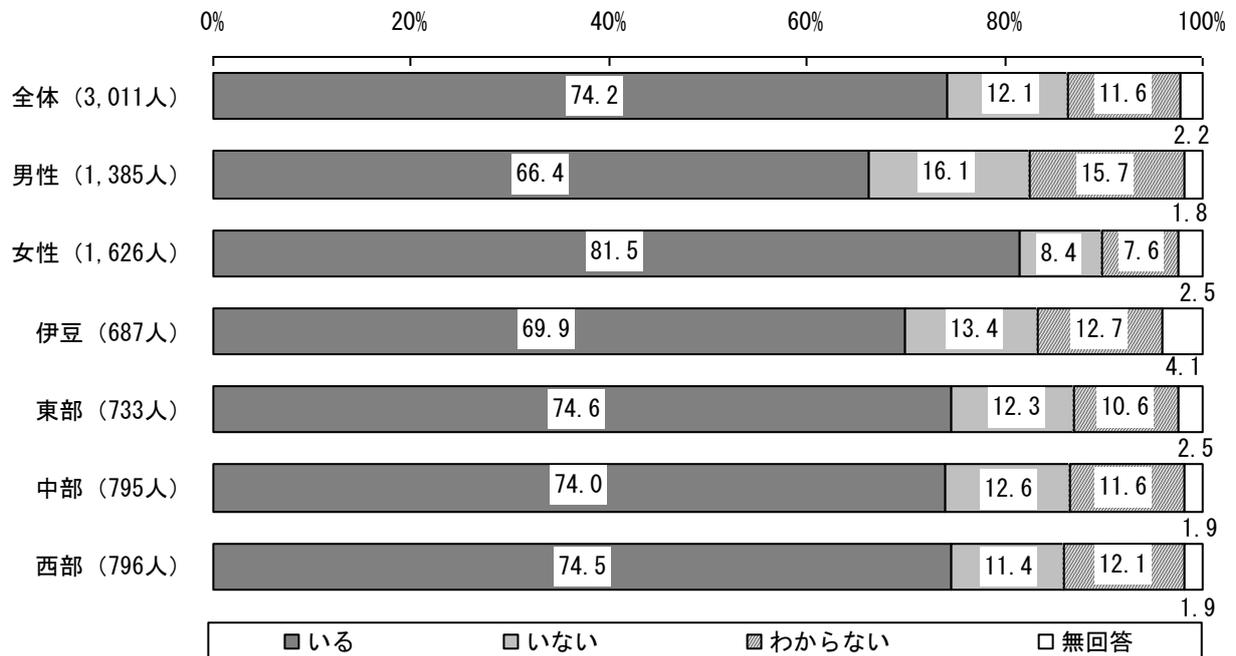
ストレス解消法の有無について、全体では「ある」は75.8%、「ない」は22.0%となっている。性別では、「ない」は、男性が23.1%、女性が20.8%と男性が2.3ポイント高くなっている。地域別では、「ない」との回答が最も高かったのは伊豆が24.9%、最も低かったのは中部が20.3%となっている。

性・年代別にみると、「ない」との回答は、男女共に70歳以上が最も高く、男性70歳以上26.1%、女性70歳以上27.9%となっている。



### 3-3 悩みの相談相手の有無

【問 15】あなたは、悩みを抱えたときに相談できる人がいますか。

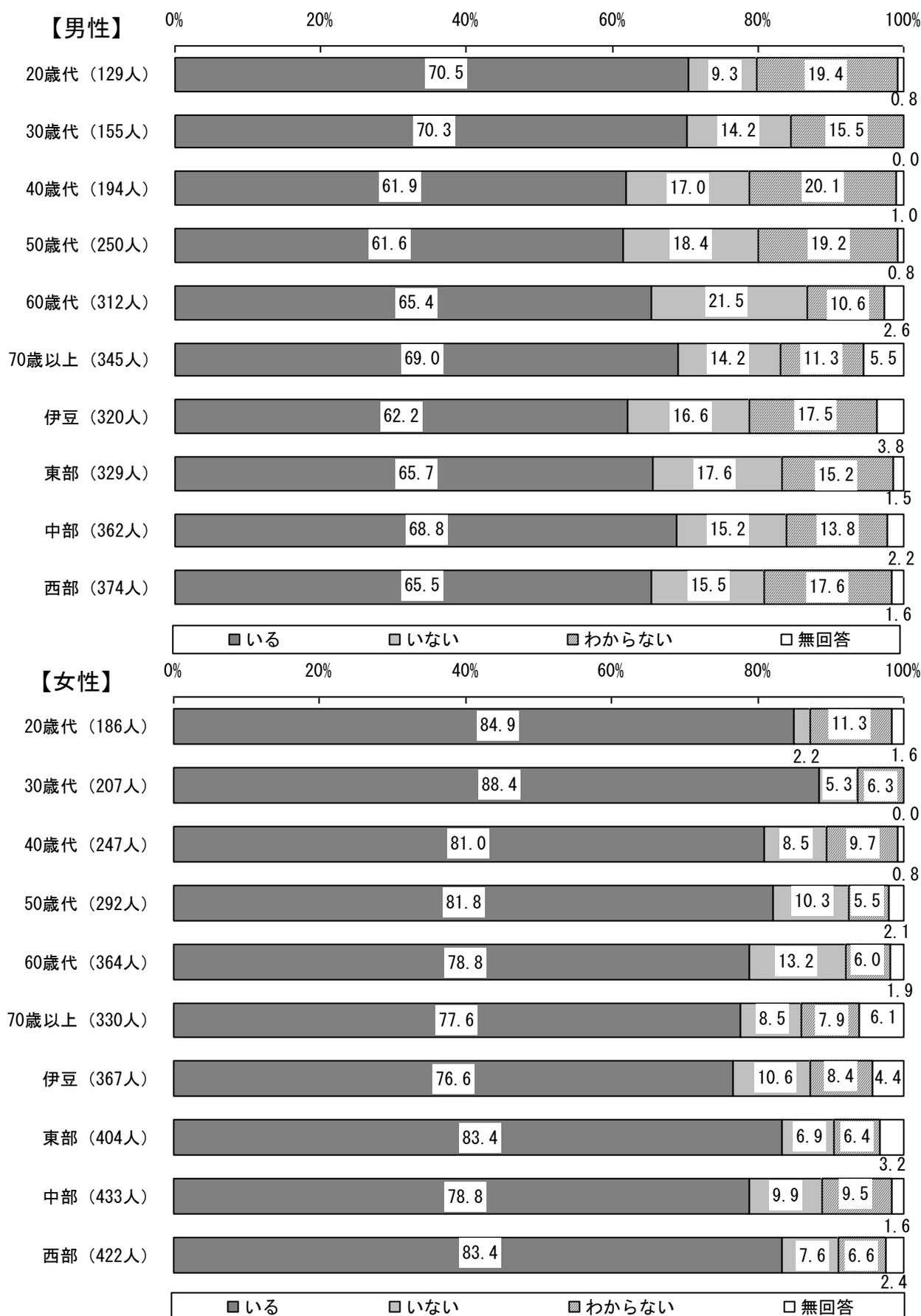


悩みの相談相手の有無について、全体では「いる」は74.2%、「いない」は12.1%、「わからない」は11.6%となっている。

性別では、「いる」は、男性が66.4%、女性が81.5%と女性が男性より15.1ポイント高くなっている。一方、「いない」「わからない」との回答を合わせると、男性が31.8%、女性が16.0%となっている。

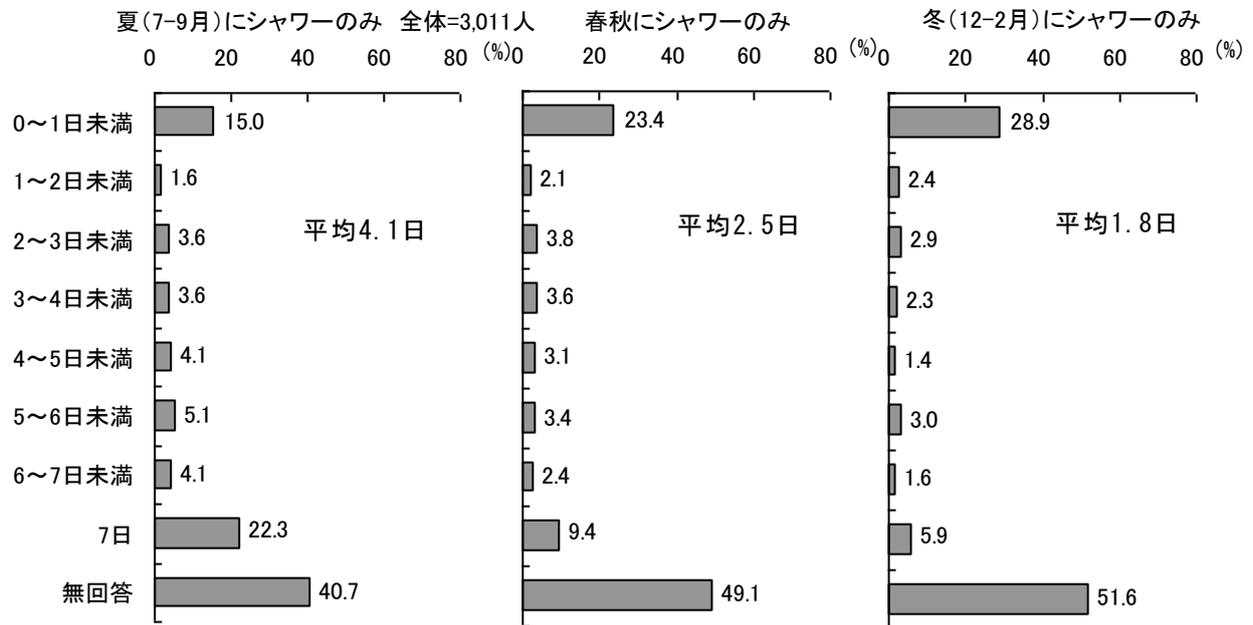
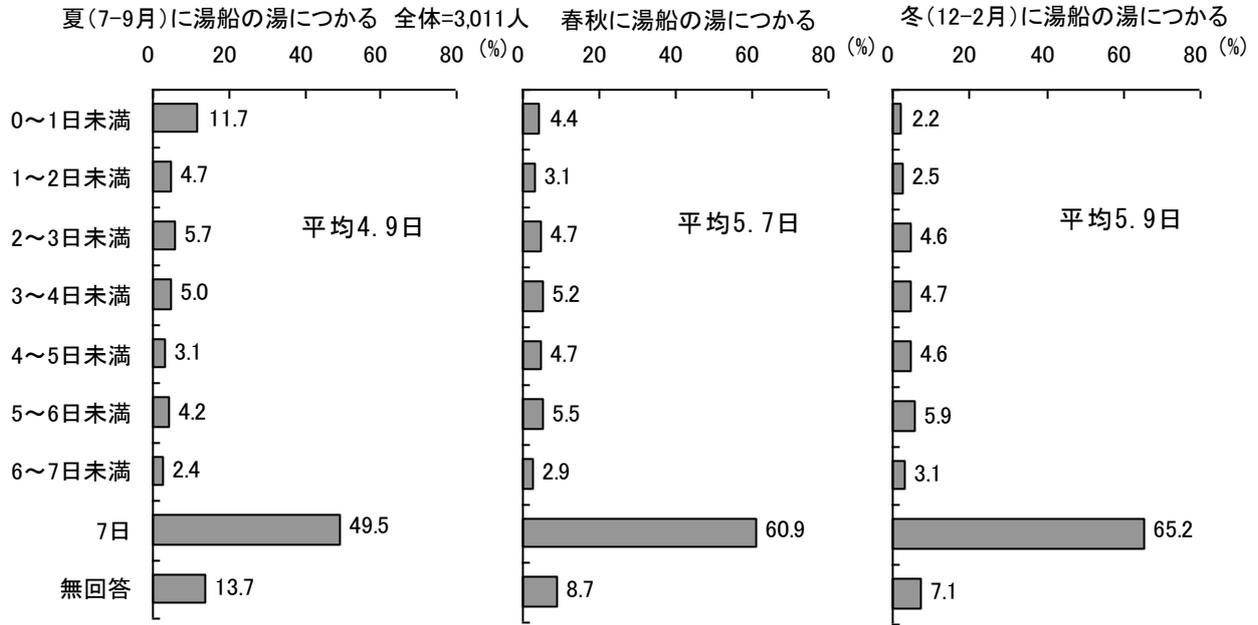
地域別では、「いる」との回答が最も高かったのは東部が74.6%、最も低かったのは伊豆が69.9%となっている。

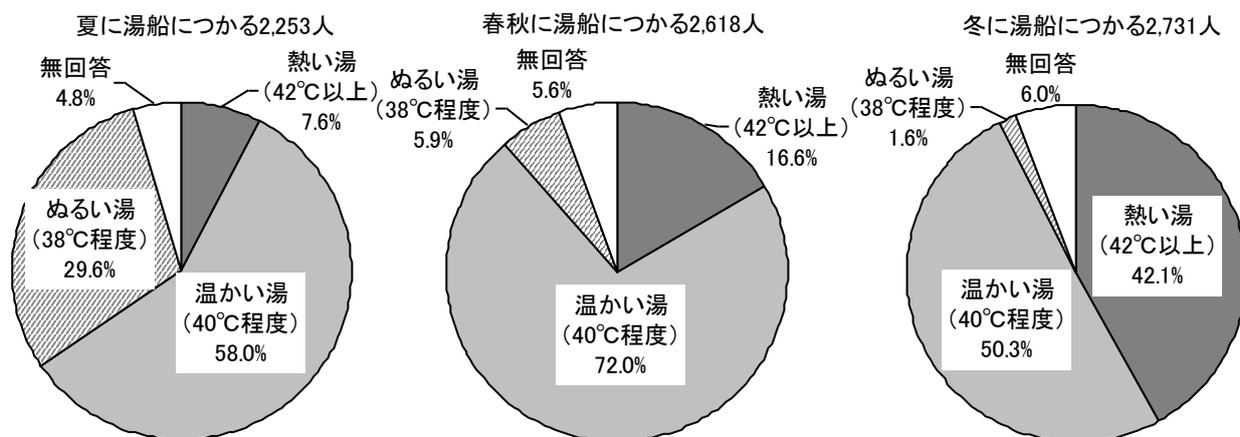
性・年代別にみると、「いない」との回答は男女共に60歳代が最も高く、男性60歳代21.5%、女性60歳代13.2%と高くなっている。「いない」「わからない」との回答を合わせると、いずれの年代、地域でも男性が女性より1割程度高くなり、男性50歳代37.6%、男性40歳代37.1%となっている。



### 3-4 1週間の入浴状況

【問16】お風呂（湯船の湯につかる・シャワーのみ）に週何日入りますか。入らない場合は「0」とご記入ください。また、あてはまる湯船の湯の温度に1つ○をつけてください。

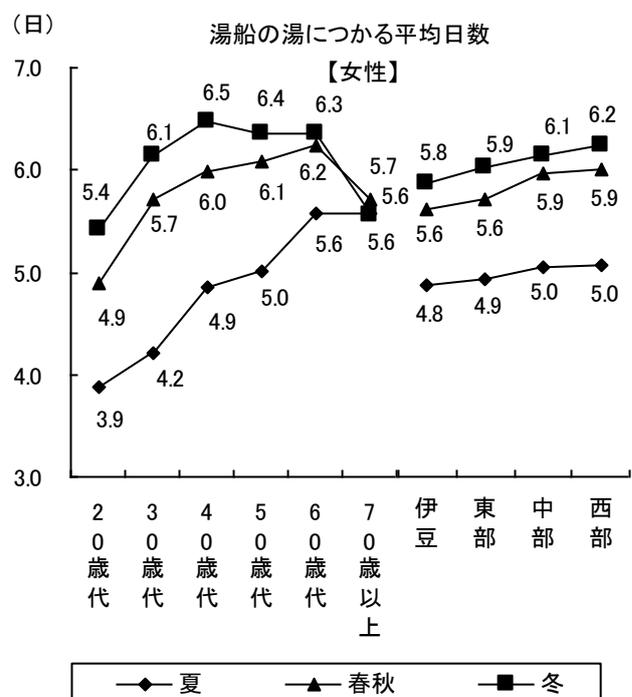
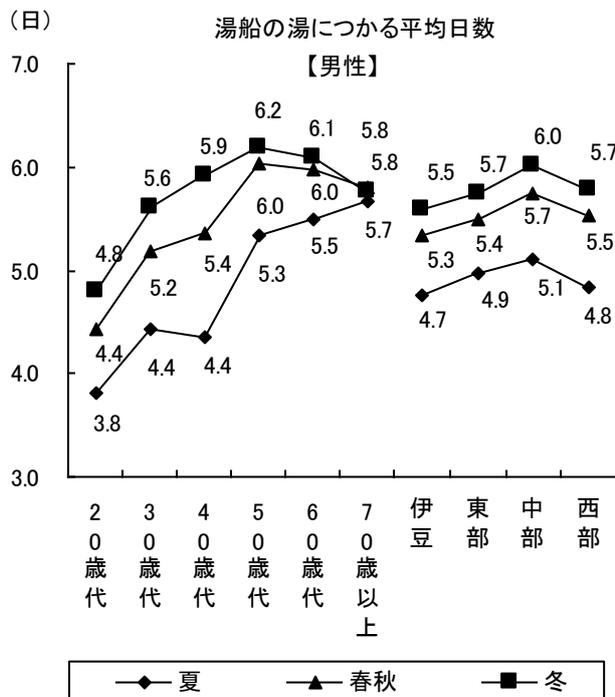
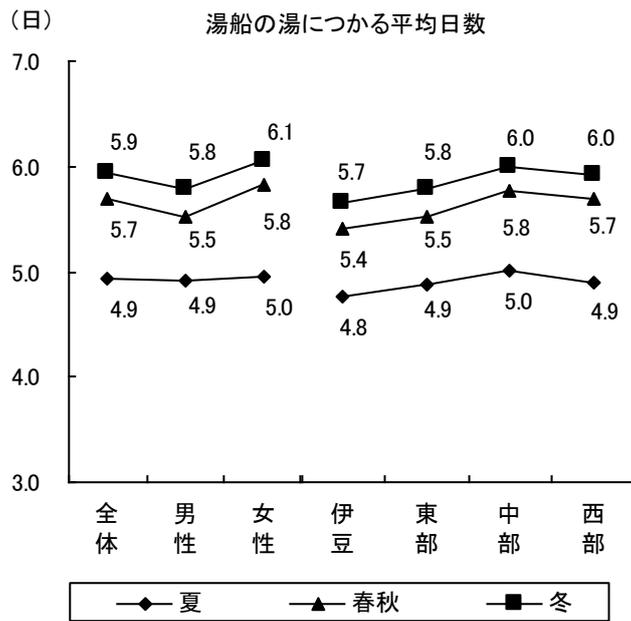




1 週間の入浴状況について、夏に湯船の湯につかる日数は、毎日（7日）49.5%となり、入らない人を含めた全体平均日数は4.9日となっている。春秋に湯船の湯につかる日数は、毎日（7日）60.9%となり、全体平均日数は5.7日、冬に湯船の湯につかる日数は、毎日（7日）65.2%となり、全体平均日数は5.9日となっている。

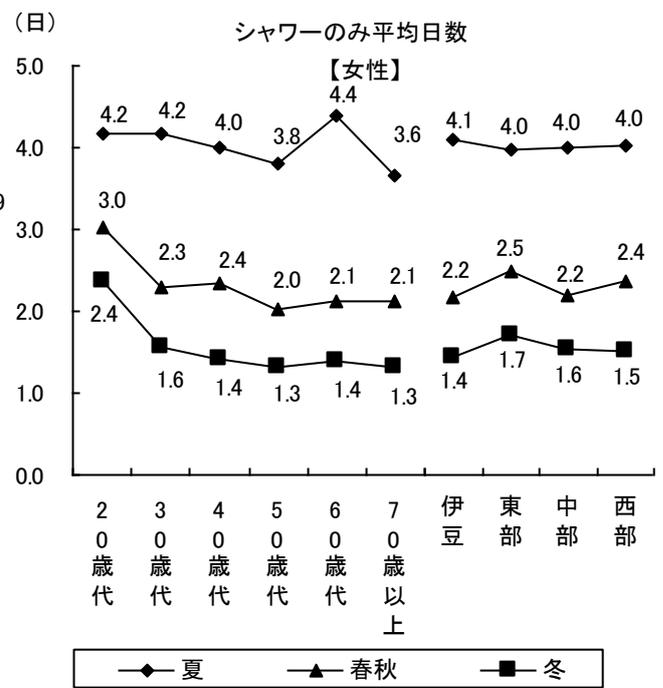
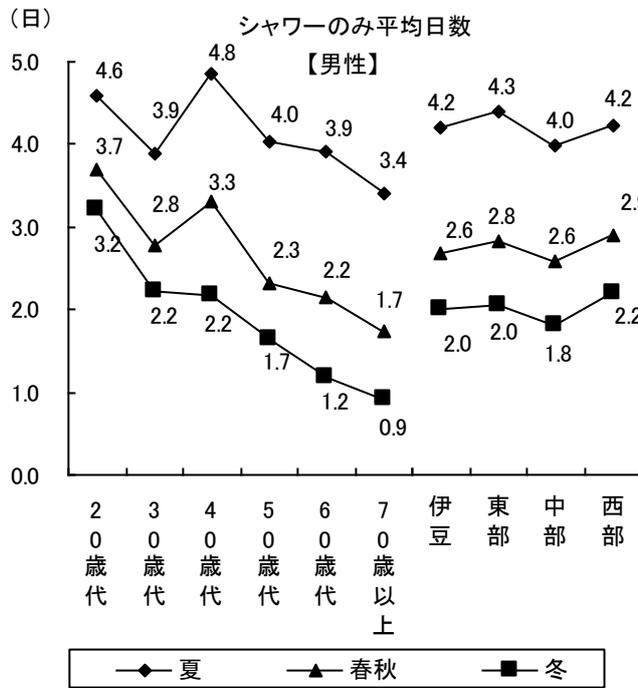
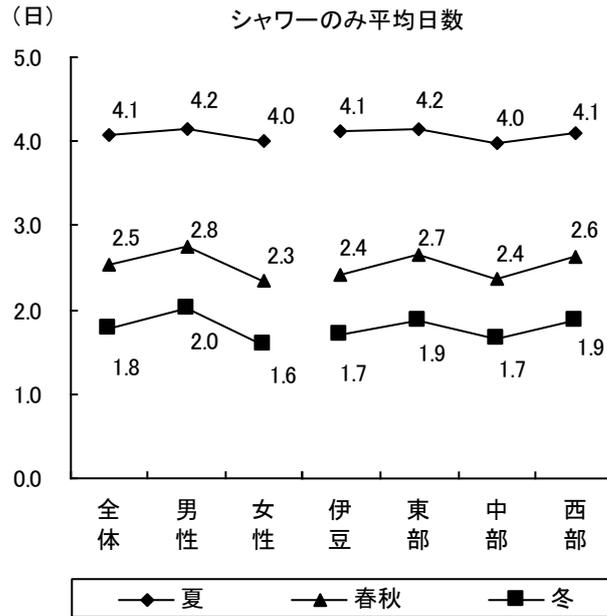
湯船につかる温度は、1年を通じて「温かい湯（40°C程度）」が最も高く、夏58.0%、春秋72.0%、冬50.3%となっている。一方、「熱い湯（42°C以上）」との回答は、夏7.6%、春秋16.6%、冬42.1%となっている。

夏にシャワーのみの日数は、毎日（7日）22.3%となり、入らない人を含めた全体平均日数は4.1日となっている。春秋にシャワーのみの日数は、毎日（7日）9.4%となり、全体平均日数は2.5日、冬にシャワーのみの日数は、毎日（7日）5.9%となり、全体平均日数は1.8日となっている。



1 週間の入浴状況について、湯船の湯につかる平均日数は全体、性別、地域別でも冬が最も多く、夏が少ない。性別では、冬には男性 5.8 日、女性 6.1 日となっている。

性・年代別にみると、男女共にいずれの季節でも若年層で湯船の湯につかる平均日数が少ない。夏には男性 20 歳代 3.8 日、女性 20 歳代 3.9 日となっている。冬には、男性では男性 50 歳代 6.2 日、女性では女性 40 歳代 6.5 日と多くなっている。また、男女共に 70 歳以上では季節での平均日数の差異はみられない。

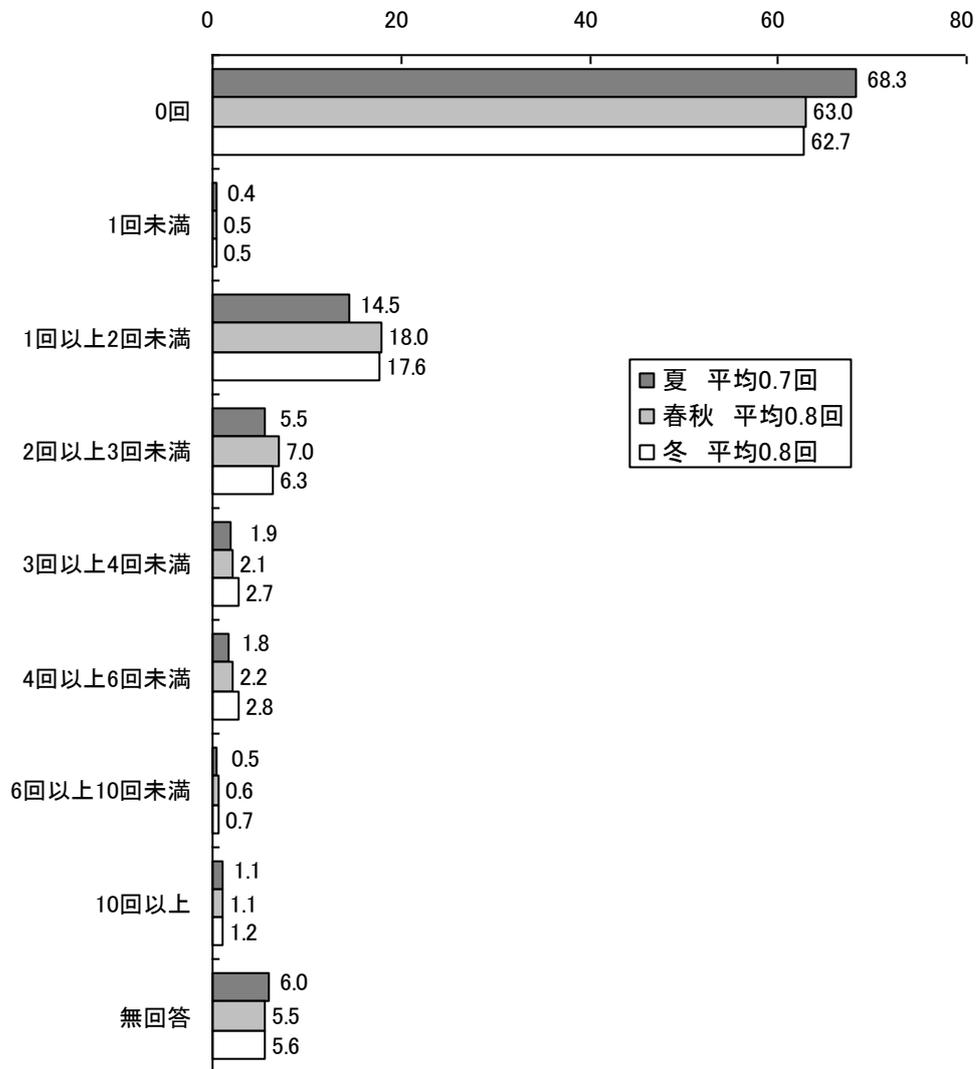


1週間の入浴状況について、シャワーのみの平均日数は全体、性別、地域別でも夏が最も多く、冬が少ない。性別では、冬には男性2.0日、女性1.6日となっている。

性・年代別にみると、男女共に若年層でシャワーのみの平均日数が多い。冬には男性20歳代3.2日、女性20歳代2.4日となっている。夏には男性40歳代4.8日、男性20歳代4.6日、女性60歳代4.4日となっている。また、男女共に70歳以上では、いずれの季節でも平均日数は他の年代より少なくなっている。

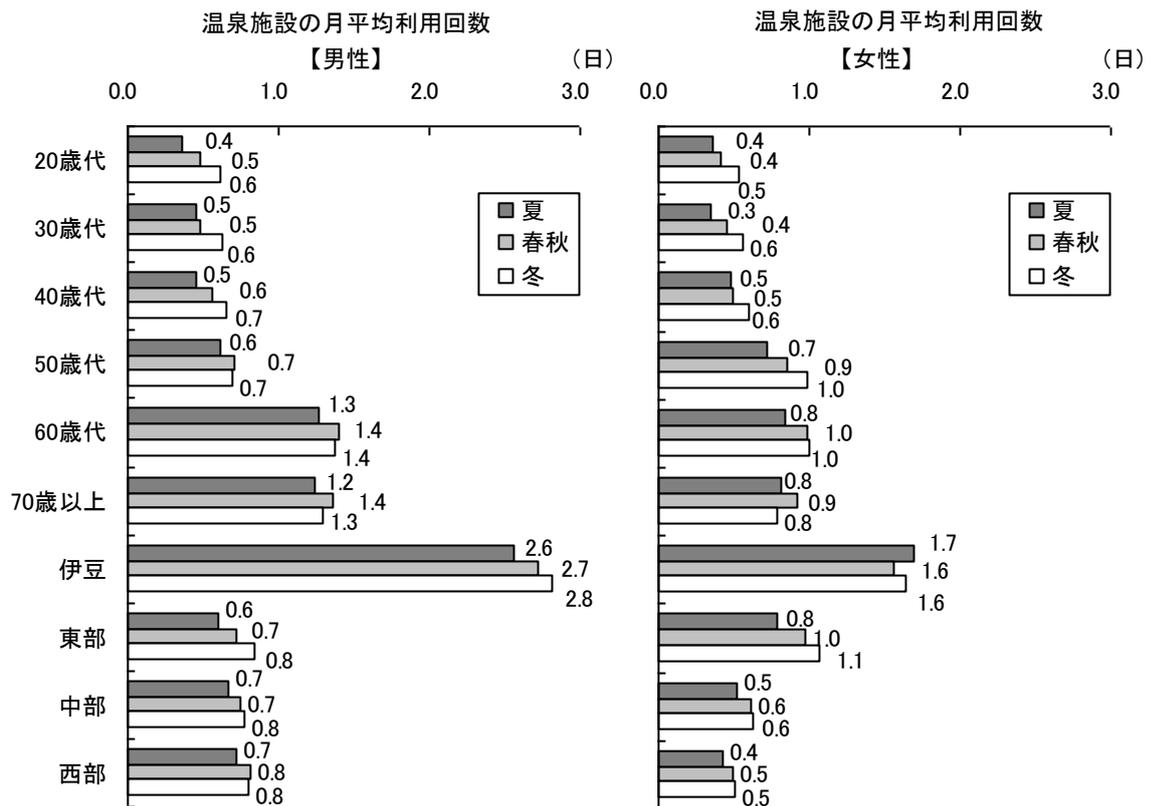
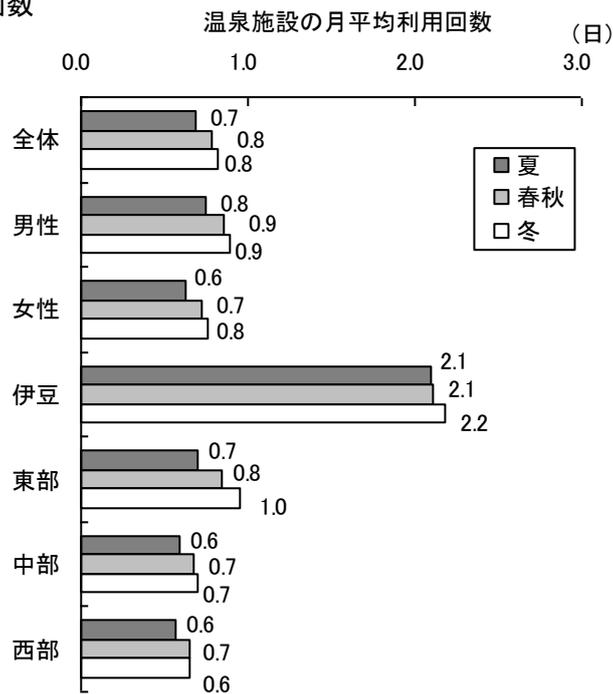
### 3-5 温泉施設の利用状況

【問 17】温泉施設には夏（7－9月）、春秋、冬（12－2月）それぞれ平均すると、ひと月に何回行きますか。行かない場合は「0」とご記入ください。（%）



温泉施設の利用状況について、夏にひと月に行く平均回数は0.7回、春秋は0.8回、冬は0.8回となっている。

温泉施設の月平均利用回数



温泉施設の月平均利用回数を性別にみると、男性が女性を0.2回程度上回っている。地域別にみると、伊豆はいずれの季節でも多く2回程度となっている。

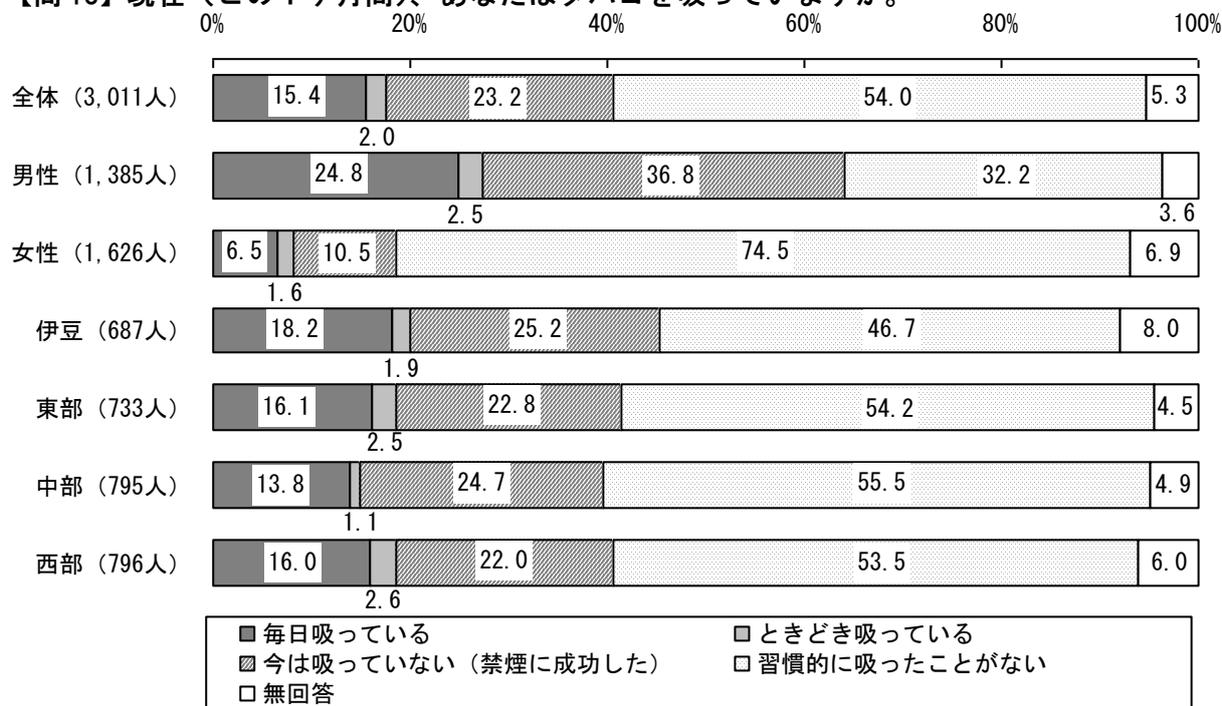
性・年代別にみると、男女共に冬の平均回数が多く、年代があがるにつれ、多くなっている。男性60歳以上では、いずれの季節でも1.3回程度となっている。

性・地域別にみると、伊豆男性が1回程度、伊豆女性より多くなっている。

## 4 タバコについて

### 4-1 喫煙状況と禁煙意向

【問 18】現在（この1ヶ月間）、あなたはタバコを吸っていますか。



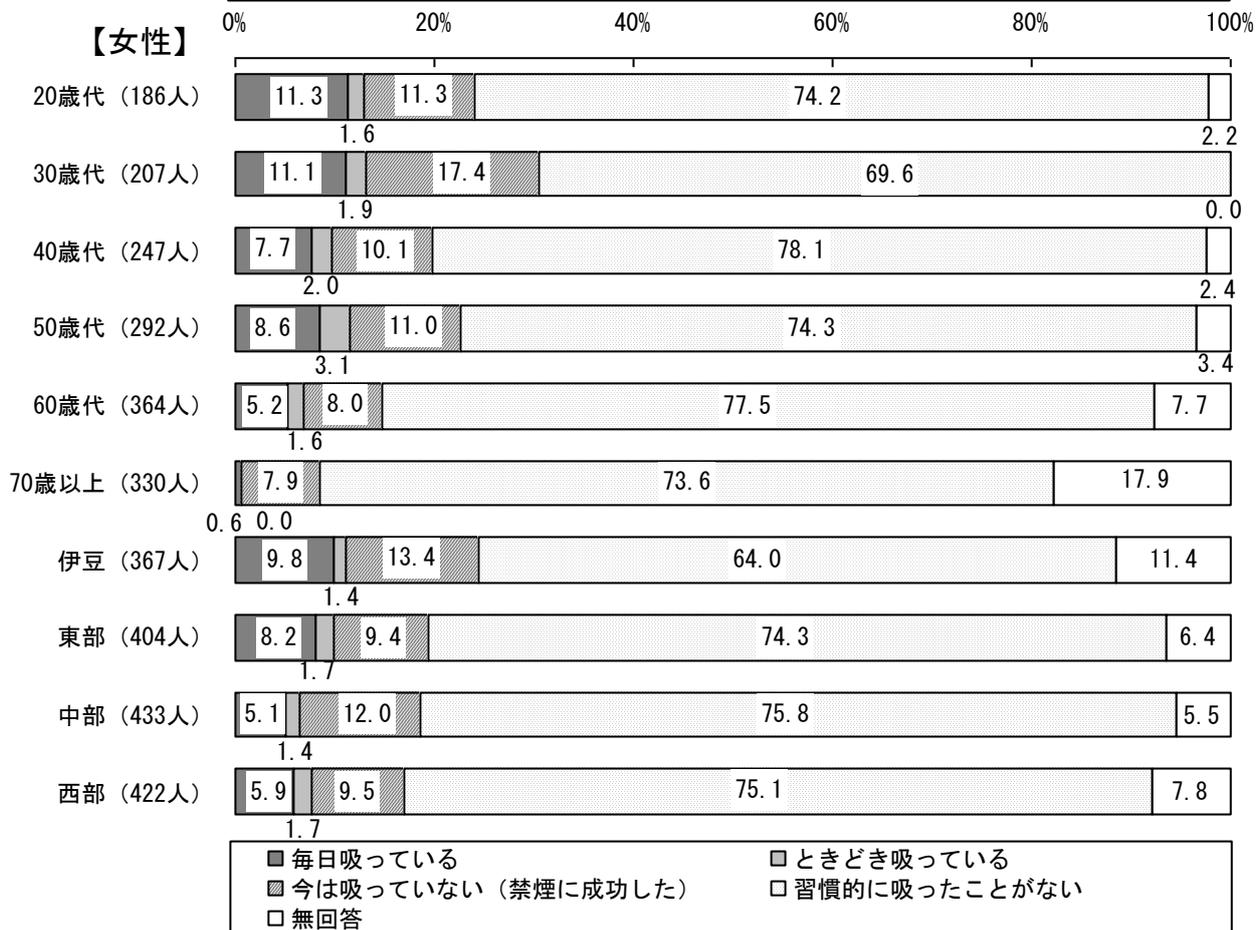
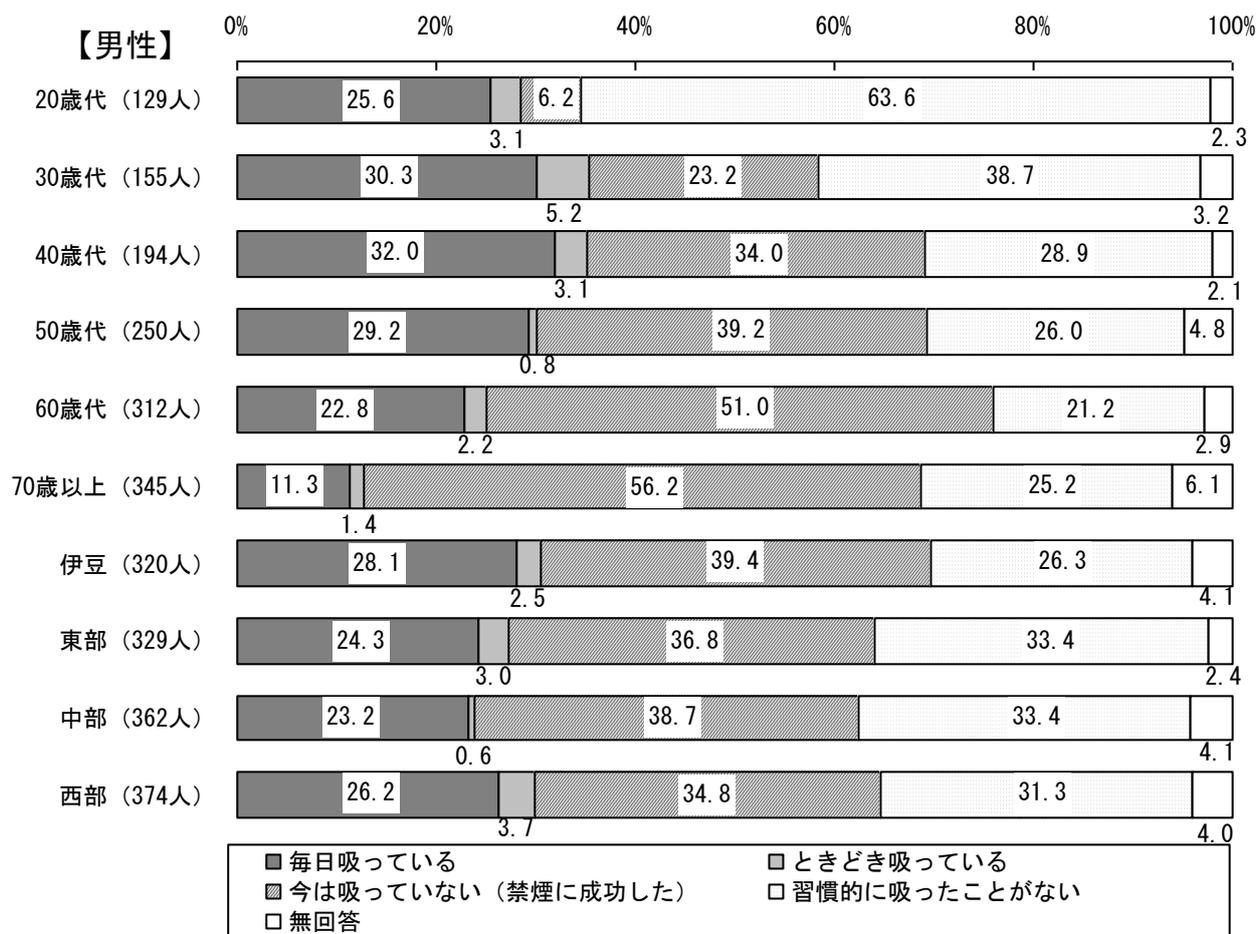
喫煙状況について、全体では「毎日吸っている」は15.4%、「ときどき吸っている」は2.0%と「毎日吸っている」「ときどき吸っている」を合わせた喫煙習慣があるとの回答は17.4%となっている。一方、「今は吸っていない（禁煙に成功した）」は23.2%、「習慣的に吸ったことがない」は54.0%と、「今は吸っていない（禁煙に成功した）」「習慣的に吸ったことがない」を合わせた喫煙習慣がないとの回答は77.2%となっている。

性別では、喫煙習慣があるとの回答は、男性が27.3%、女性が8.1%となっている。

地域別では、喫煙習慣があるとの回答が最も高かったのは伊豆が20.1%、最も低かったのは中部が14.9%となっている。

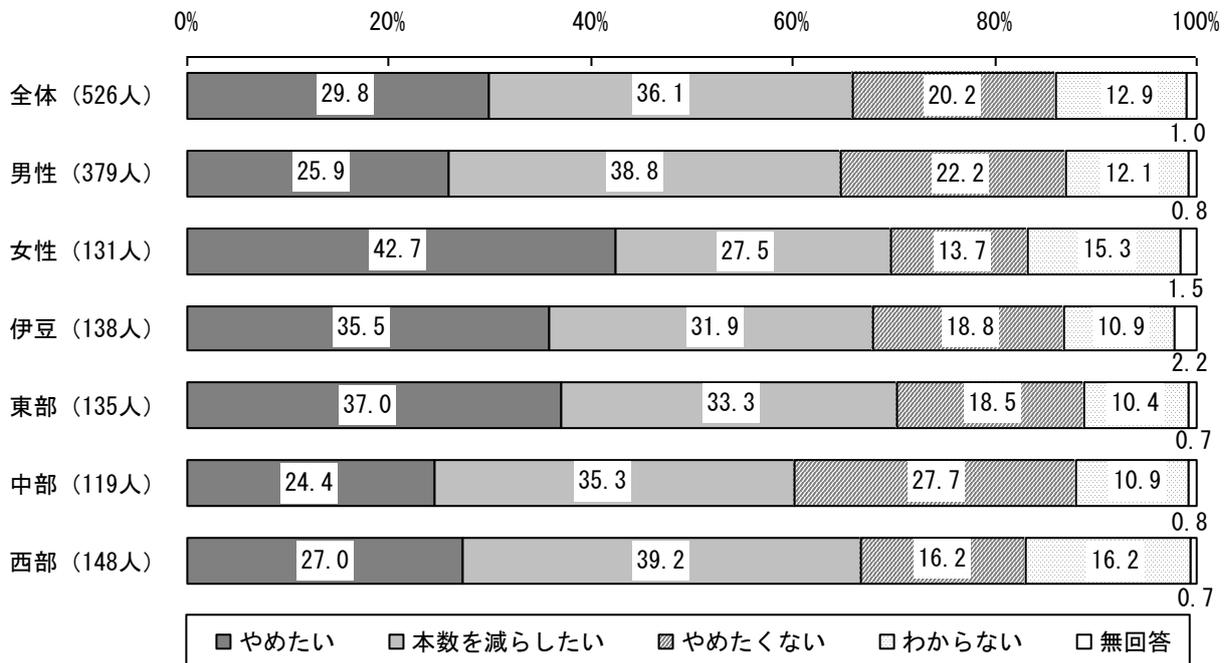
性・年代別にみると、喫煙習慣があるとの回答が高かったのは、男性では男性30歳代35.5%、男性40歳代35.1%となっている。女性では女性30歳代13.0%、女性20歳代12.9%となっている。

性・地域別にみると、喫煙習慣があるとの回答は、男女共に伊豆地域が最も高く、男性伊豆30.6%、女性伊豆11.2%となっている。



【問 18-2】 タバコをやめたいと思いますか。

（【問 18】 現在、タバコを「毎日吸っている」「ときどき吸っている」と回答した人。）

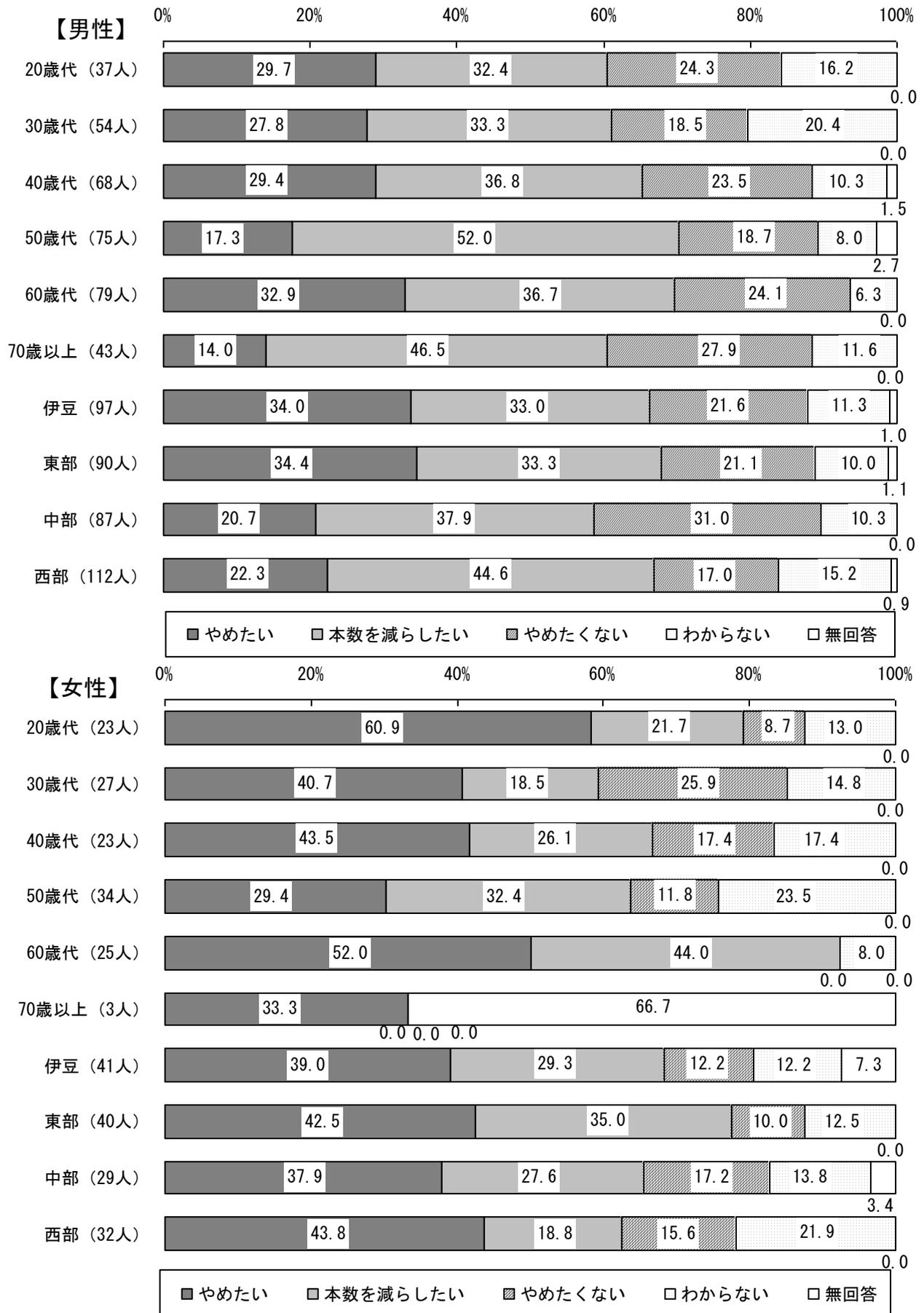


喫煙習慣のある回答者に禁煙意向をたずねると、全体では「やめたい」は 29.8%、「本数を減らしたい」は 36.1%、「やめたくない」は 20.2%となっている。

性別では、禁煙意向は、男性が 25.9%、女性が 42.7%となっている。

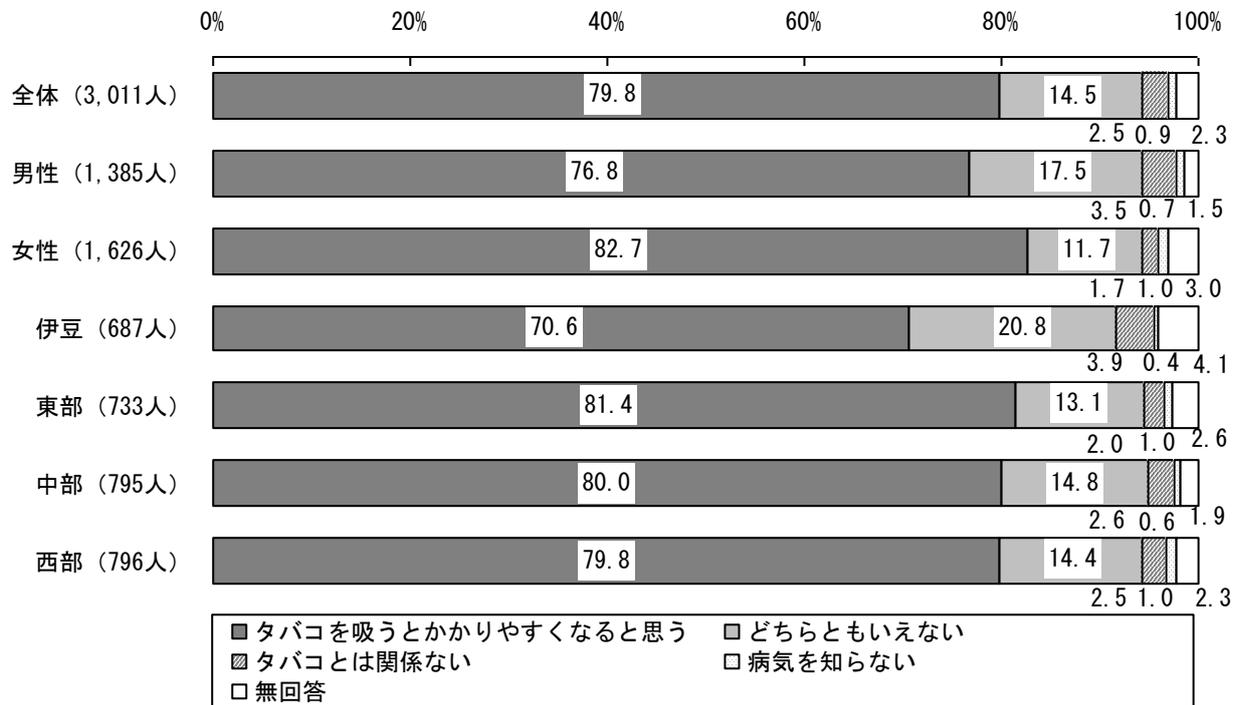
地域別では、禁煙意向が最も高かったのは東部が 37.0%、最も低かったのは中部が 24.4%となっている。

性・年代別にみると、禁煙意向が高かったのは、男性では男性 60 歳代 32.9%、男性 20 歳代 29.7%となっている。女性では女性 20 歳代 60.9%、女性 60 歳代 52.0%となっている。



## 4-2 タバコが肺がんに与える影響の意識

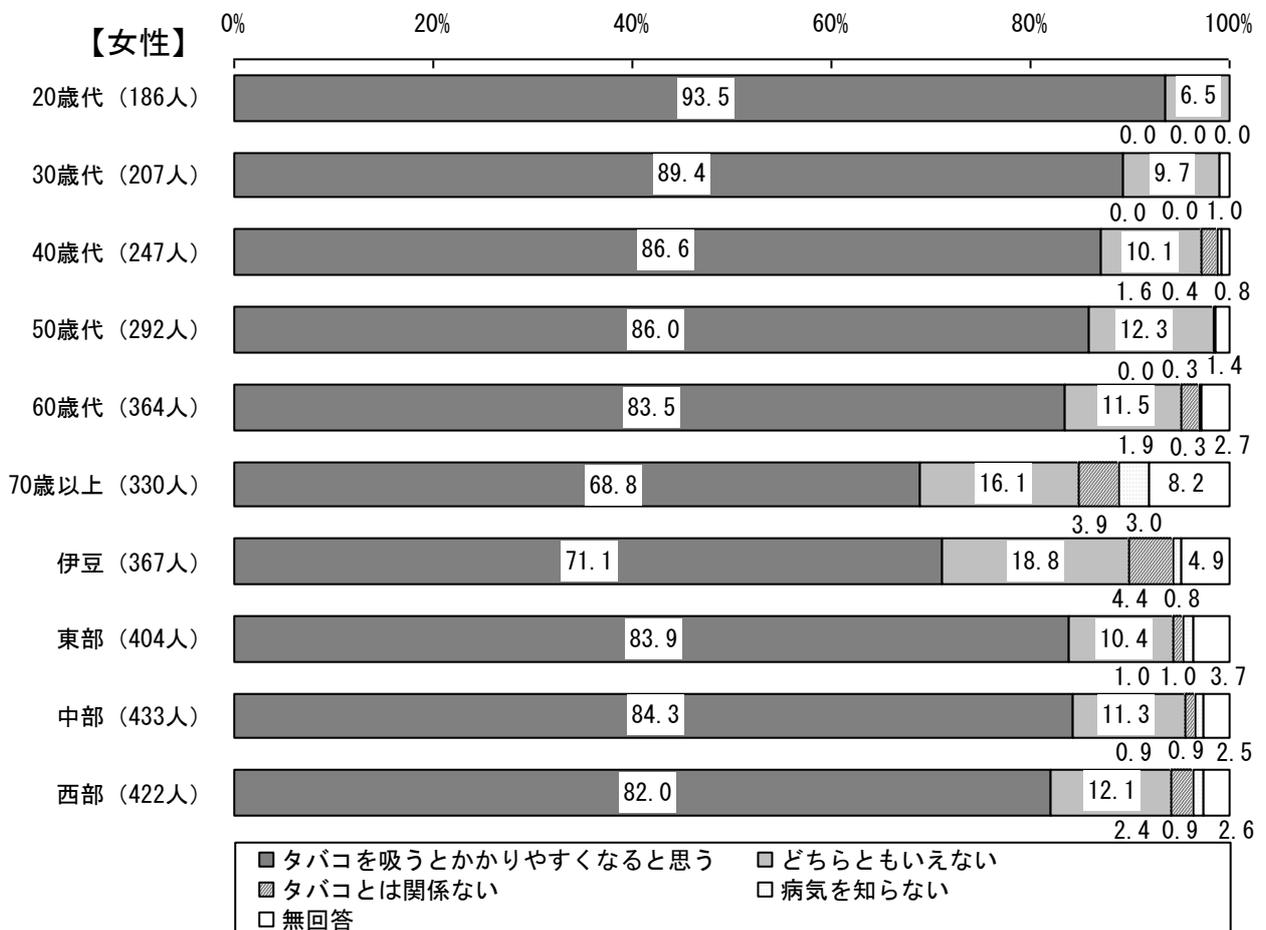
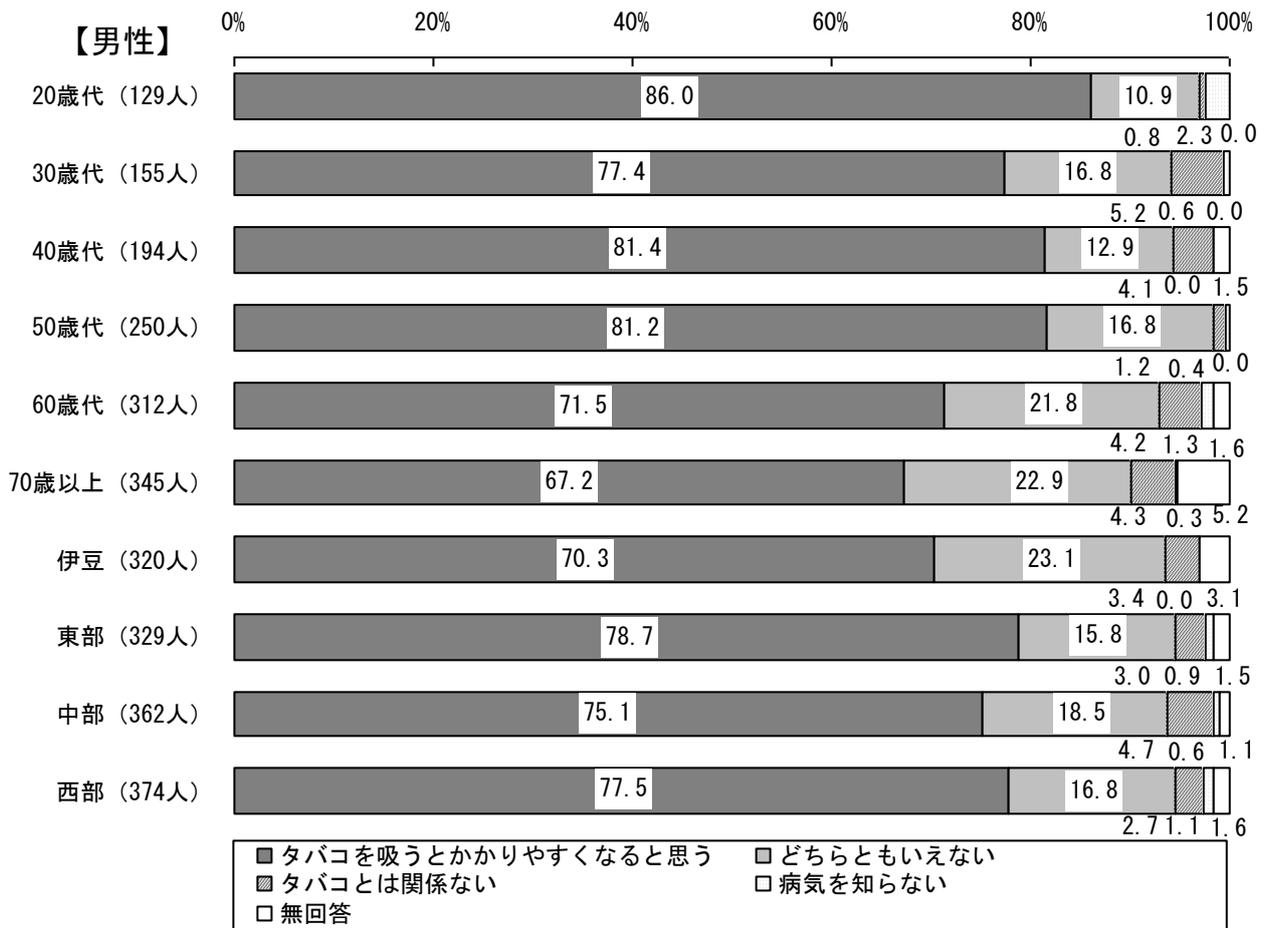
【問 19】あなたはタバコが肺がんに与える影響について、どのように思いますか。



タバコが肺がんに与える影響の意識について、全体では「タバコを吸うとかかりやすくなると思う」79.8%、「どちらともいえない」14.5%、「タバコとは関係ない」2.5%、「病気を知らない」0.9%となっている。

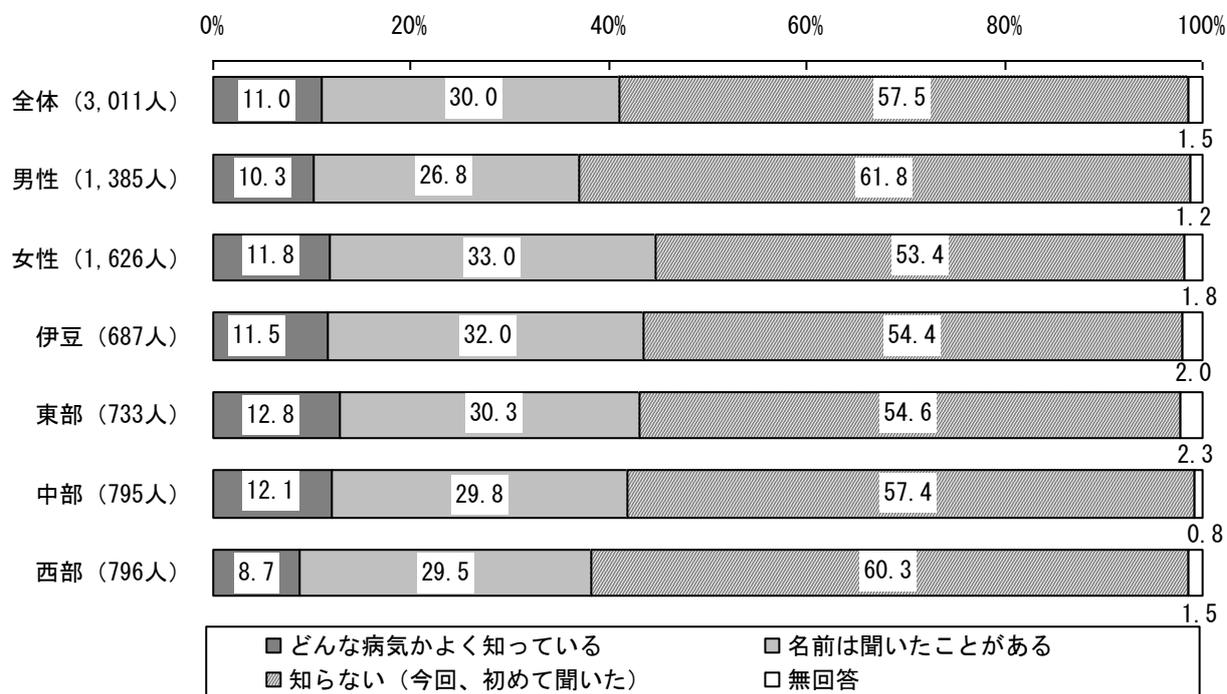
性別では、「タバコを吸うとかかりやすくなると思う」は、男性が76.8%、女性が82.7%となっている。

地域別では、「タバコを吸うとかかりやすくなると思う」との回答が最も高かったのは東部が81.4%、最も低かったのは伊豆が70.6%となっている。



### 4-3 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知

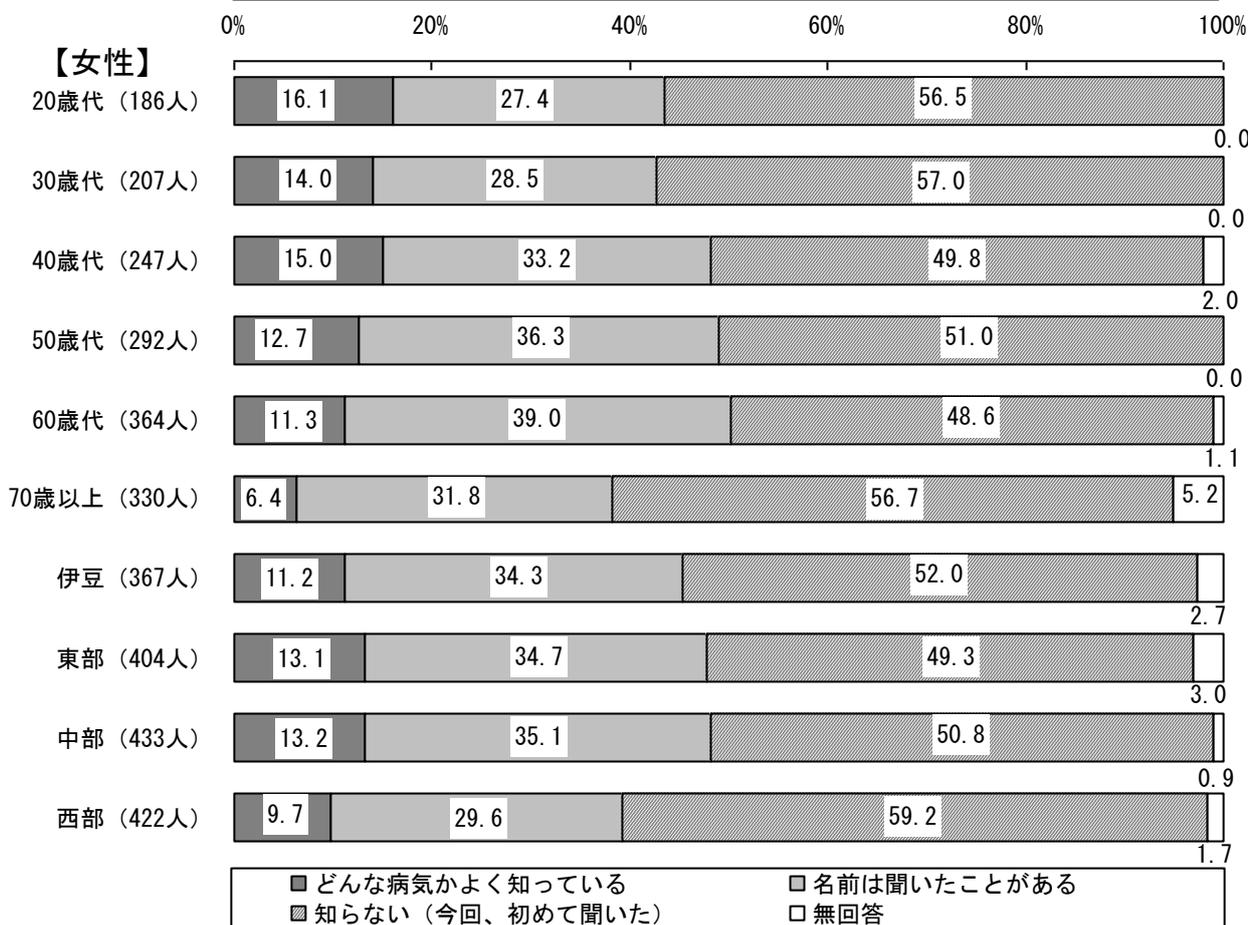
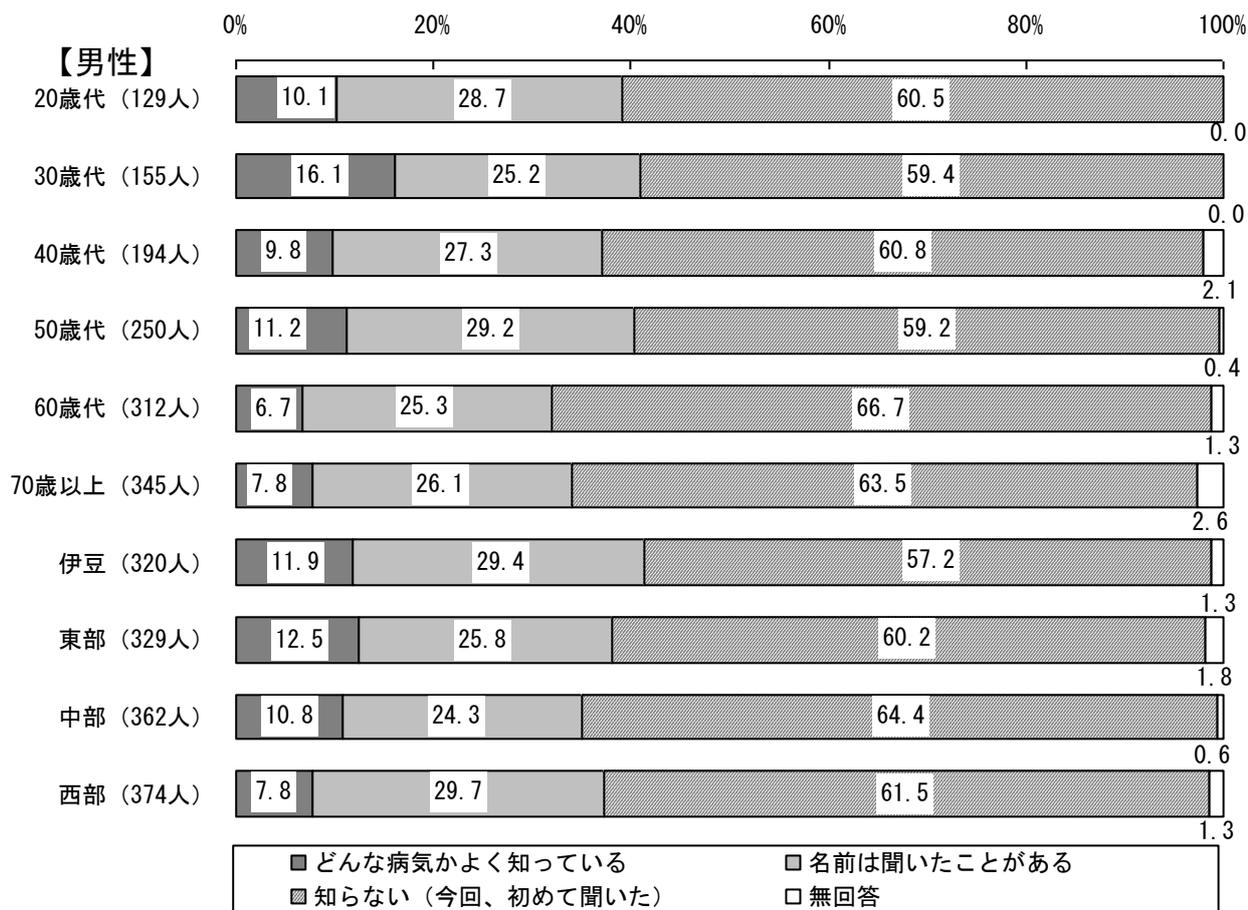
【問 20】あなたは、COPD（慢性閉塞性肺疾患）という病気を知っていますか。



COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知について、全体では「どんな病気かよく知っている」11.0%、「名前は聞いたことがある」30.0%、「知らない（今回、初めて聞いた）」57.5%となっている。

性別では、「知らない（今回、初めて聞いた）」は、男性が 61.8%、女性が 53.4%と男性が女性より 8.4 ポイント高くなっている。

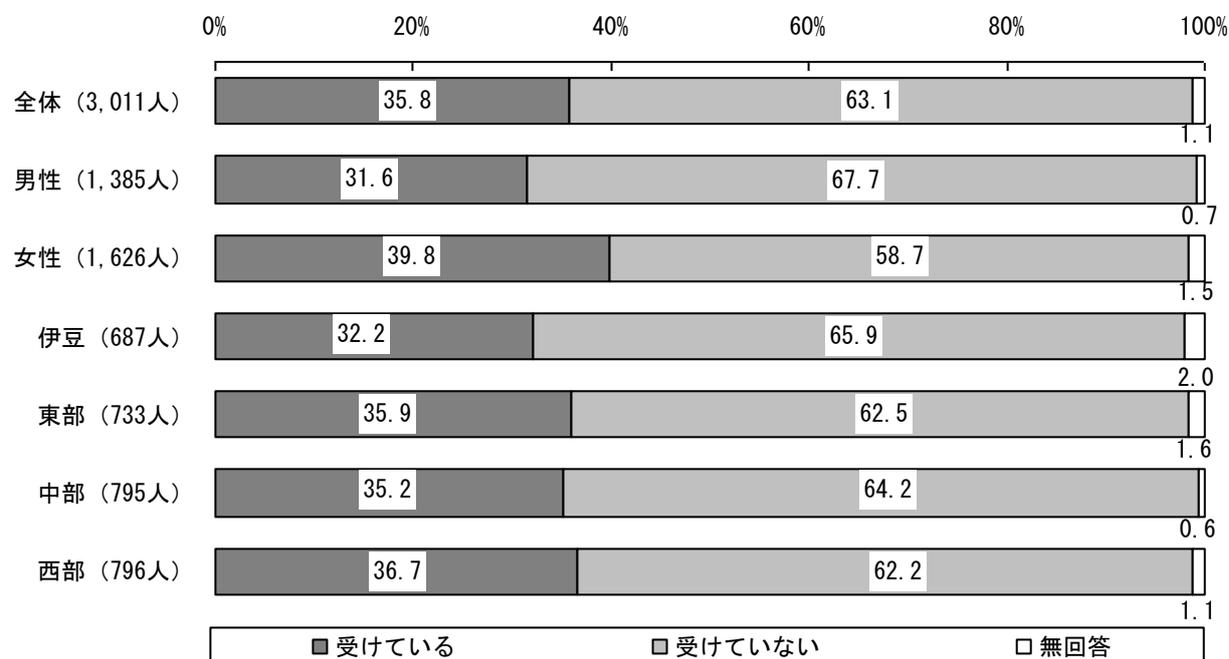
地域別では、「知らない（今回、初めて聞いた）」との回答が最も高かったのは西部が 60.3%、最も低かったのは伊豆が 54.4%となっている。



## 5 歯の健康について

### 5-1 歯の定期健診受診の有無

【問 21】あなたは、予防のために1年に1回以上、定期的な歯の健診を受けていますか。



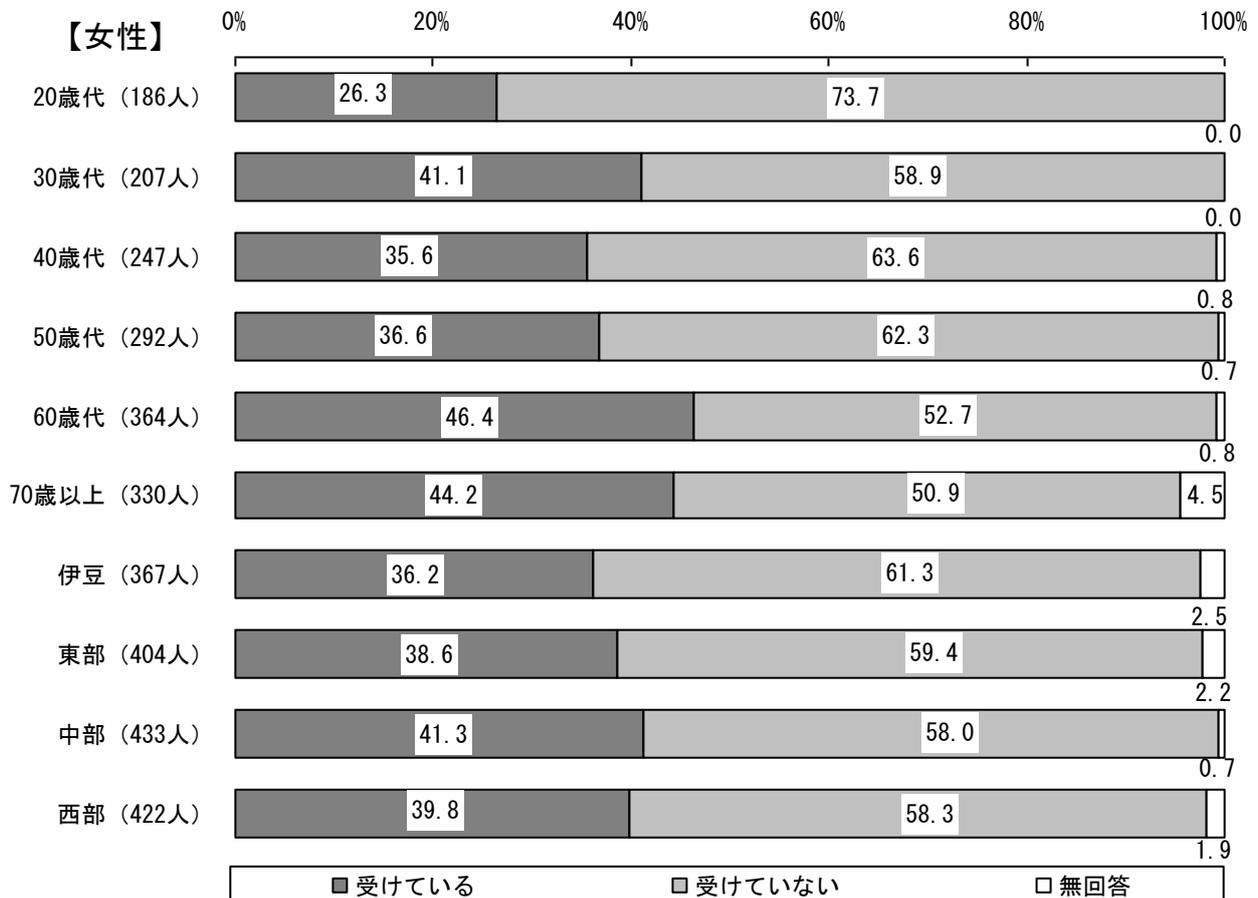
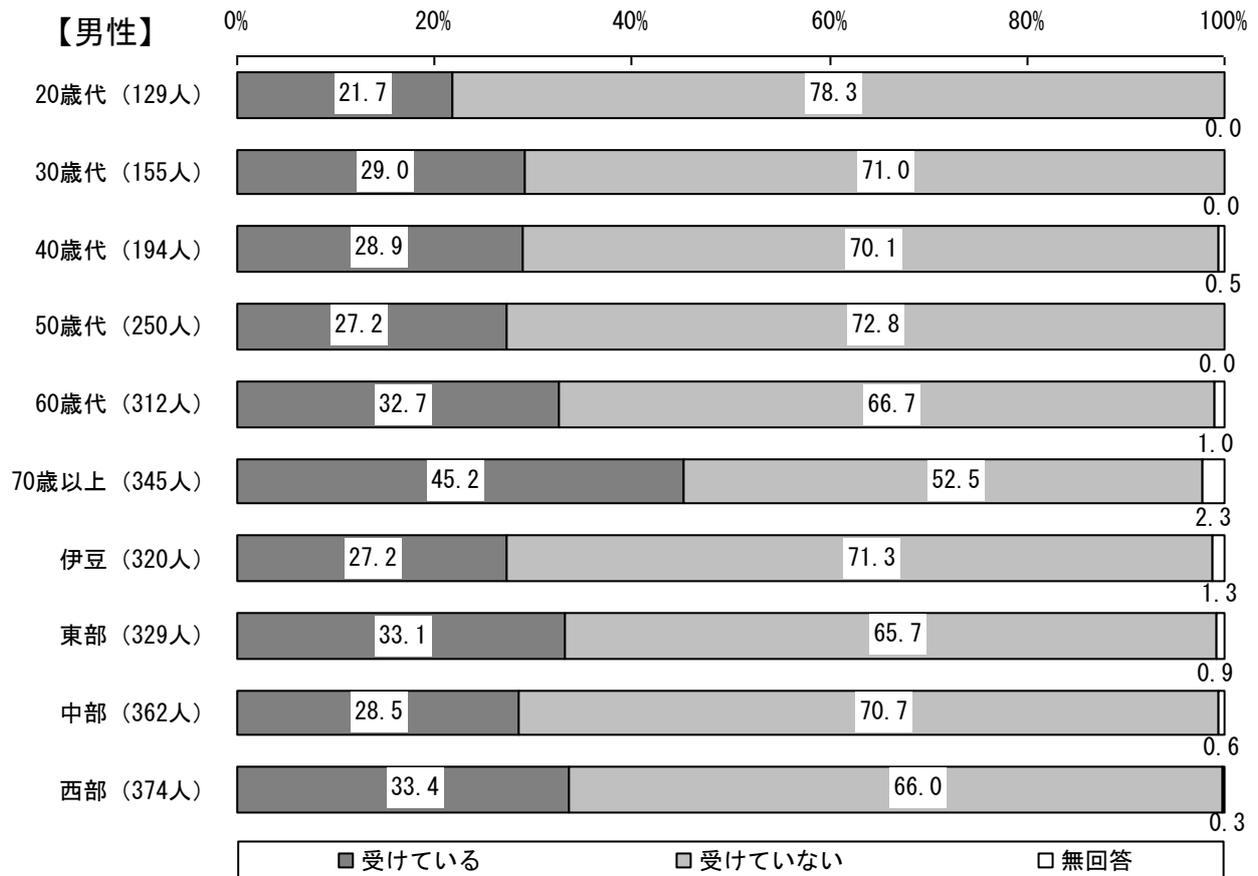
歯の定期健診受診の有無について、全体では「受けている」35.8%、「受けていない」63.1%となっている。

性別では、「受けていない」は、男性が67.7%、女性が58.7%と男性の方が9.0ポイント高くなっている。

地域別では、「受けていない」との回答が最も高かったのは伊豆が65.9%、最も低かったのは西部が62.2%となっている。

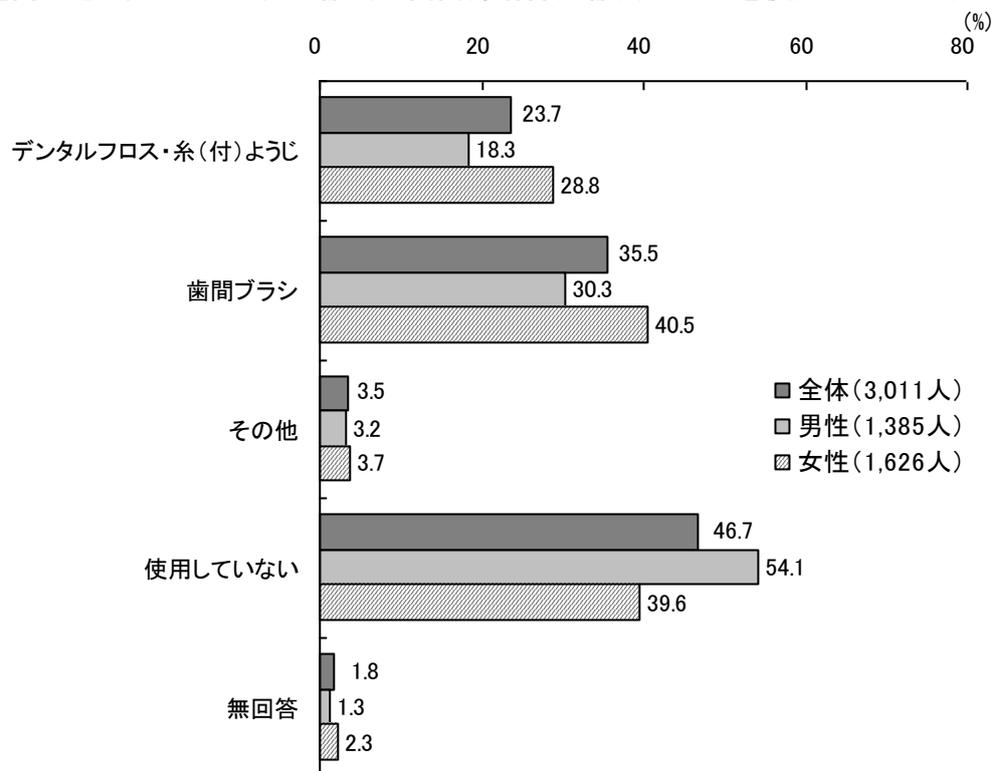
性・年代別にみると、「受けていない」との回答は、男女共に20歳代が最も高く、男性20歳代78.3%、女性20歳代73.7%となっている。

性・地域別にみると、「受けていない」との回答は、男女共に伊豆地域が最も高く、男性伊豆71.3%、女性伊豆61.3%となっている。



## 5-2 歯間部清掃用器具などの使用状況

【問 22】あなたは、次の器具（歯間部清掃用器具など）を使用していますか。（複数回答）

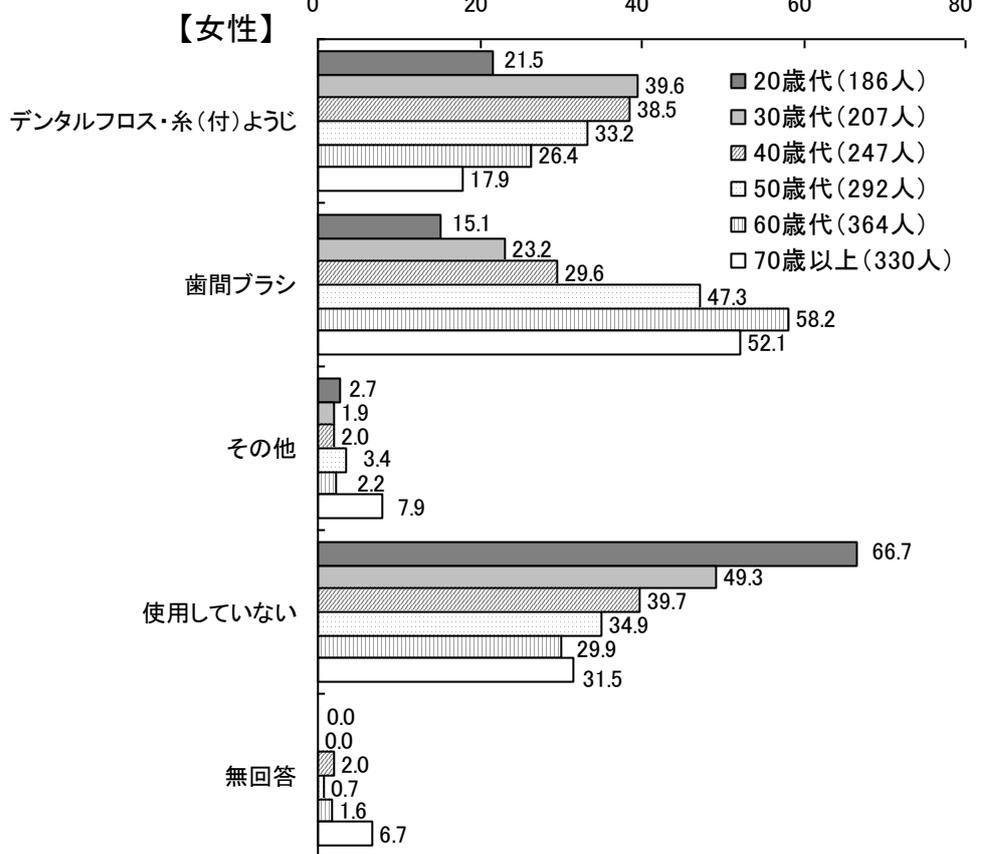
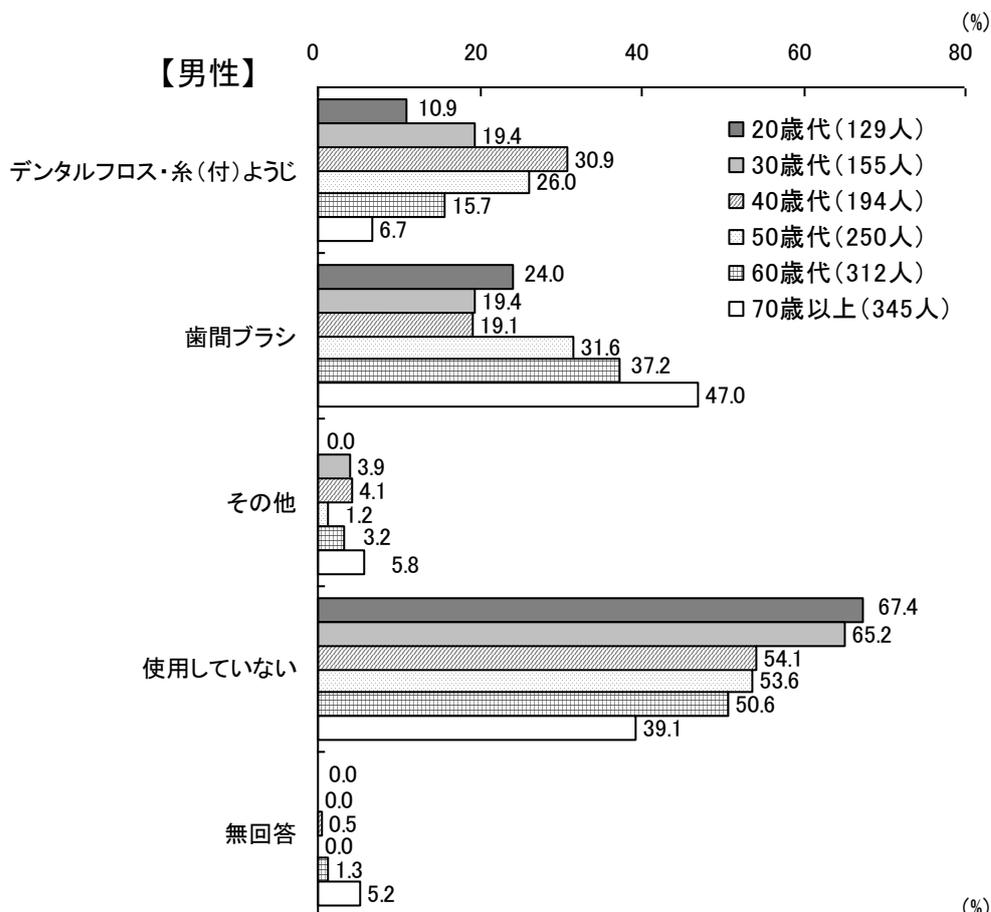


歯間部清掃用器具などの使用状況について、全体では「歯間ブラシ」35.5%、「デンタルフロス・糸（付）ようじ」23.7%の順となっている。「使用していない」は46.7%となっている。

性別では、「使用していない」は、男性が54.1%、女性が39.6%と男性の方が14.5ポイント高くなっている。

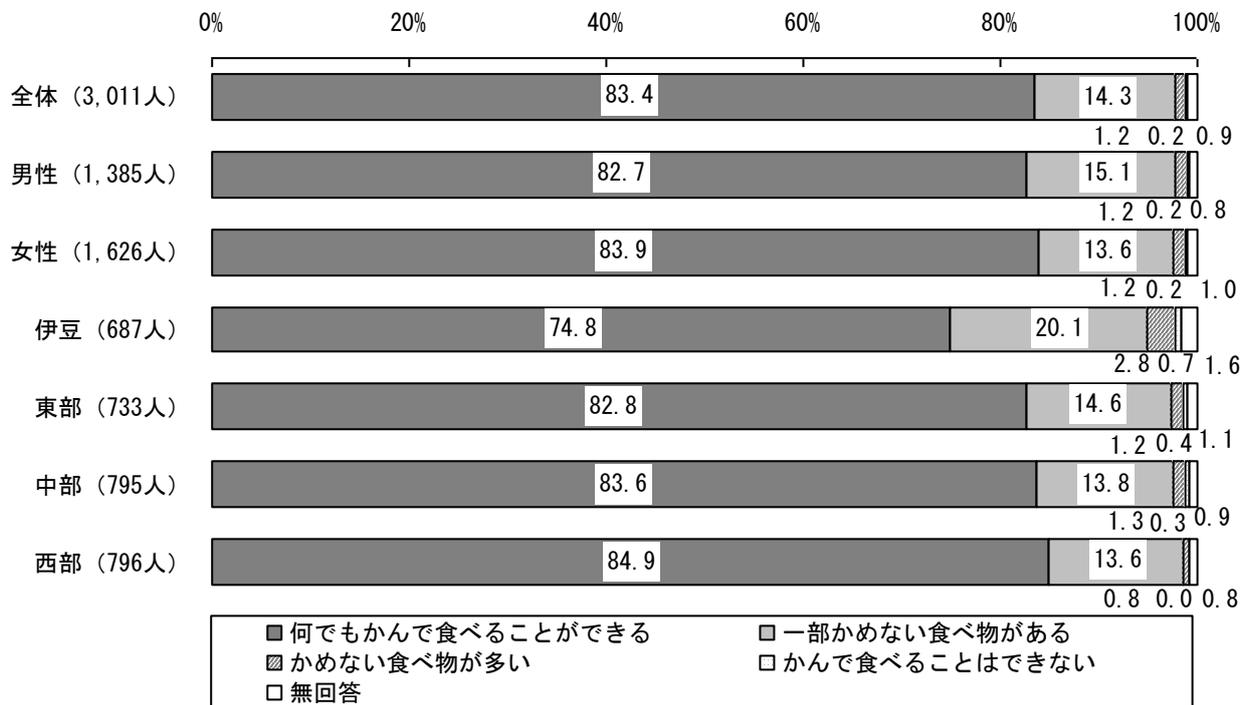
性・年代別にみると、「使用していない」との回答は、男女共に年代があがるにつれ低くなり、20歳代が最も高く、男性20歳代67.4%、女性20歳代66.7%となっている。

性・地域別では、歯間部清掃用器具などの使用状況に大きな差異はみられない。



### 5-3 咀嚼の状態

【問 23】かんで食べる時の状態について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



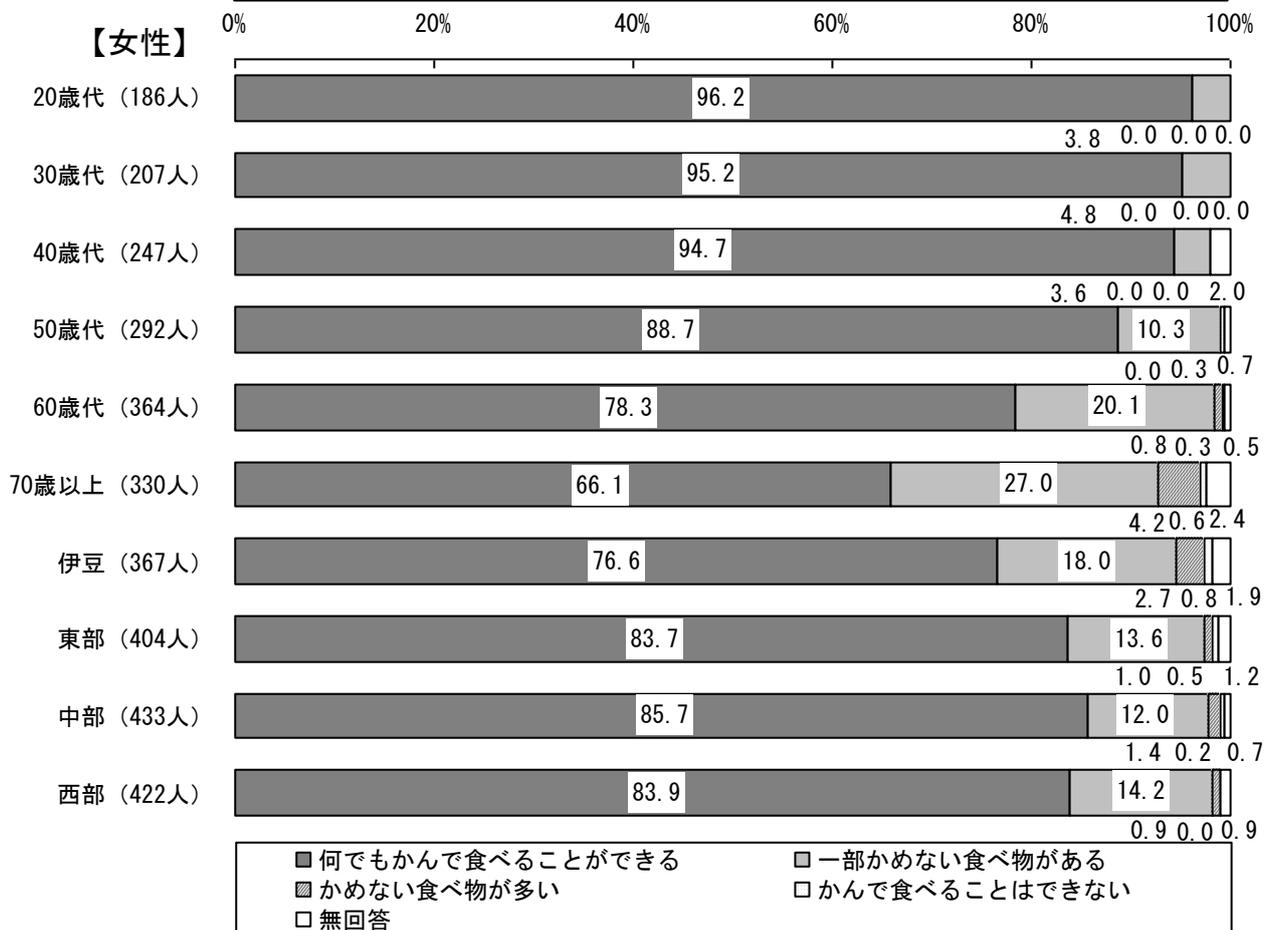
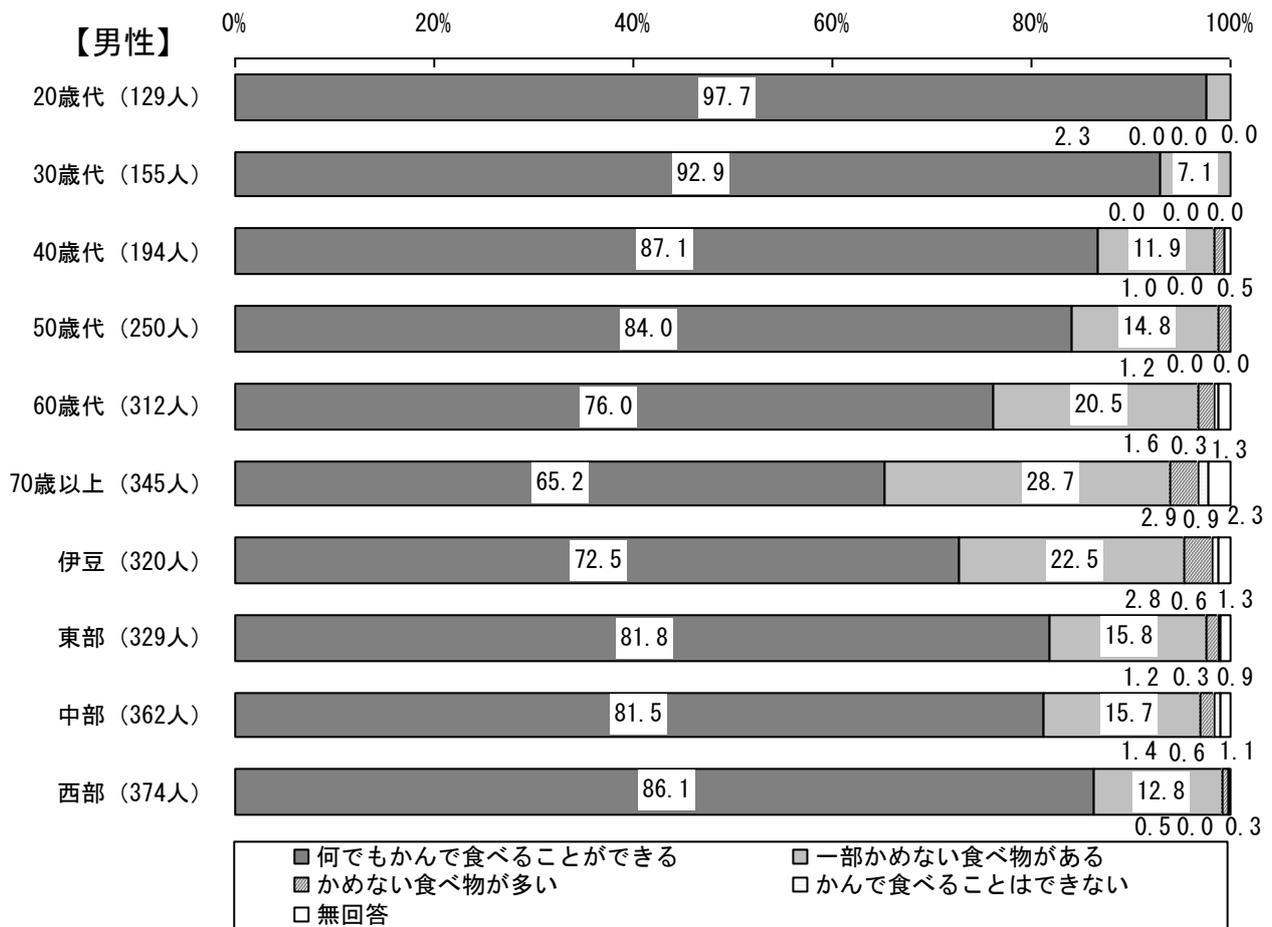
咀嚼の状態について、全体では「何でもかんで食べることができる」83.4%、「一部かめない食べ物がある」14.3%、「かめない食べ物が多い」1.2%、「かんで食べることはできない」0.2%となっている。「一部かめない食べ物がある」「かめない食べ物が多い」「かんで食べることはできない」との回答を合わせた咀嚼に支障のある人は15.7%となっている。

性別では、咀嚼に支障のある人は男性が16.5%、女性が15.0%と男性の方が1.5ポイント上回っている。

地域別では、咀嚼に支障のある人は回答が最も高かったのは伊豆が23.6%、最も低かったのは西部が14.4%となっている。

性・年代別にみると、咀嚼に支障のある人は男女共に年代があがるにつれ高くなり、男性70歳以上32.5%、女性70歳以上31.8%となっている。

性・地域別にみると、咀嚼に支障のある人は男女共に伊豆地域が高く、男性伊豆25.9%、女性伊豆21.5%となっている。

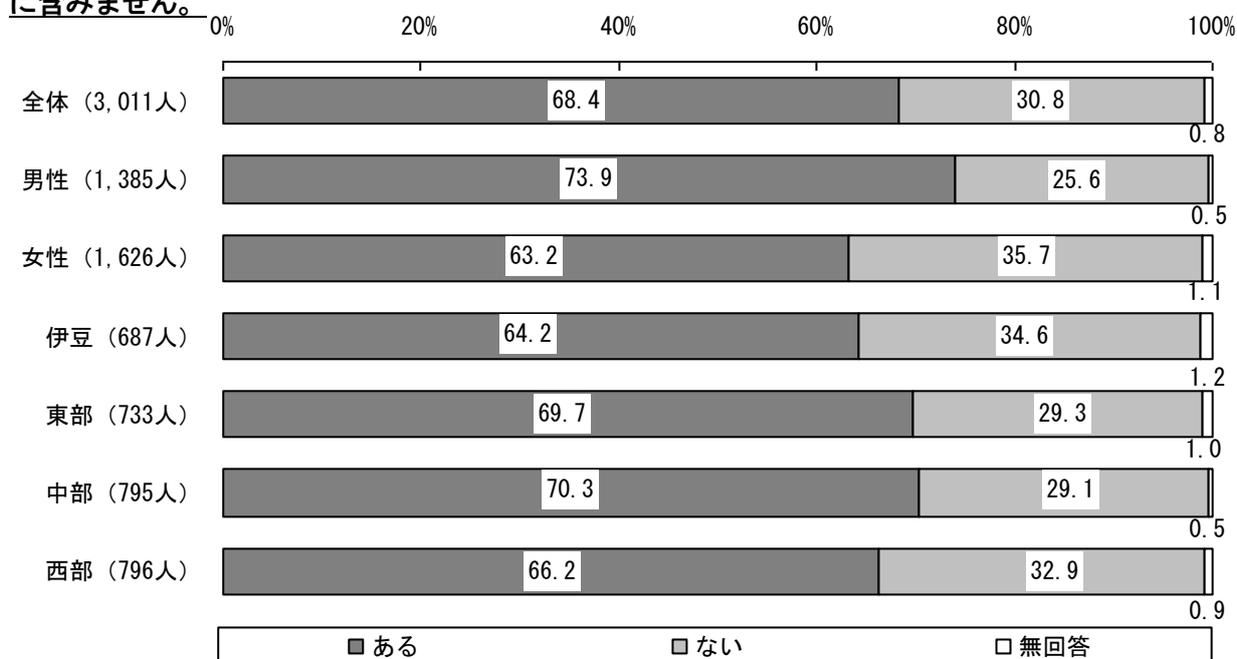


## 6 健康状況等について

### 6-1 定期健診等の受診の有無

【問 24】あなたは過去1年間に、健診（健康診断や健康診査）や人間ドックを受けましたか。

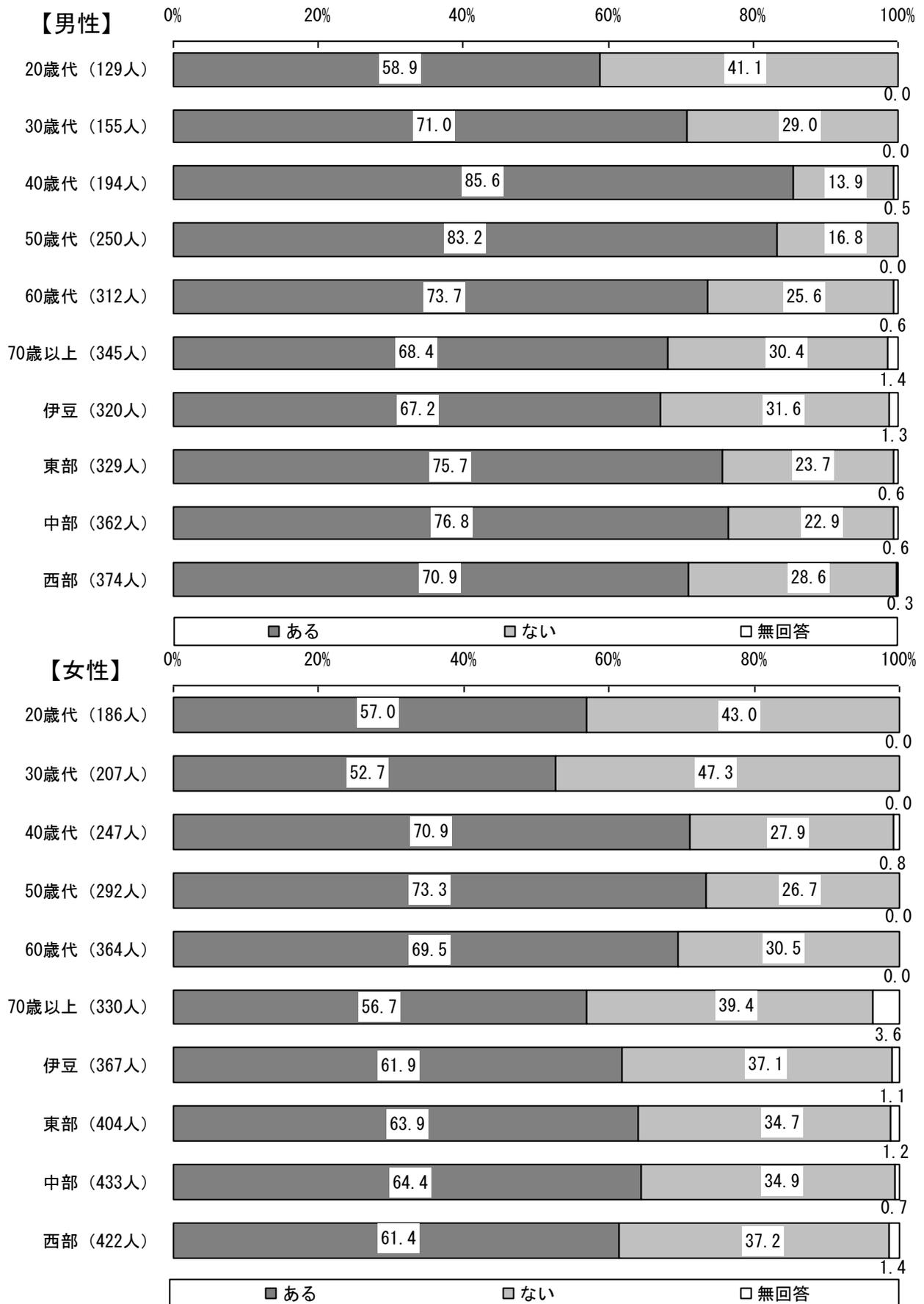
※がんのみの検診、妊産婦検診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検査は、健診に含みません。



定期健診等の受診の有無について、全体では「ある」68.4%、「ない」30.8%となっている。性別では、「ない」は、男性が25.6%、女性が35.7%と女性の方が10.1ポイント高くなっている。

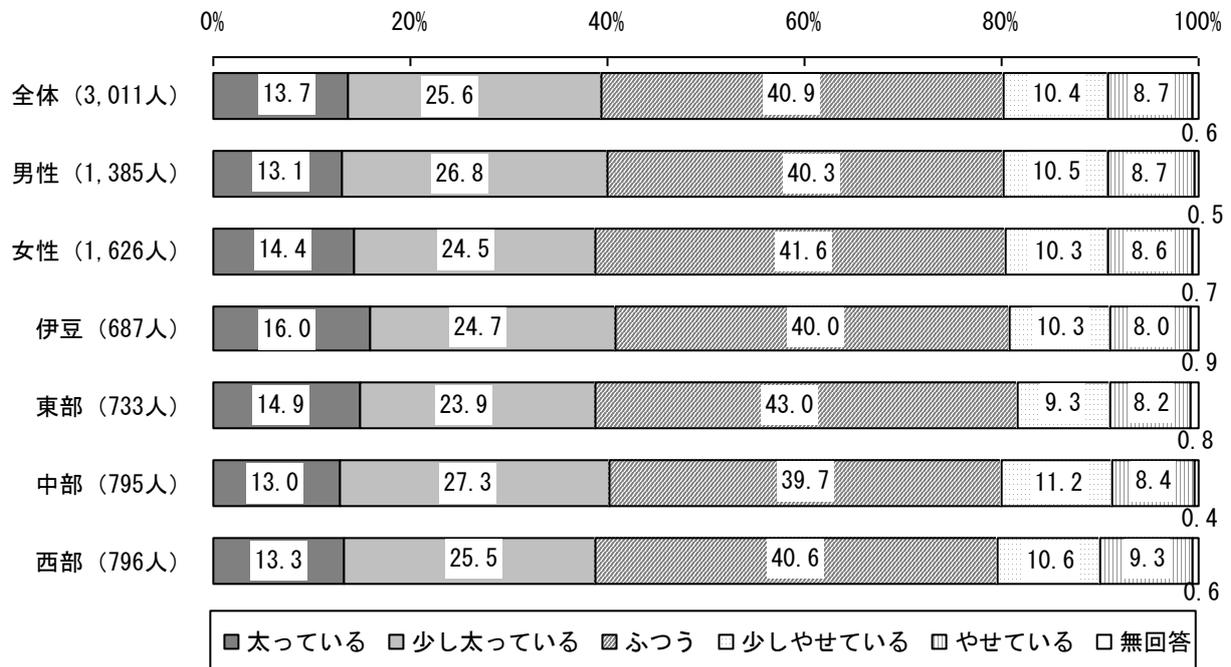
地域別では、「ない」との回答が最も高かったのは伊豆が34.6%、最も低かったのは中部が29.1%となっている。

性・年代別にみると、「ない」との回答は、男性は40歳代から高くなっており、男性40歳代13.9%、男性70歳以上30.4%となっている。女性は50歳代から高くなり、女性50歳代26.7%、女性70歳以上39.4%となっている。



## 6-2 体型の自己評価

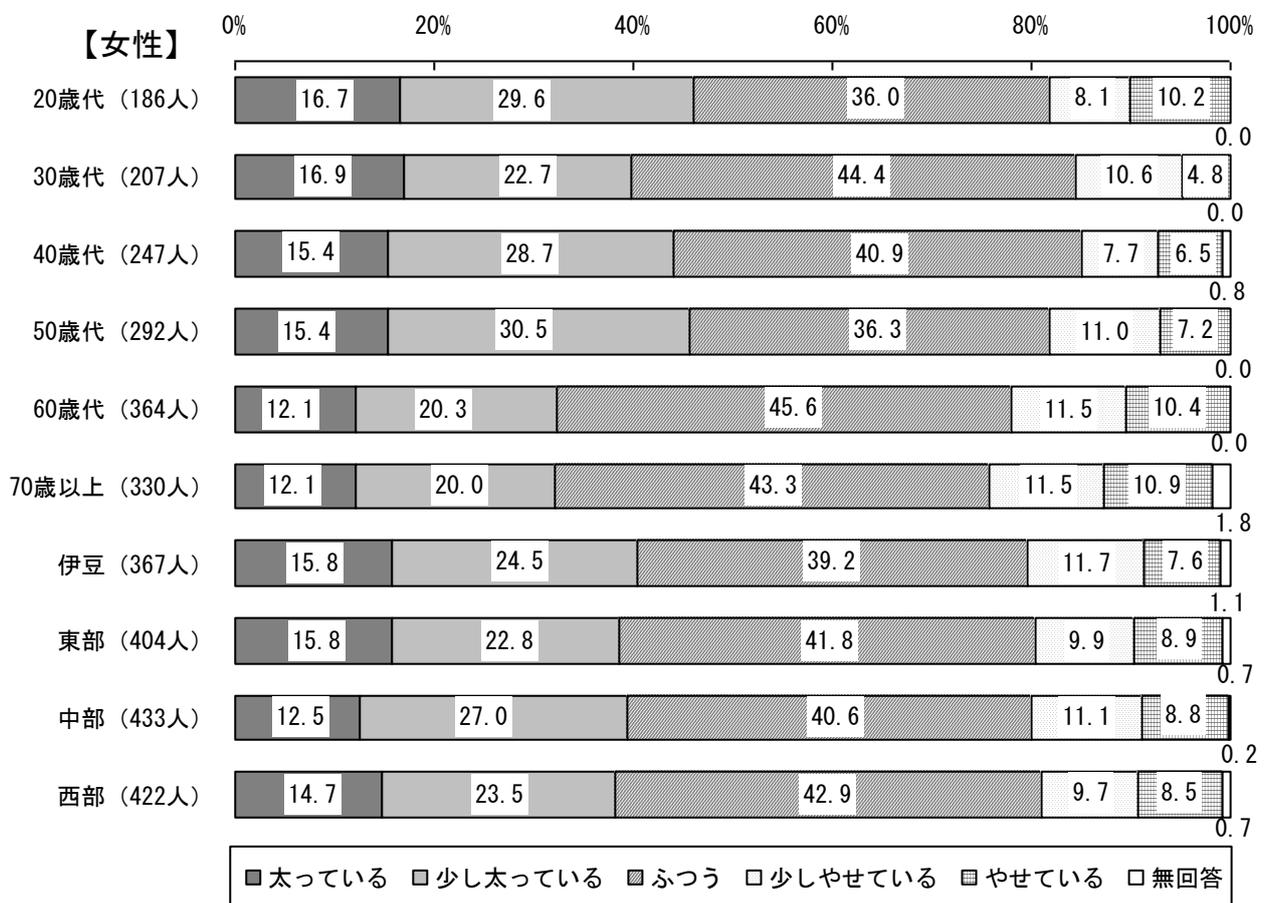
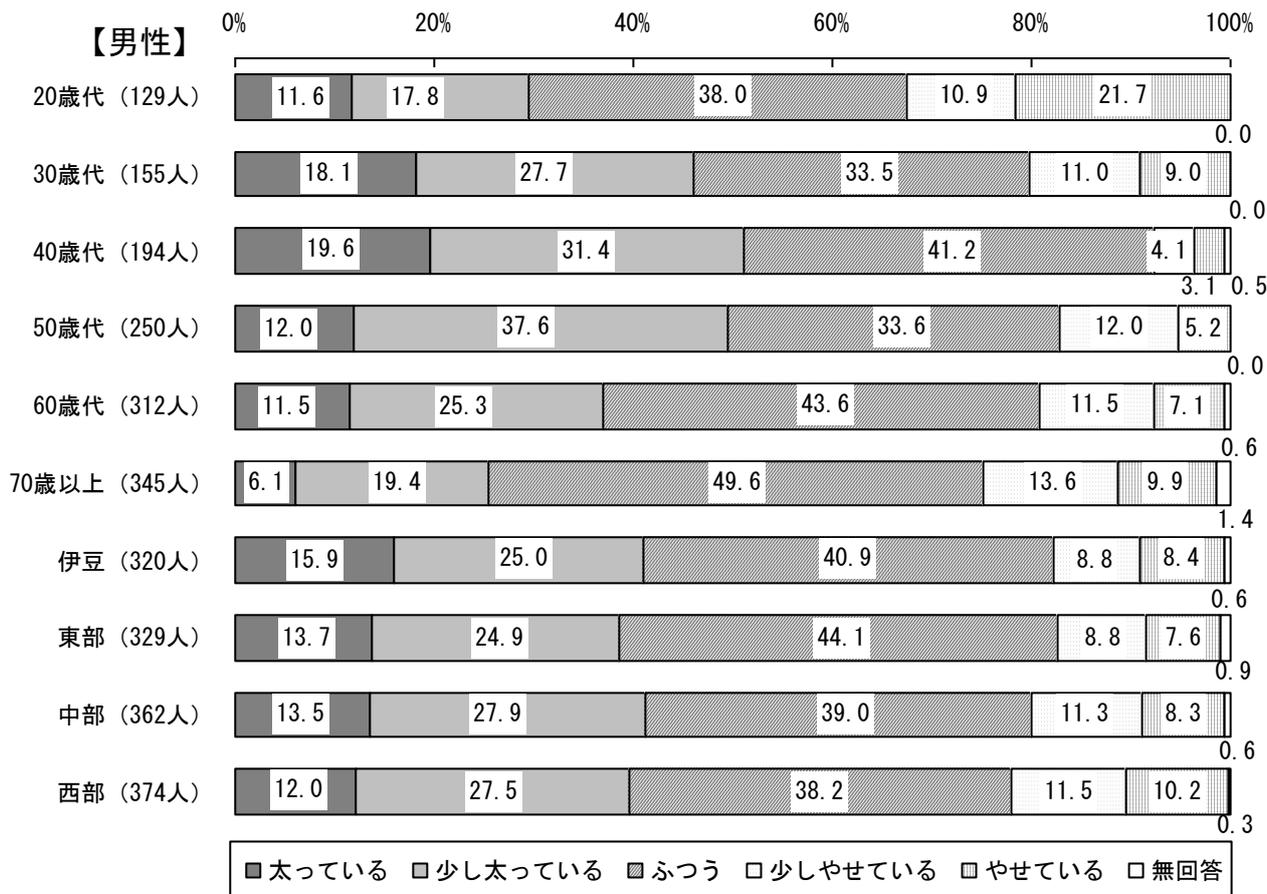
【問 25】あなたは、太っていると思いますか。やせていると思いますか。



体型の自己評価について、全体では「太っている」「少し太っている」を合わせた太っているとの回答は 39.3%、「ふつう」40.9%、「少しやせている」「やせている」を合わせたやせているとの回答は 19.1%となっている。

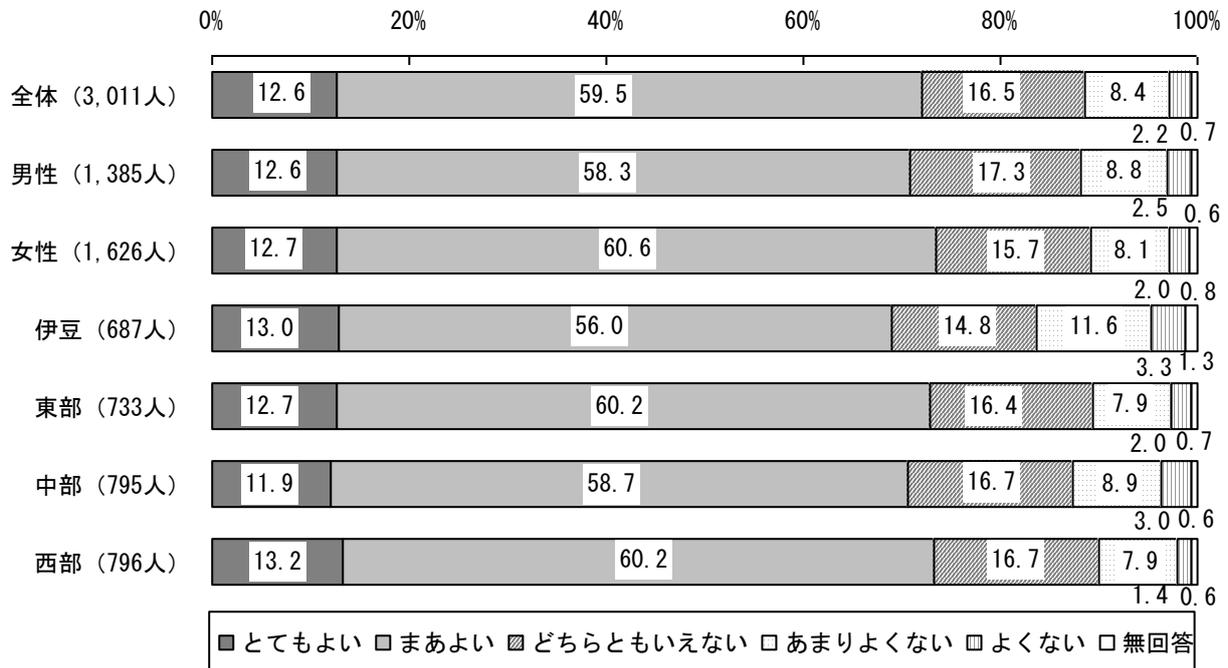
性別では、太っているとの回答は男性39.9%、女性38.9%、「ふつう」男性40.3%、女性41.6%、やせているとの回答は男性 19.2%、女性 18.9%と男女に大きな差異はみられない。

性・年代別にみると、太っているとの回答が最も高かったのは男性では男性 40 歳代で、太っている 51.0%、「ふつう」41.2%、やせている 7.2%となっている。女性では 20 歳代で、太っている 46.3%、「ふつう」36.0%、やせている 18.3%となっている。



### 6-3 主観的健康感

【問 26】現在の健康状態はいかがですか。



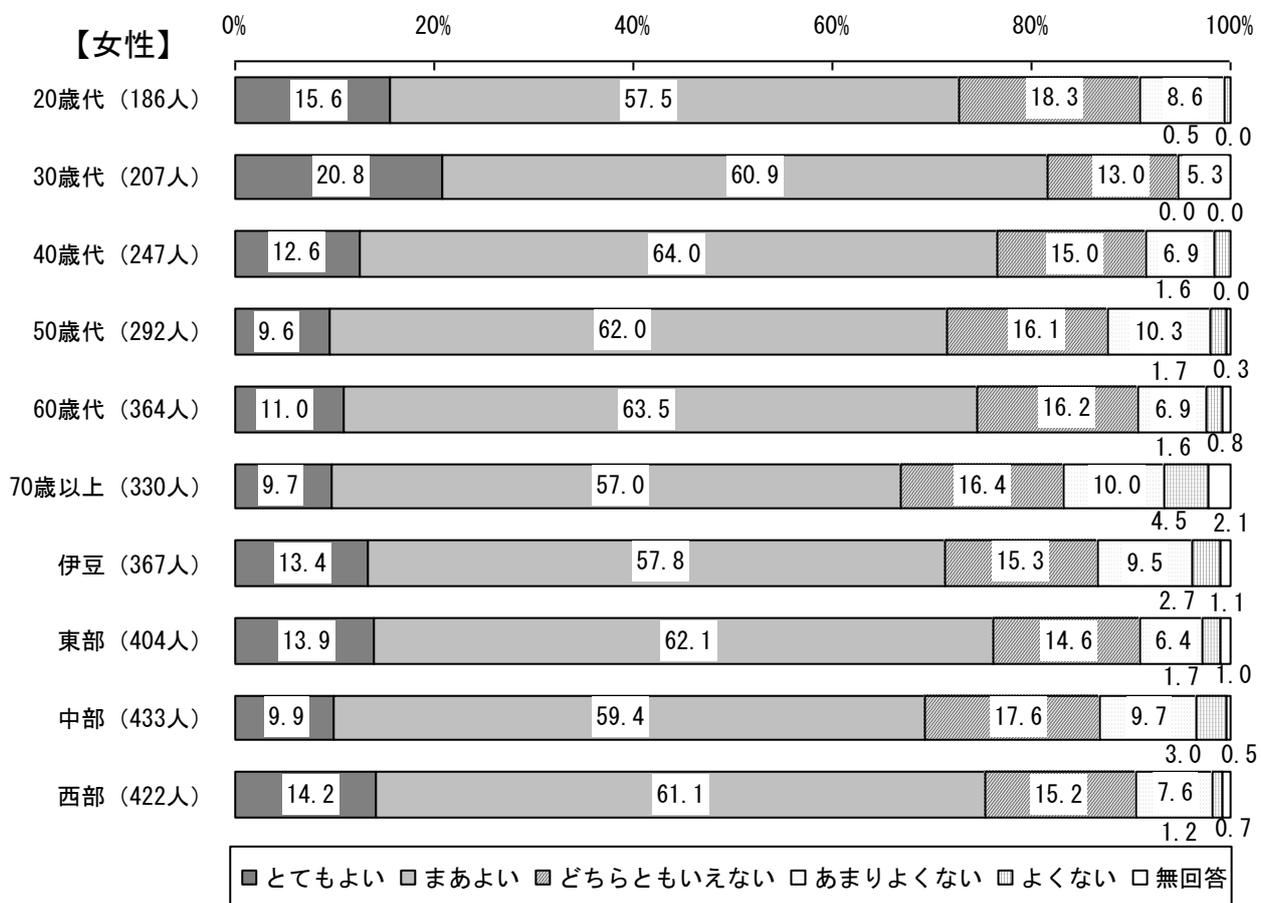
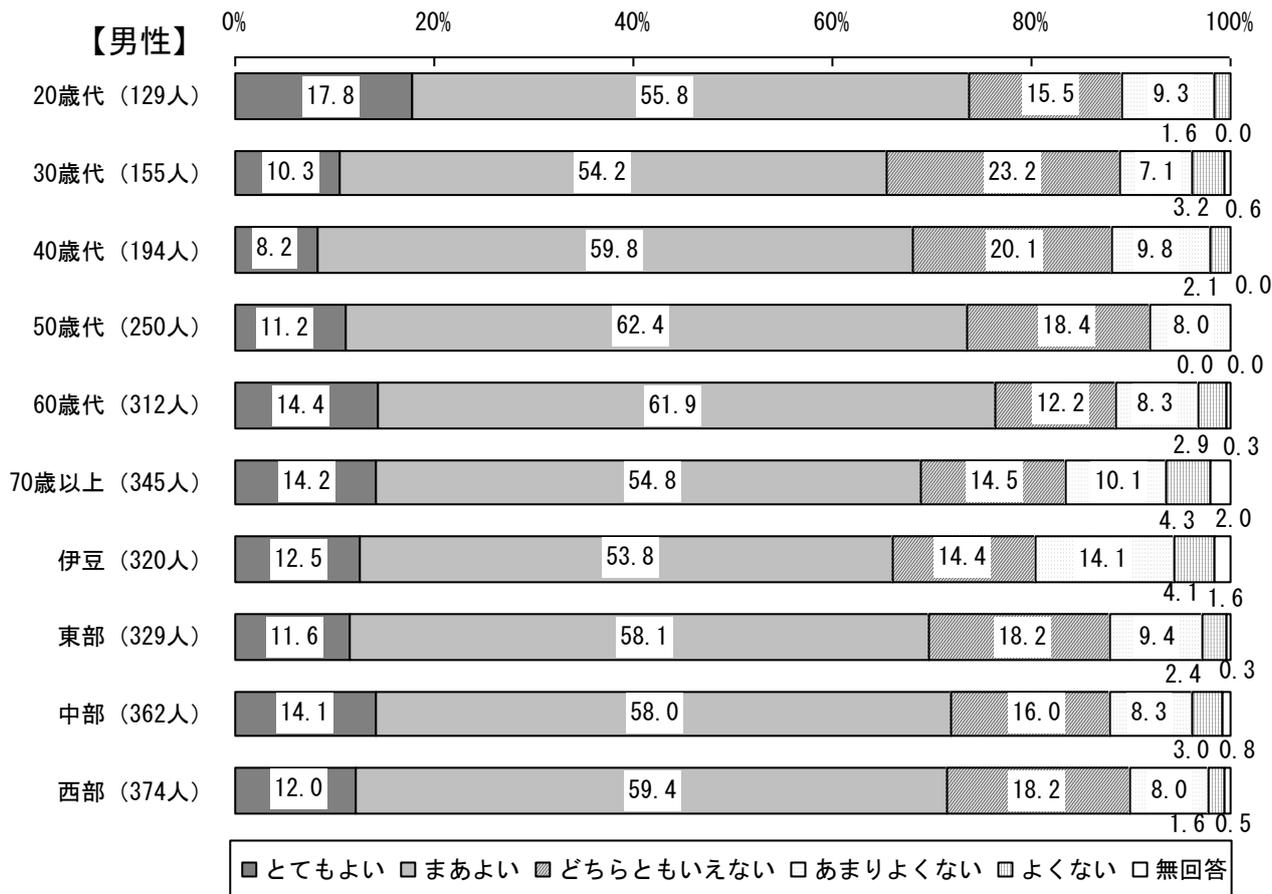
主観的健康感について、全体では「とてもよい」「まあよい」を合わせたよいとの回答は72.1%、「どちらともいえない」16.5%、「あまりよくない」「よくない」を合わせたよくないとの回答は10.6%となっている。

性別では、よいとの回答は男性70.9%、女性73.3%、「どちらともいえない」男性17.3%、女性15.7%、よくないとの回答は男性11.3%、女性10.1%となっている。

地域別では、よくないとの回答が最も高かったのは伊豆14.9%、最も低かったのは西部9.3%となっている。

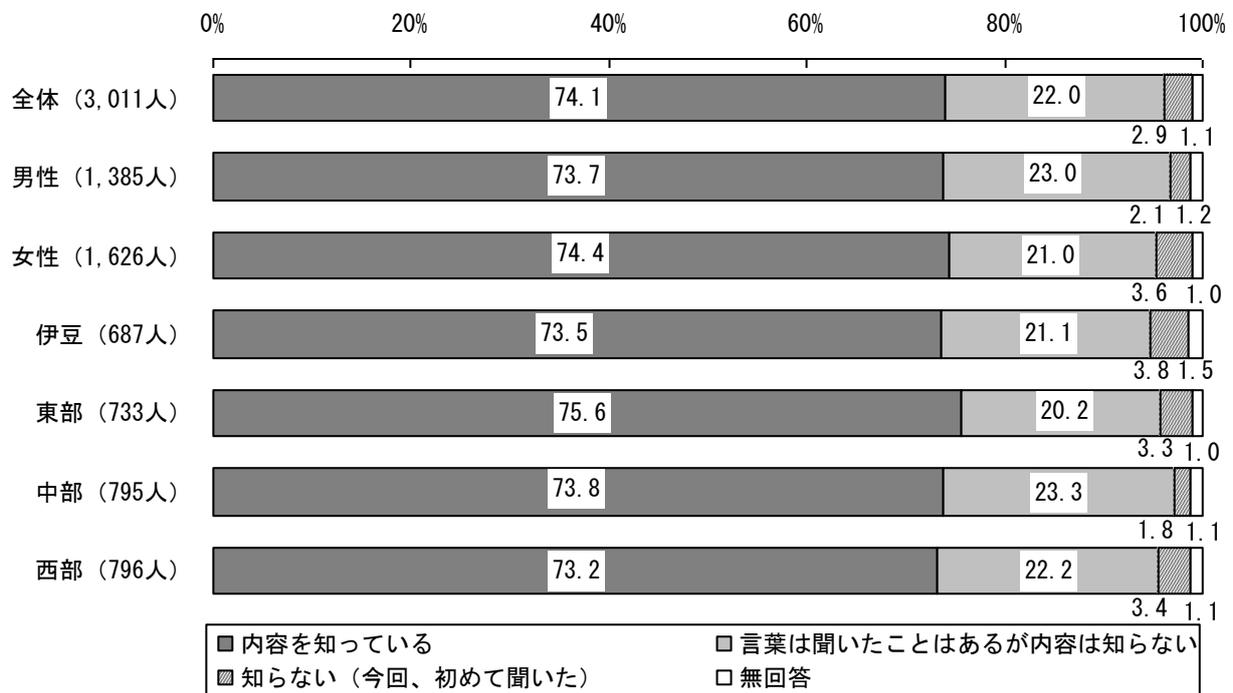
性・年代別にみると、よいとの回答が最も高かったのは、男性では男性60歳代76.3%、女性では女性30歳代81.7%となっている。一方、よくないとの回答が最も高かったのは、男女共に70歳以上で、男性70歳以上ではよいは69.0%、「どちらともいえない」14.5%、よくない14.4%となっている。女性70歳以上ではよいは66.7%、「どちらともいえない」16.4%、よくない14.5%となっている。

性・地域別にみると、よくないとの回答が最も高かったのは、男性では男性伊豆18.2%、女性では女性中部12.7%となっている。



## 6-4 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知

【問 27】あなたは、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）を知っていますか。

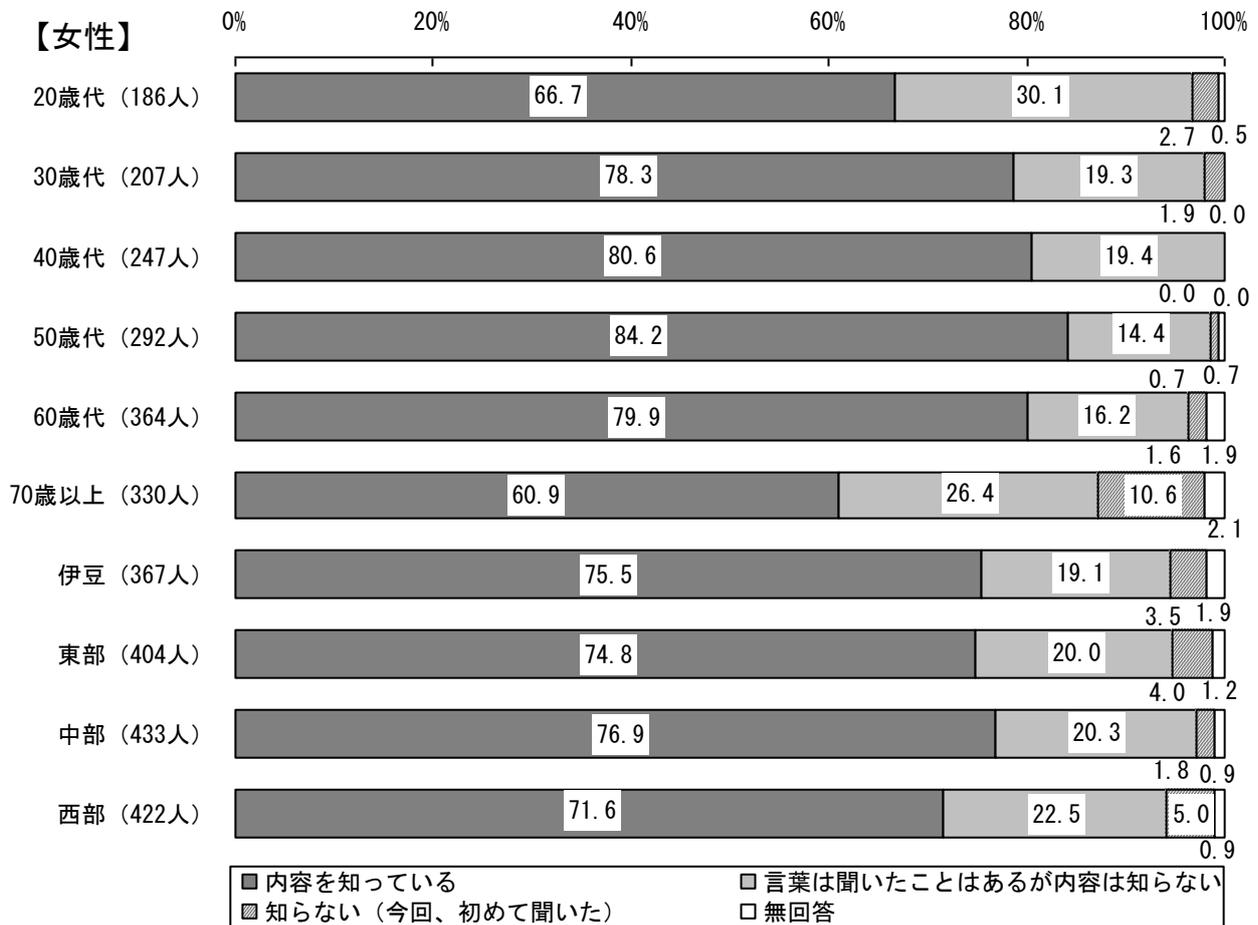
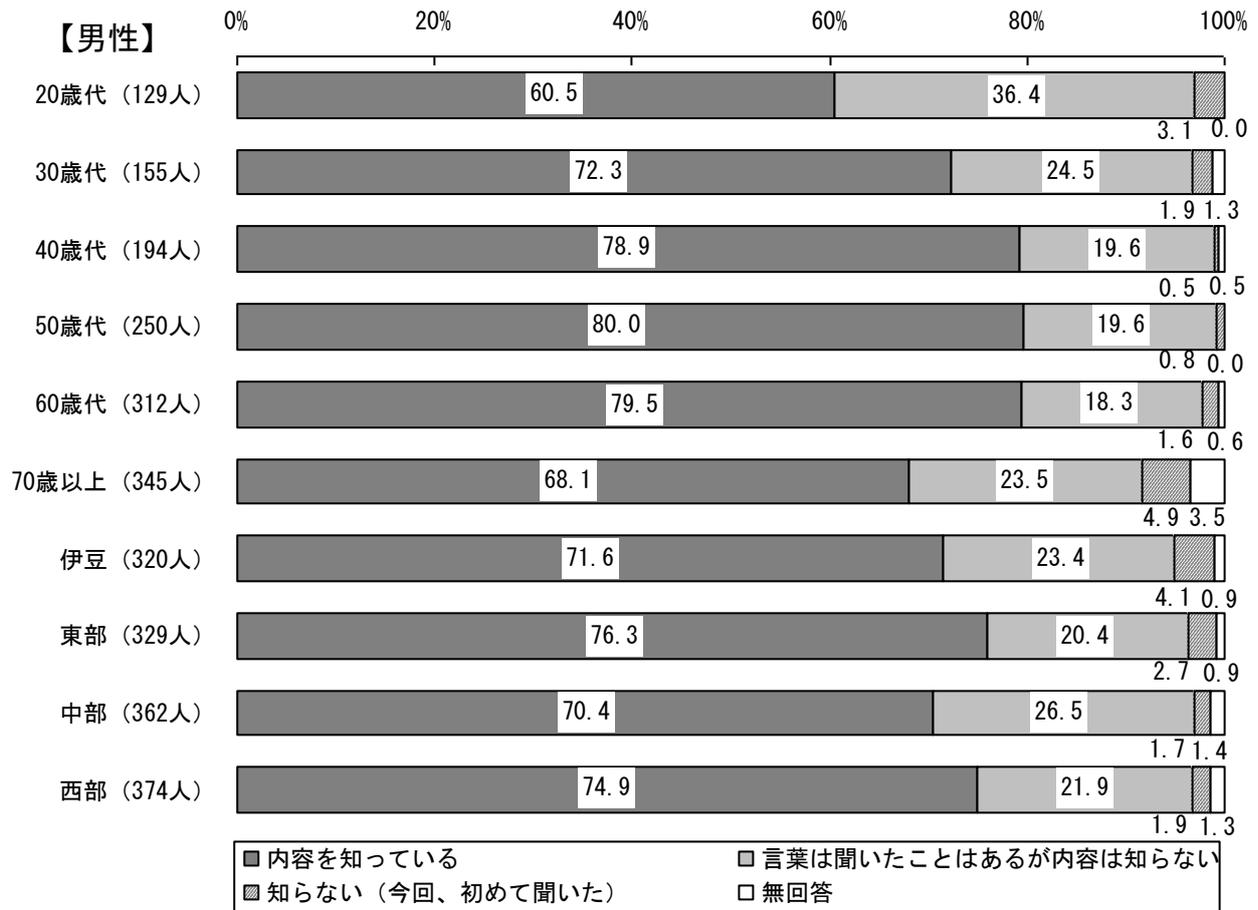


内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知について、全体では「内容を知っている」との回答は74.1%、「言葉は聞いたことはあるが内容は知らない」「知らない（今回、初めて聞いた）」を合わせた知らないとの回答は24.9%となっている。

性別では、知らないとの回答は男性が25.1%、女性が24.6%となっている。

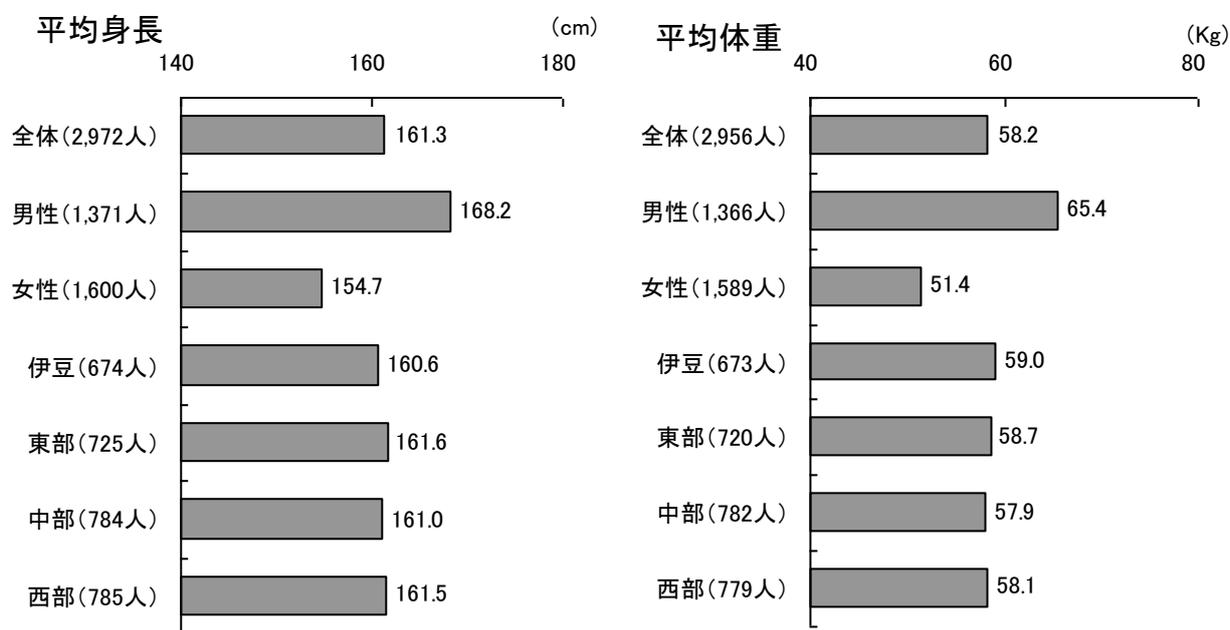
地域別では、知らないとの回答が最も高かったのは西部が25.6%、最も低かったのは東部が23.5%となっている。

性・年代別にみると、知らないとの回答との回答が最も高かったのは、男性では男性20歳代で「内容を知っている」は60.5%、知らないは39.5%となっている。女性では女性70歳以上「内容を知っている」は60.9%、知らないは37.0%となっている。



## 6-5 身長、体重、BMI

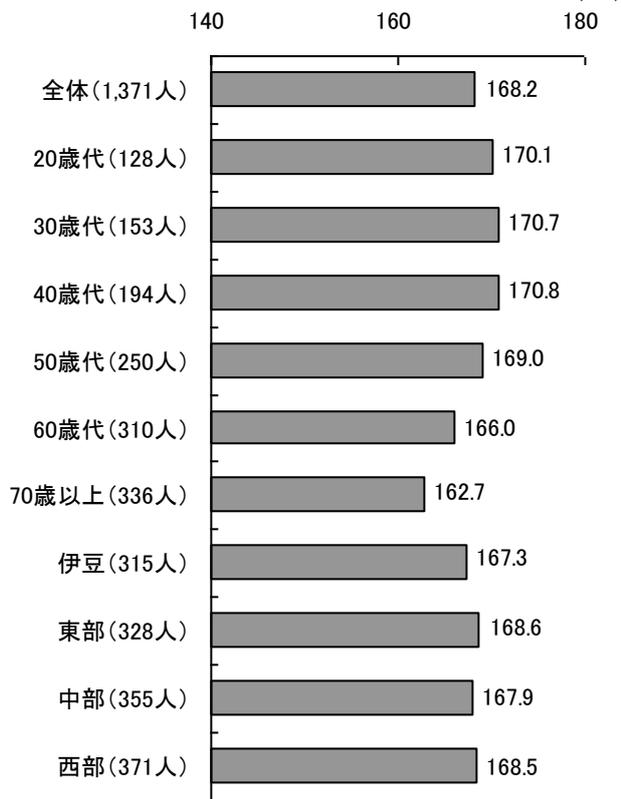
【問28】身長と体重を教えてください。



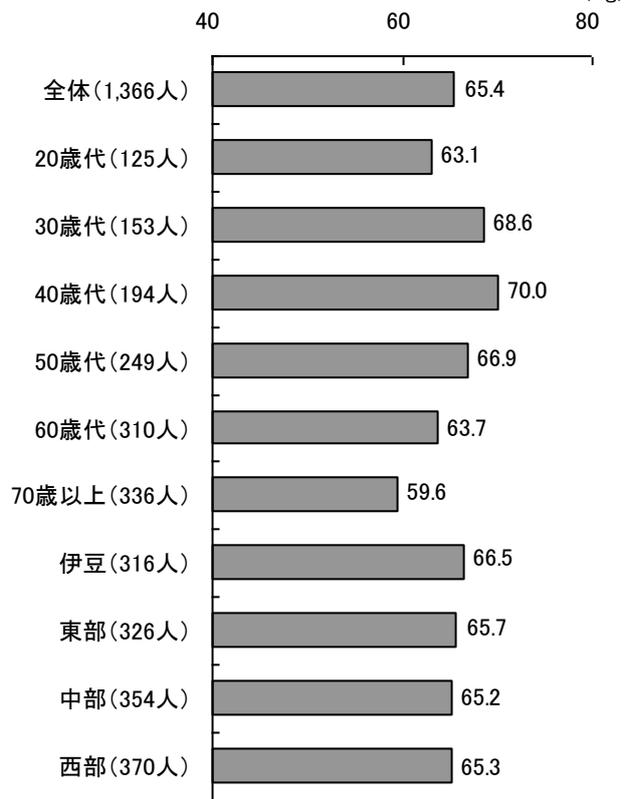
全体の平均身長は 161.3 c m、平均体重は 58.2k g となっている。

性・年代別にみると、平均身長は男性では男性 40 歳代が最も高く 170.8 c m、女性では女性 30 歳代が最も高く 158.4 c mとなっている。平均体重は男女共に 40 歳代が最も重く、男性 40 歳代 70.0 k g、女性 40 歳代 53.5 k g となっている。

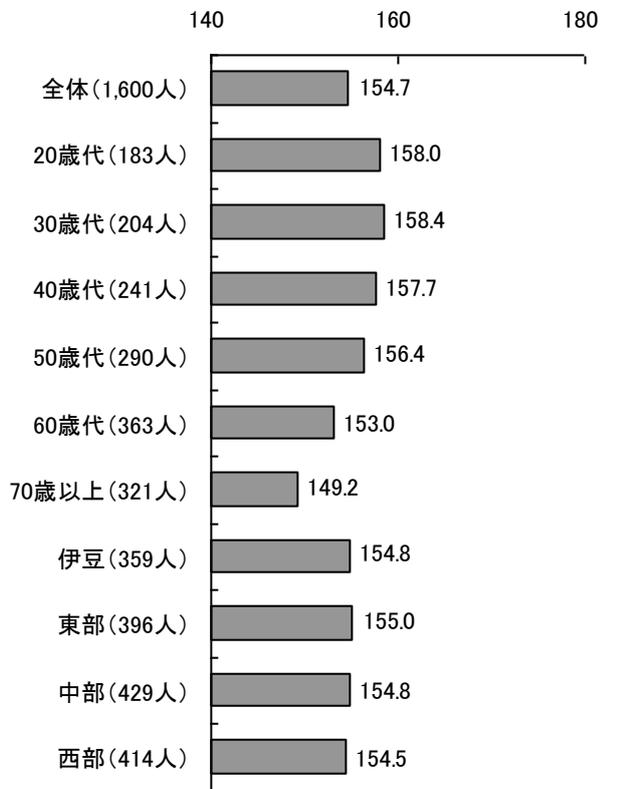
男性 平均身長



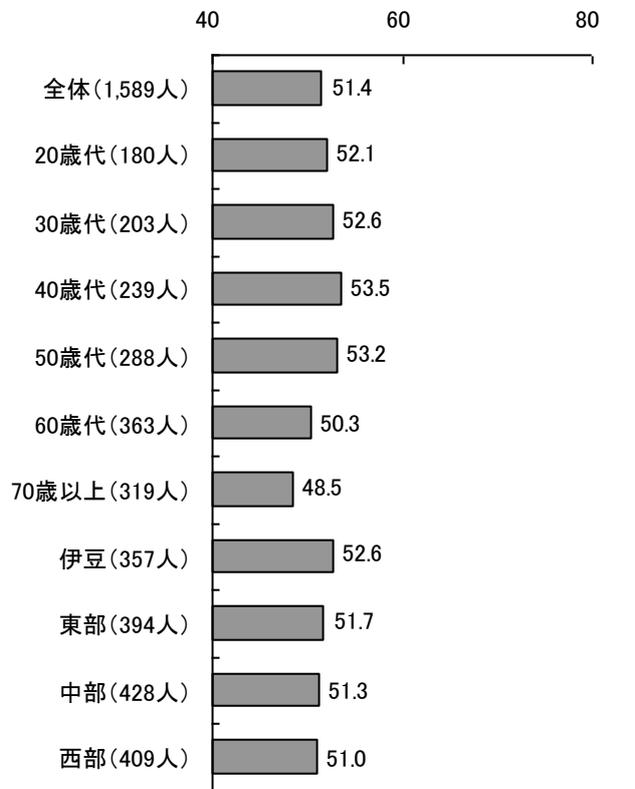
男性 平均体重



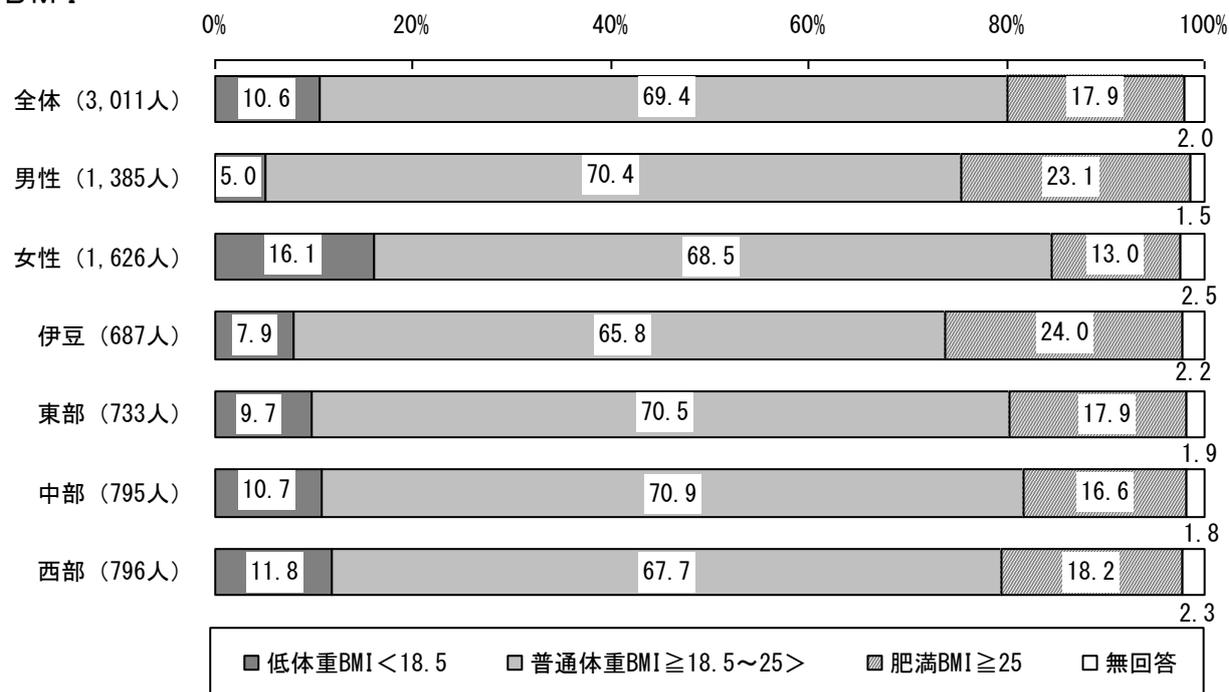
女性 平均身長



女性 平均体重



## BMI

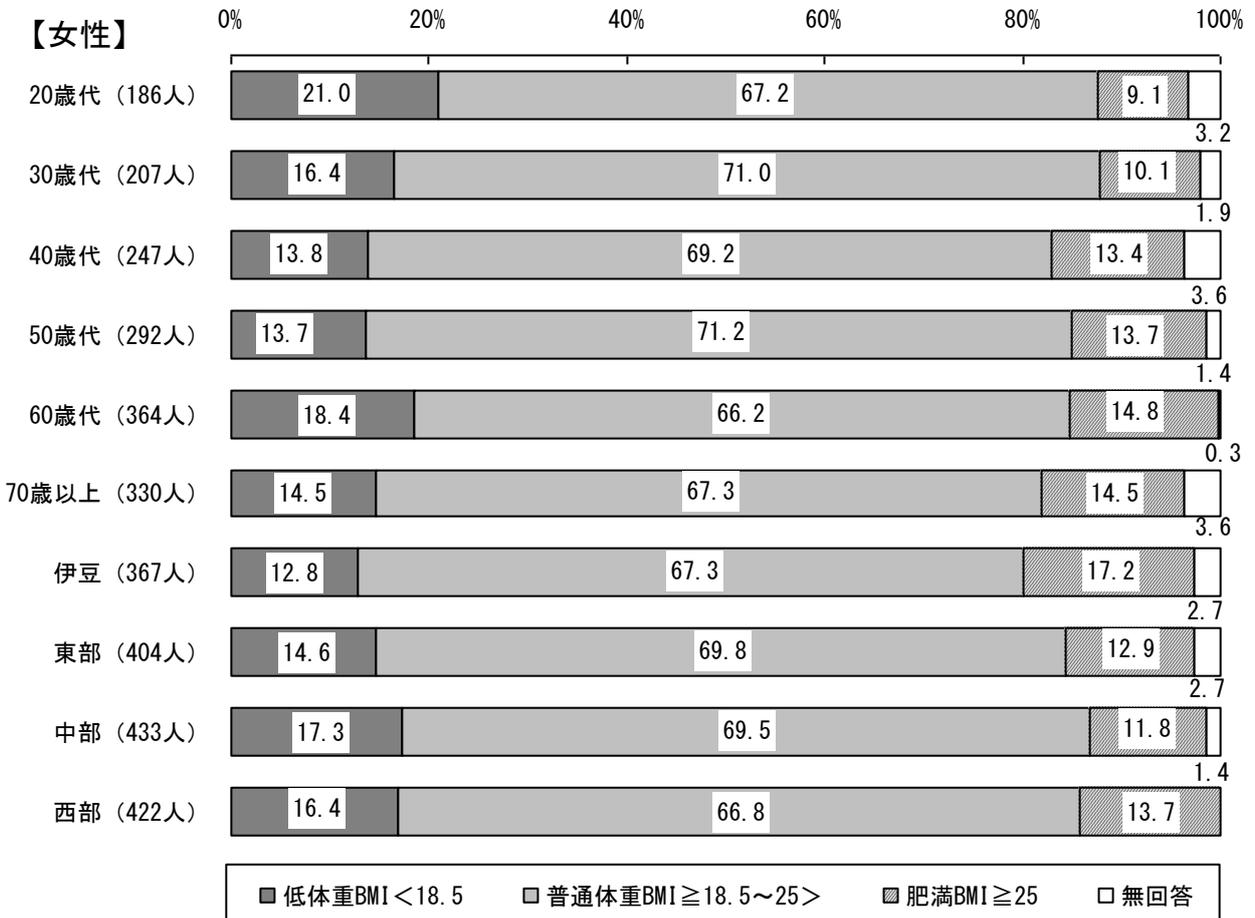
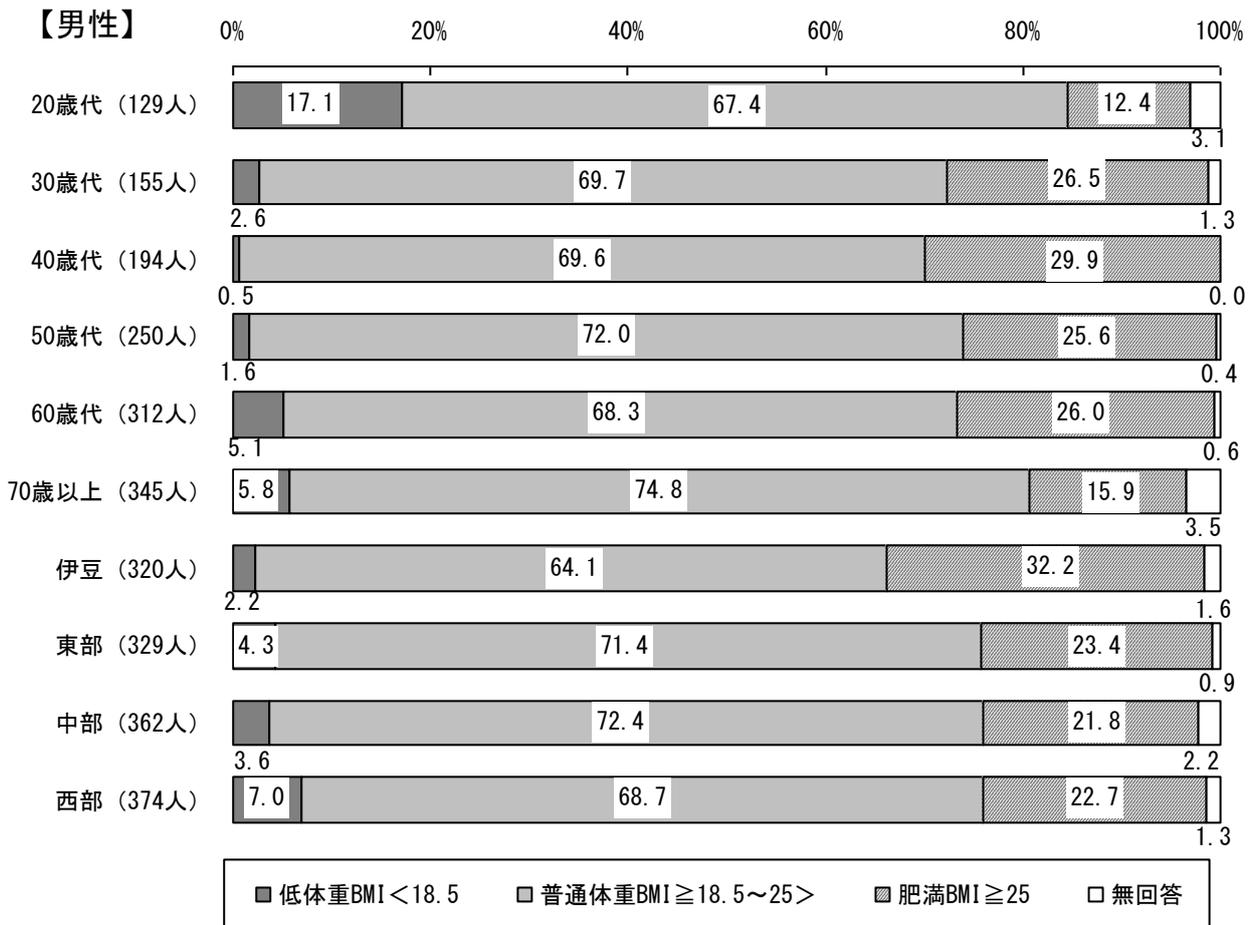


BMIについて、全体では低体重は10.6%、普通体重は69.4%、肥満は17.9%となっている。性別では、男性は低体重は5.0%、普通体重は70.4%、肥満は23.1%となっている。女性は低体重は16.1%、普通体重は68.5%、肥満は13.0%となっている。

地域別では、低体重が最も高いのは西部が11.8%、最も低いのは伊豆が7.9%となっている。肥満が最も高いのは伊豆が24.0%、最も低いのは中部が16.6%となっている。

性・年代別にみると、低体重が最も高いのは男女共に20歳代であり、男性20歳代17.1%、女性20歳代21.0%となっている。肥満が最も高いのは、男性では男性40歳代29.9%、女性では女性60歳代14.8%となっている。

※BMI (Body Mass Index) とは		
身長からみた体重の割合を示す体格指数		
BMI = 体重 kg / (身長 m) <sup>2</sup>		
■肥満度の判定基準		
(日本肥満学会 2000)		
	BMI	
低体重(やせ)	18.5 未満	
普通体重	18.5 以上 25.0 未満	
肥満	1 度	25.0 以上 30.0 未満
	2 度	30.0 以上 35.0 未満
	3 度	35.0 以上 40.0 未満
	4 度	40.0 以上

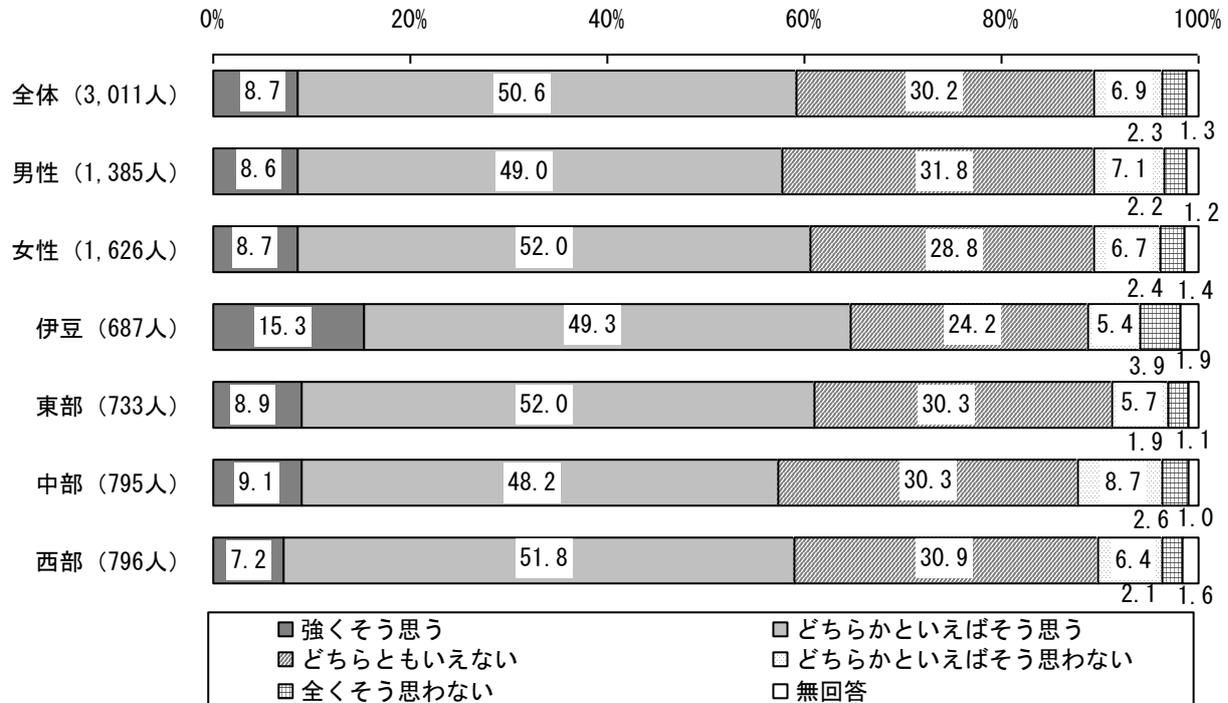


## 6-6 お住まいの地域の状況

【問 29】あなたのお住まいの地域についておたずねします。

次のアからエの質問について、当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

ア あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに助け合っている。

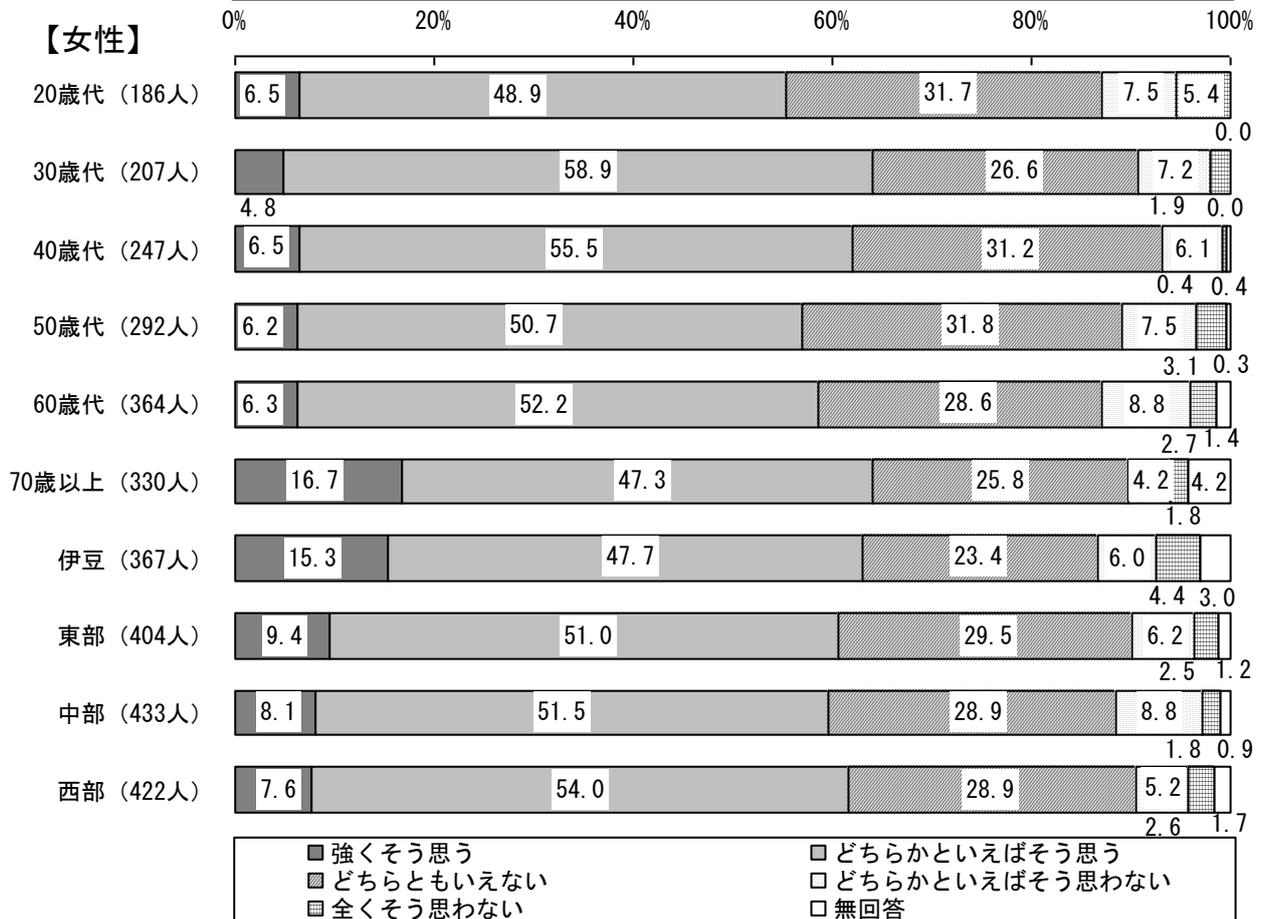
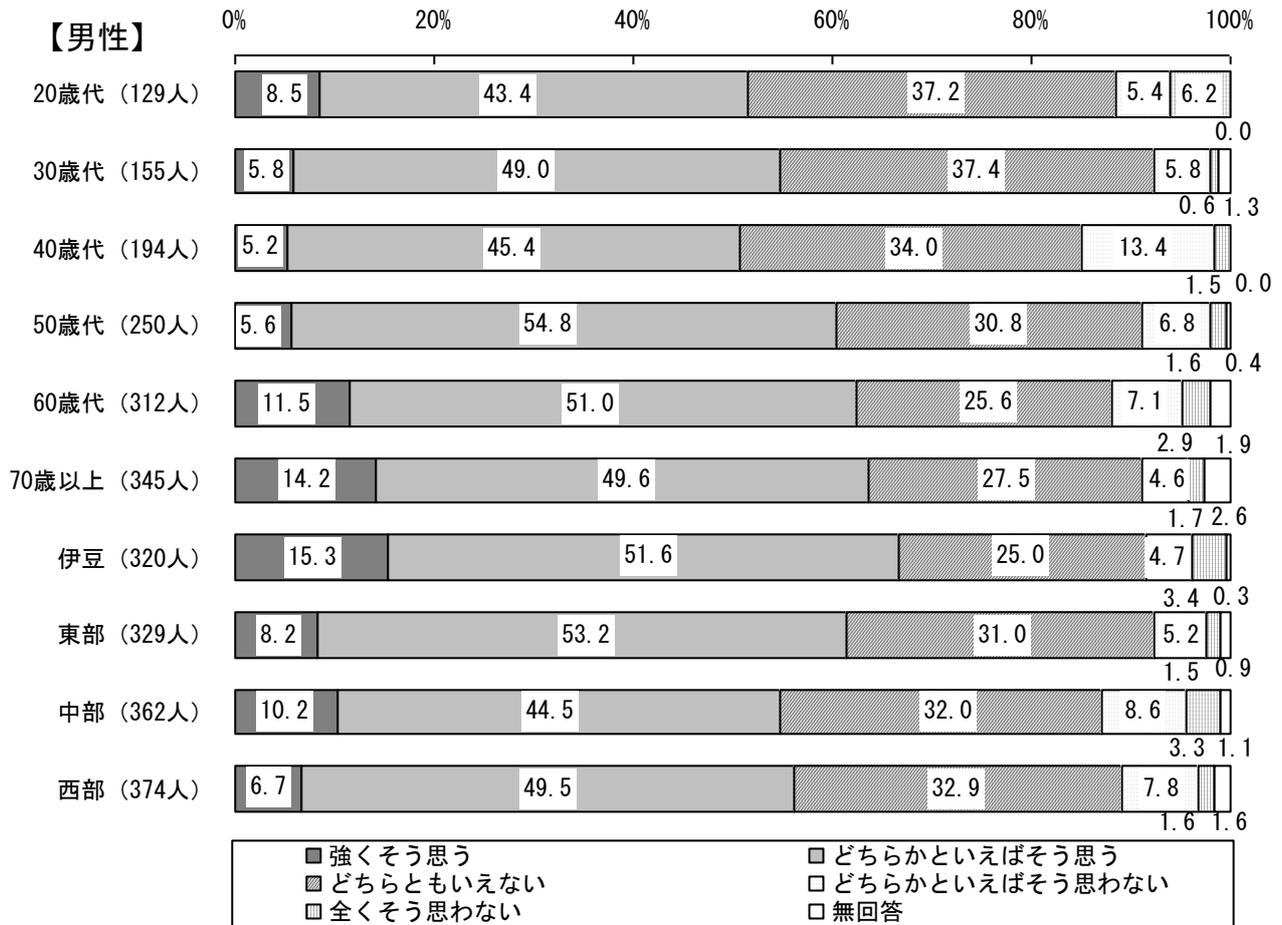


お住まいの地域の状況について、あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに助け合っている、に対し、全体では「強く思う」「どちらかといえば思う」を合わせたそう思うとの回答は59.3%、「どちらともいえない」30.2%、「どちらかといえばそう思わない」「全くそう思わない」を合わせたそう思わないとの回答は9.2%となっている。

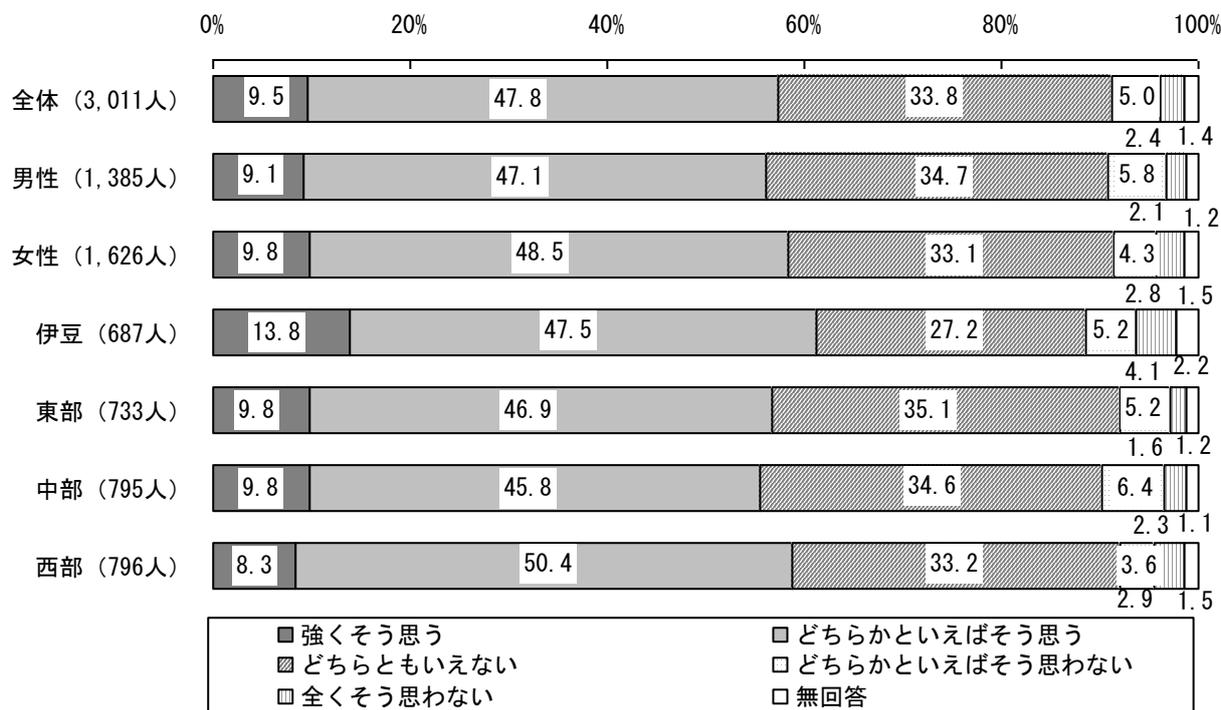
性別では、そう思うとの回答は男性が57.6%、女性が60.7%となっている。そう思わないとの回答は男性が9.3%、女性が9.1%となっている。

地域別では、そう思うとの回答が最も高かったのは伊豆が64.6%、最も低かったのは中部が57.3%となっている。一方、そう思わないとの回答が最も高かったのは中部が11.3%、最も低かったのは東部が7.6%となっている。

性・年代別にみると、そう思うとの回答が最も高かったのは男女共に70歳以上であり、男性では男性70歳以上63.8%、女性では女性70歳以上64.0%となっている。一方、そう思わないとの回答が最も高かったのは男性では男性40歳代14.9%、女性では女性20歳代12.9%となっている。



イ あなたのお住まいの地域の人々は信頼できる。

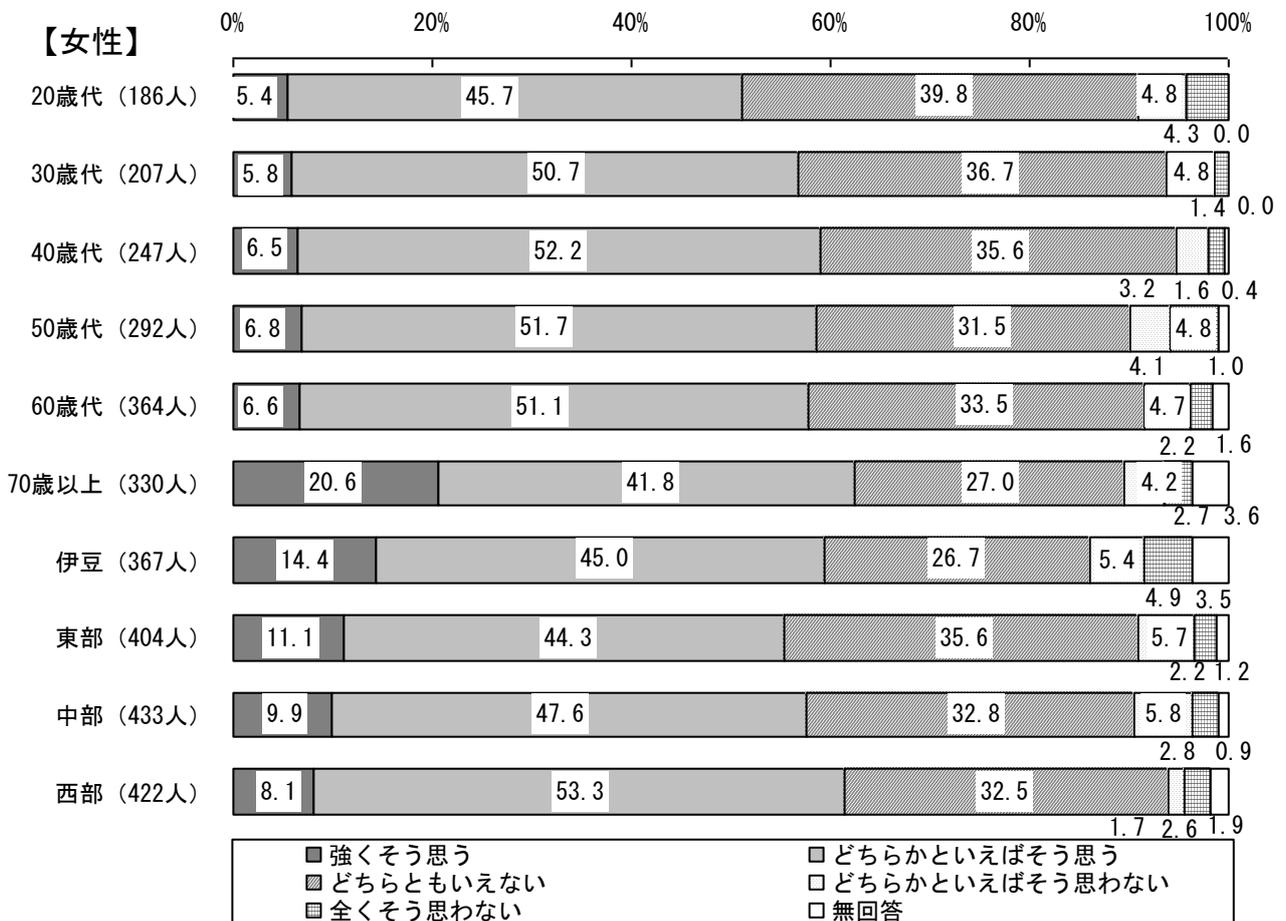
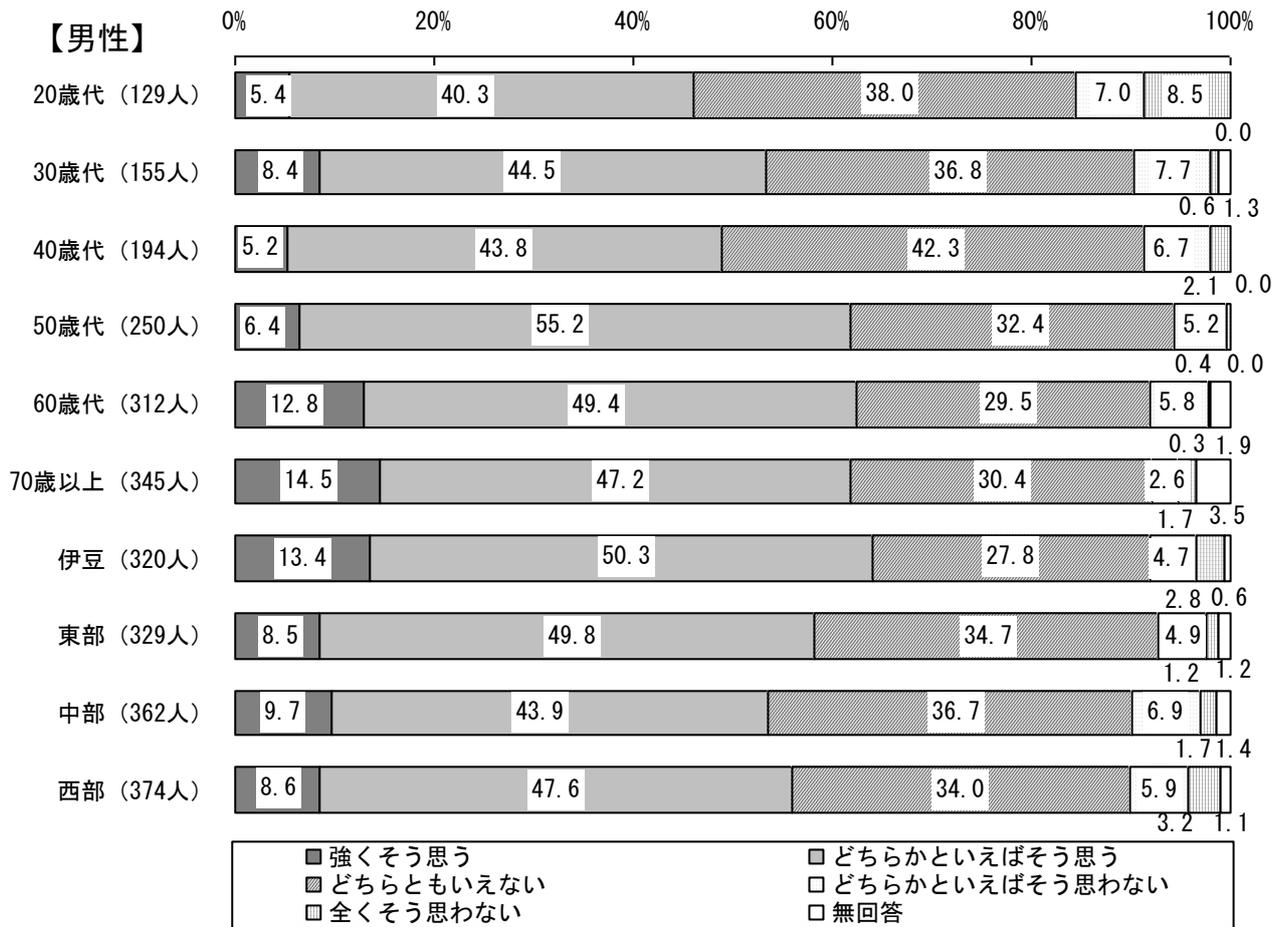


お住まいの地域の状況について、あなたのお住まいの地域の人々は信頼できる、に対し、全体では「強くそう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせたそう思うとの回答は57.3%、「どちらともいえない」33.8%、「どちらかといえばそう思わない」「全くそう思わない」を合わせたそう思わないとの回答は7.4%となっている。

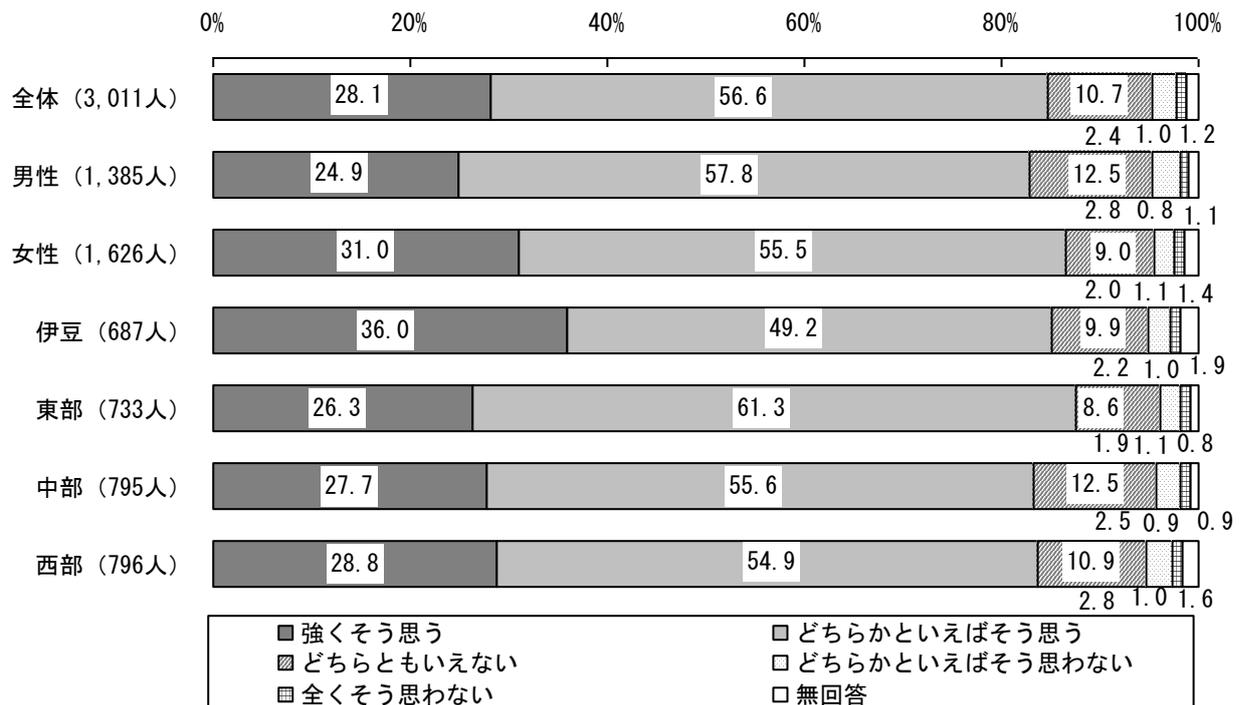
性別では、そう思うとの回答は男性が56.2%、女性が58.3%となっている。そう思わないとの回答は男性が7.9%、女性が7.1%となっている。

地域別では、そう思うとの回答が最も高かったのは伊豆が61.3%、最も低かったのは中部が55.6%となっている。一方、そう思わないとの回答が最も高かったのは伊豆が9.3%、最も低かったのは西部が6.5%となっている。

性・年代別にみると、そう思うとの回答が最も高かったのは、男性では男性60歳代62.2%、女性では女性70歳以上62.4%となっている。一方、そう思わないとの回答が最も高かったのは男女共に20歳代であり、男性では男性20歳代15.5%、女性では女性20歳代9.1%となっている。



ウ あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに挨拶をしている。

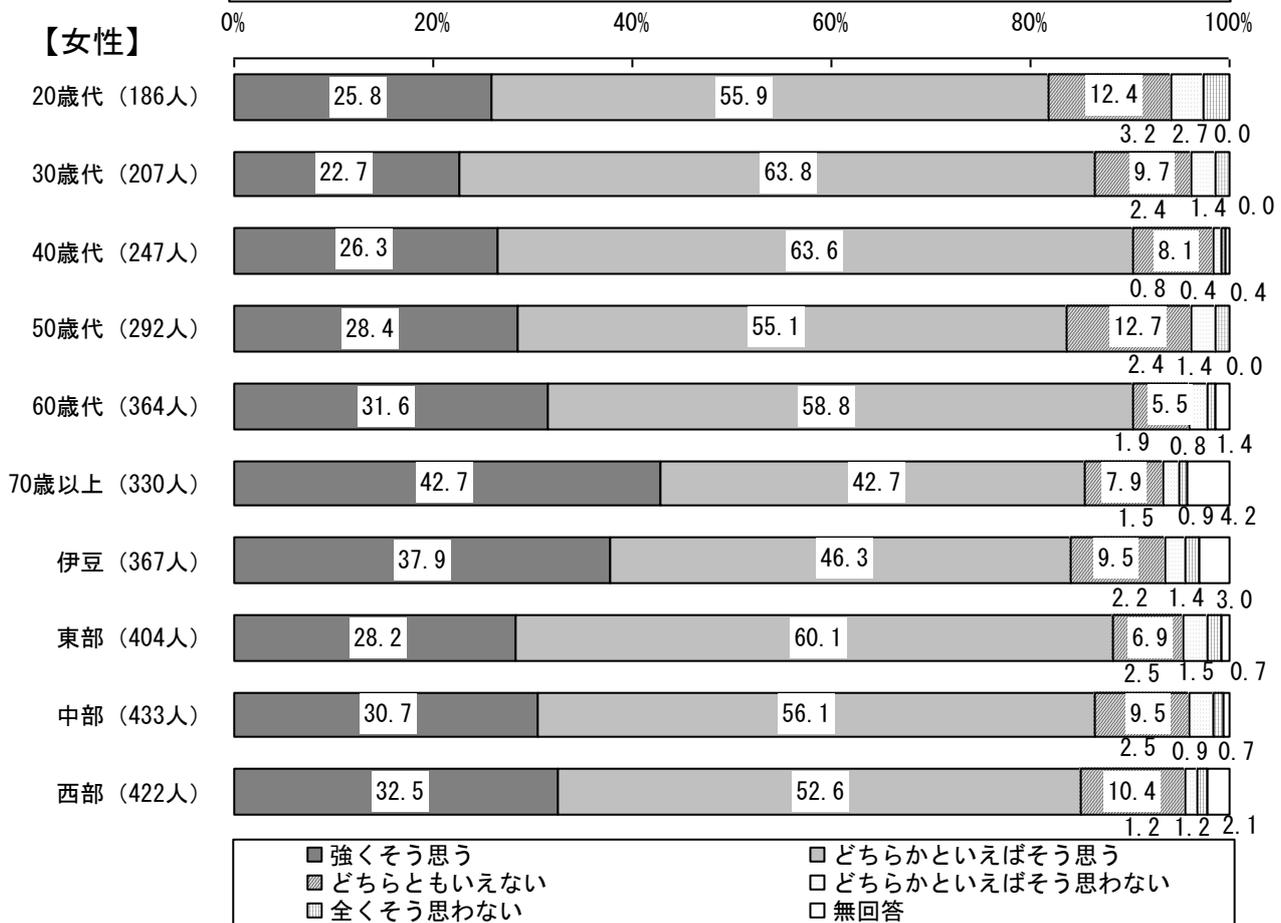
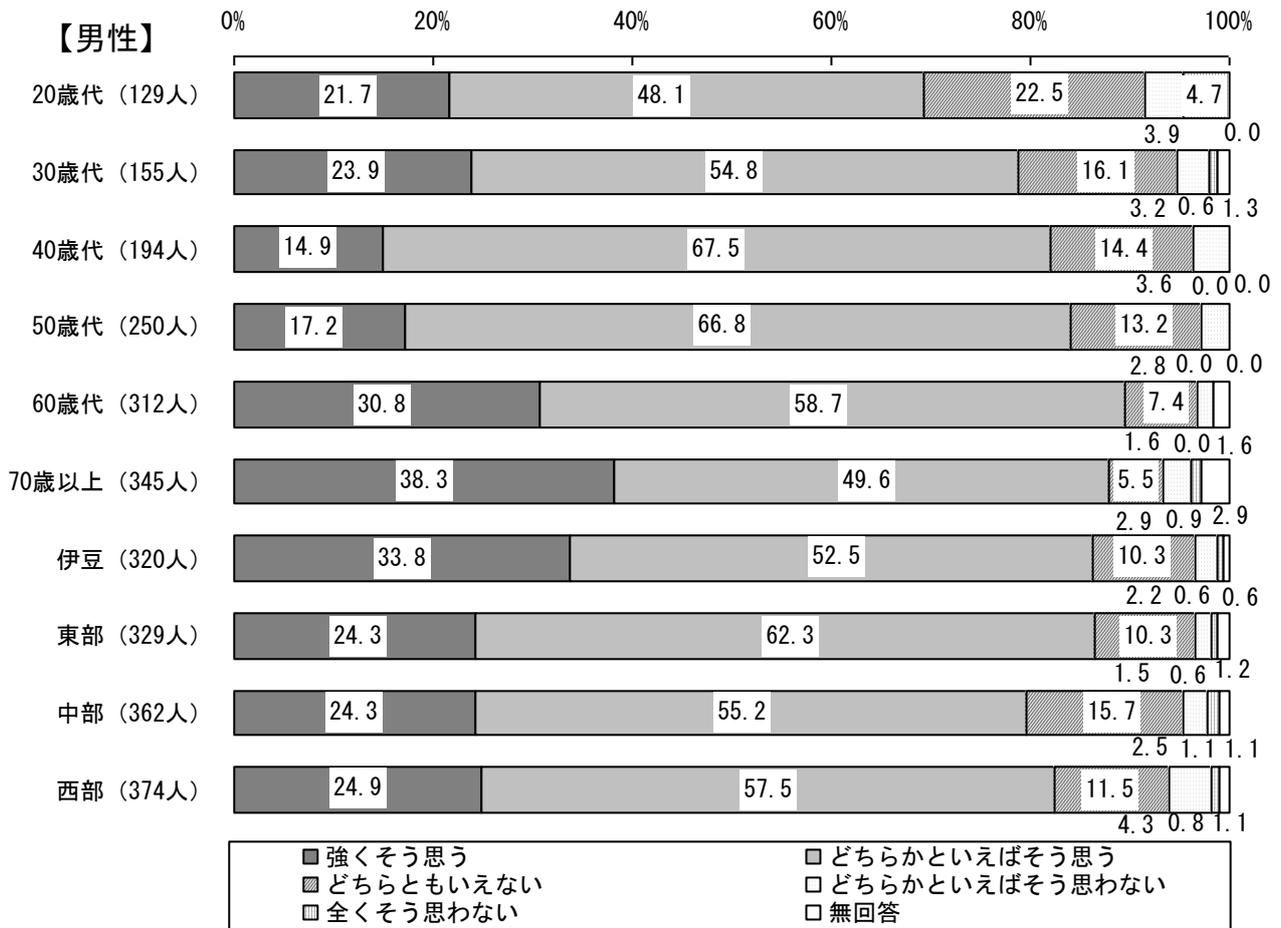


お住まいの地域の状況について、あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに挨拶をしている、に対し、全体では「強く思う」「どちらかといえば思う」を合わせたそう思うとの回答は84.7%、「どちらともいえない」10.7%、「どちらかといえばそう思わない」「全くそう思わない」を合わせたそう思わないとの回答は3.1%となっている。

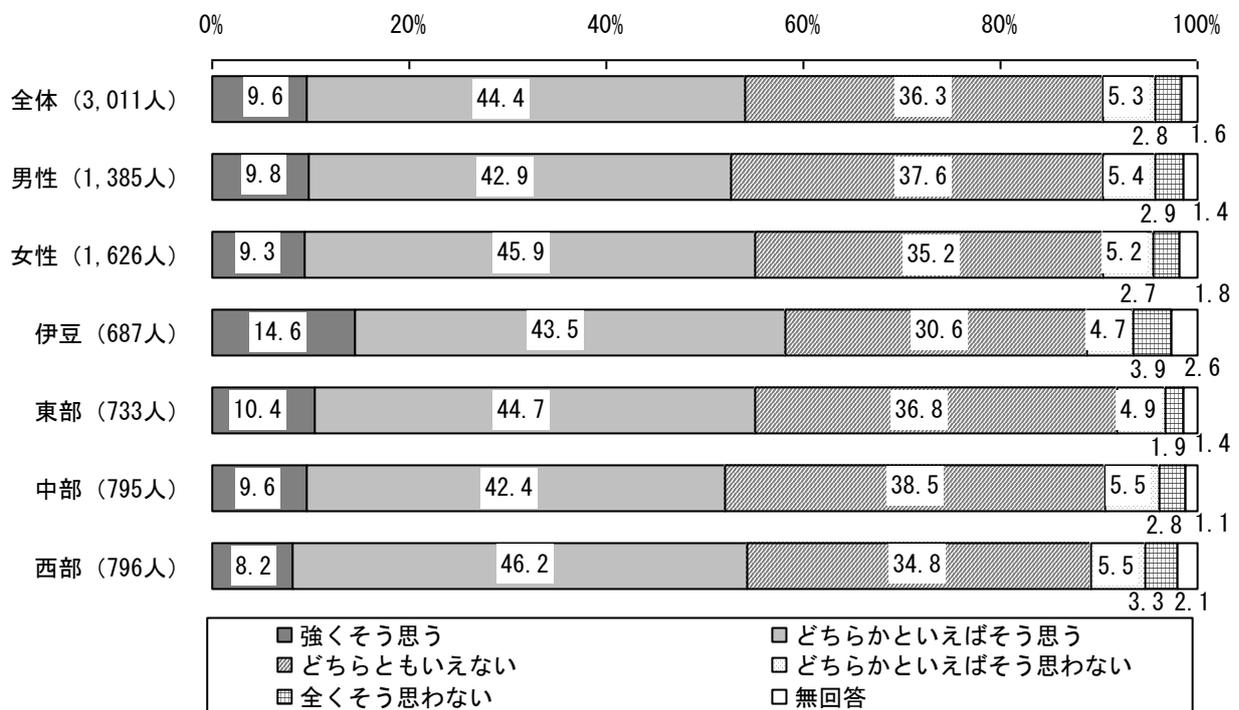
性別では、そう思うとの回答は男性が82.7%、女性が86.5%となっている。そう思わないとの回答は男性が3.6%、女性が3.1%となっている。

地域別では、そう思うとの回答が最も高かったのは東部が87.6%、最も低かったのは中部が83.3%となっている。一方、そう思わないとの回答が最も高かったのは西部が3.8%、最も低かったのは東部が3.0%となっている。

性・年代別にみると、そう思うとの回答が最も高かったのは、男女共に60歳代であり、男性では男性60歳代89.5%、女性では女性60歳代90.4%となっている。一方、そう思わないとの回答が最も高かったのは男女共に20歳代であり、男性では男性20歳代8.6%、女性では女性20歳代5.9%となっている。



エ あなたのお住まいの地域では、問題が生じた場合、人々は力を合わせて解決しようとする。



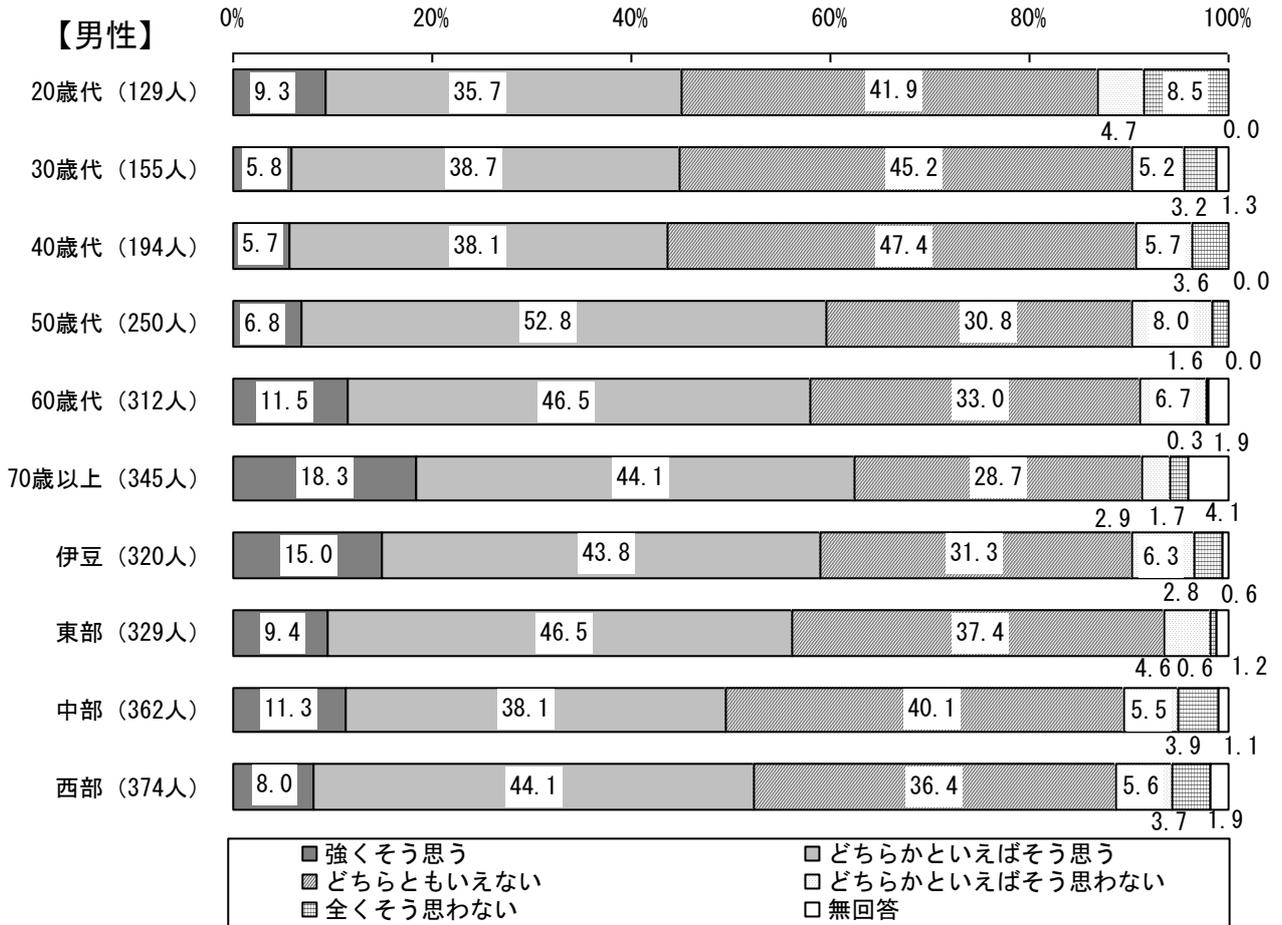
お住まいの地域の状況について、あなたのお住まいの地域では、問題が生じた場合、人々は力を合わせて解決しようとする、に対し、全体では「強くそう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせたそう思うとの回答は54.0%、「どちらともいえない」36.3%、「どちらかといえばそう思わない」「全くそう思わない」を合わせたそう思わないとの回答は8.1%となっている。

性別では、そう思うとの回答は男性が52.7%、女性が55.2%となっている。そう思わないとの回答は男性が8.3%、女性が7.9%となっている。

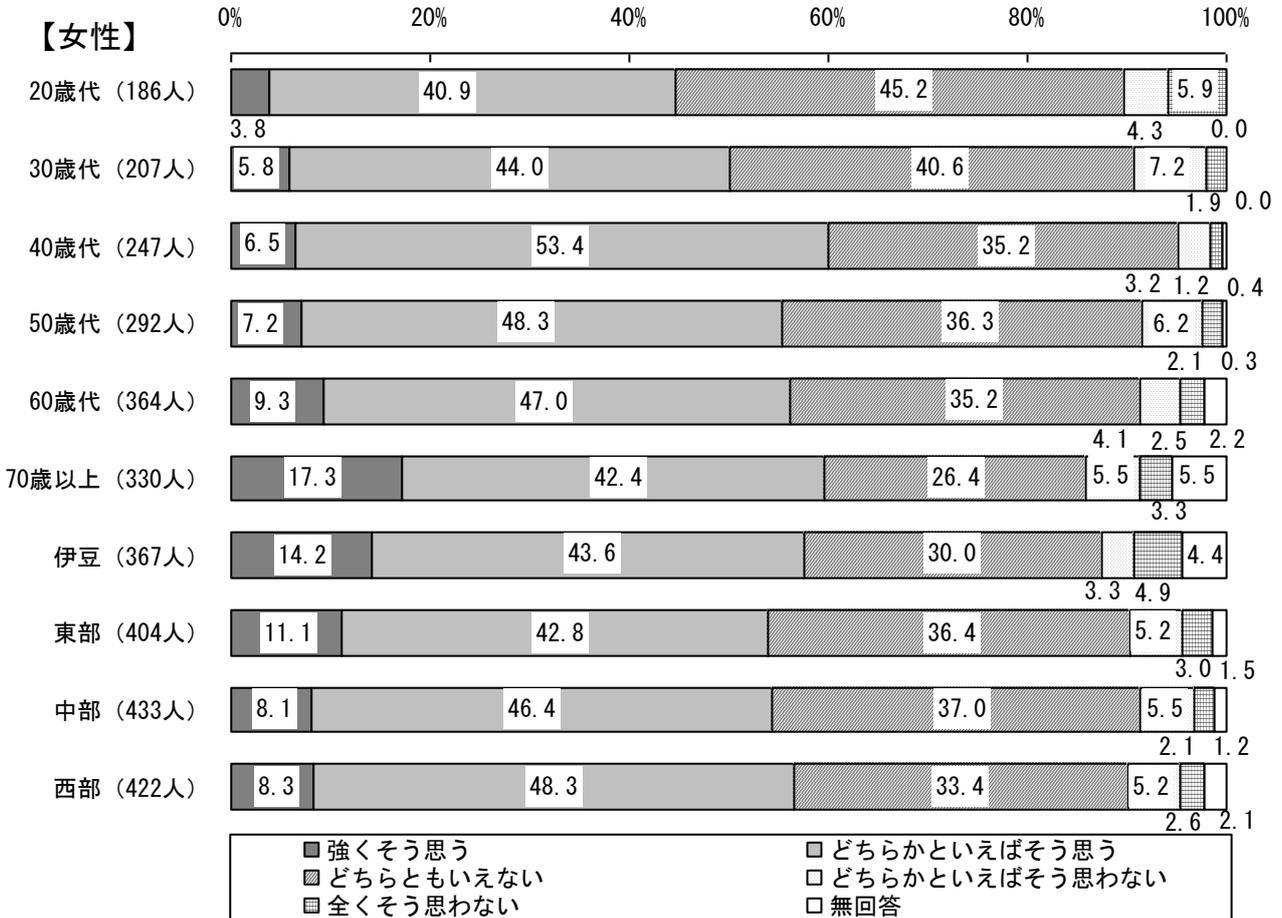
地域別では、そう思うとの回答が最も高かったのは伊豆が58.1%、最も低かったのは中部が52.0%となっている。一方、そう思わないとの回答が最も高かったのは西部が8.8%、最も低かったのは東部が6.8%となっている。

性・年代別にみると、そう思うとの回答が最も高かったのは、男性では男性70歳以上62.4%、女性では女性40歳代59.9%となっている。一方、そう思わないとの回答が最も高かったのは男女共に20歳代であり、男性では男性20歳代13.2%、女性では女性20歳代10.2%となっている。

【男性】

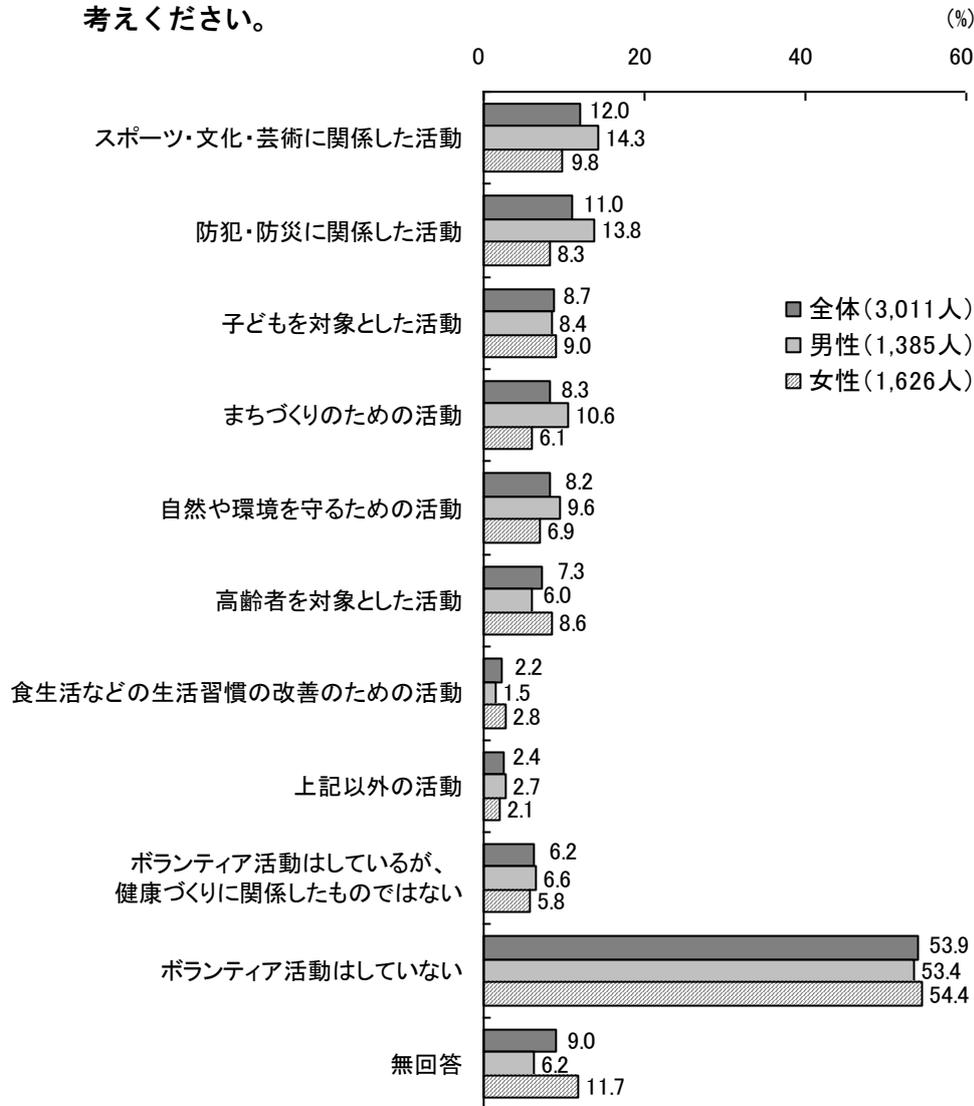


【女性】



## 6-7 1年間に行ったボランティア活動のうち健康づくりの活動状況

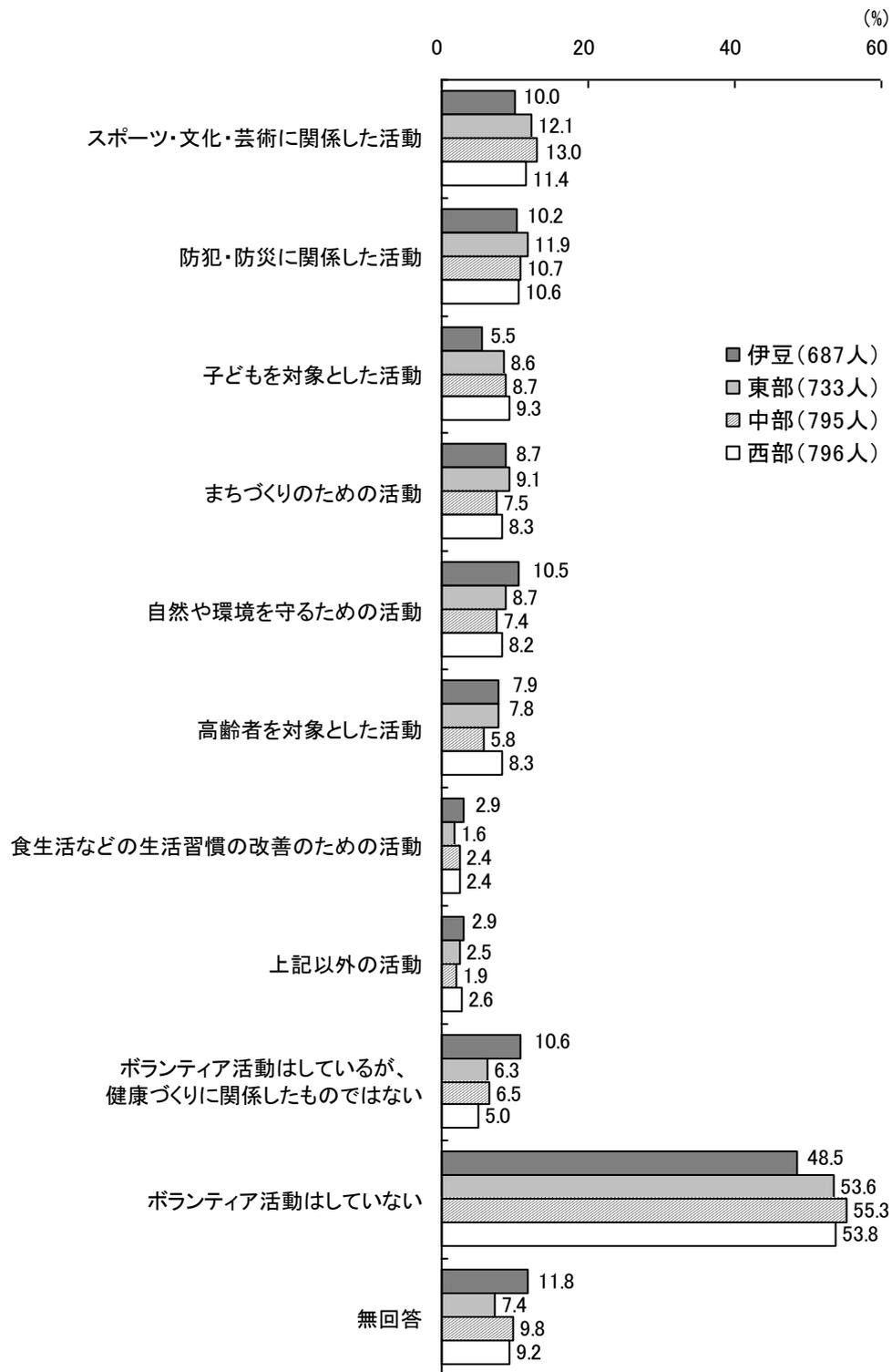
【問 30】あなたがこの1年間に行ったボランティア活動（近隣の人への手助け・支援を含む）のうち、健康づくりに関係したものはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。※ここでは、必ずしも無償に限らず、実費や謝礼をもらう等、有償のものも含めてお考えください。



1年間に行ったボランティア活動のうち健康づくりの活動状況について、全体では「スポーツ・文化・芸術に関係した活動」12.0%、「防犯・防災に関係した活動」11.0%、「子どもを対象とした活動」8.7%の順となっている。「ボランティア活動はしていない」は53.9%となっている。

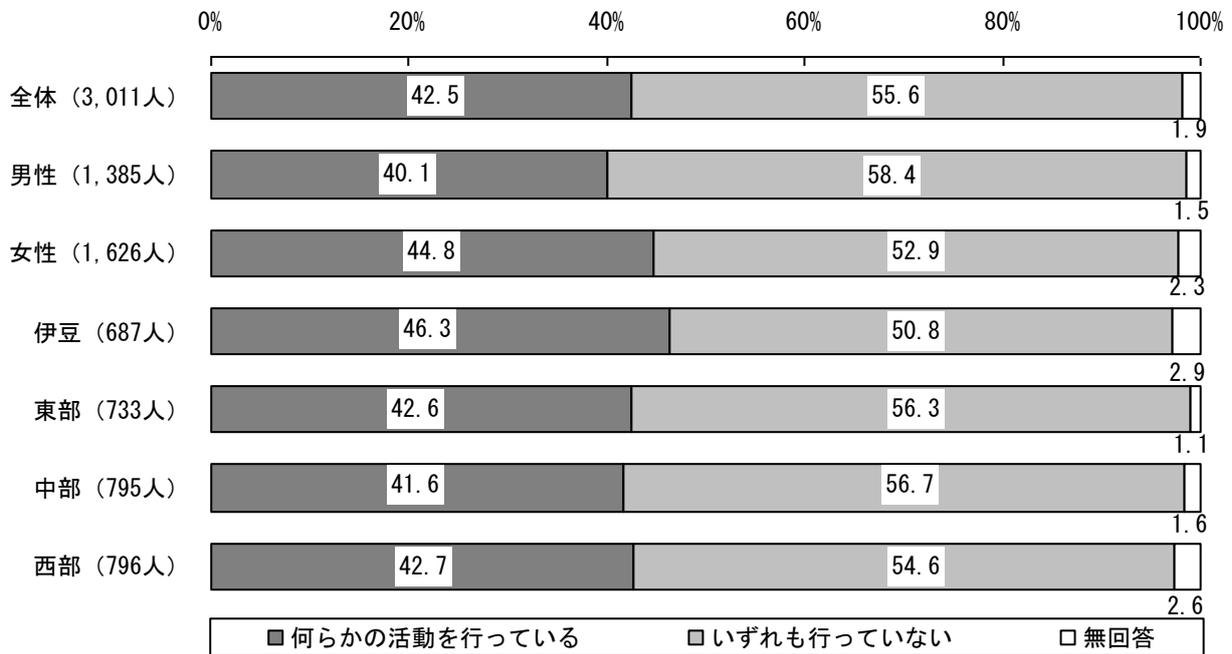
性別では、男性は「スポーツ・文化・芸術に関係した活動」14.3%、「防犯・防災に関係した活動」13.8%、「まちづくりのための活動」10.6%の順となっている。女性は「スポーツ・文化・芸術に関係した活動」9.8%、「子どもを対象とした活動」9.0%、「高齢者を対象とした活動」8.6%の順となっている。

地域別では、全体との順位と比較し差異がみられるのは、伊豆の「自然や環境を守るための活動」10.5%、「防犯・防災に関係した活動」10.2%、「スポーツ・文化・芸術に関係した活動」10.0%の順位である。他の地域の順位には大きな差異はみられない。



## 6-8 地域社会活動、趣味やおけいこ事などの活動状況

【問 31】地域社会活動（町内会、地域行事など）、趣味やおけいこ事などを行っていますか。



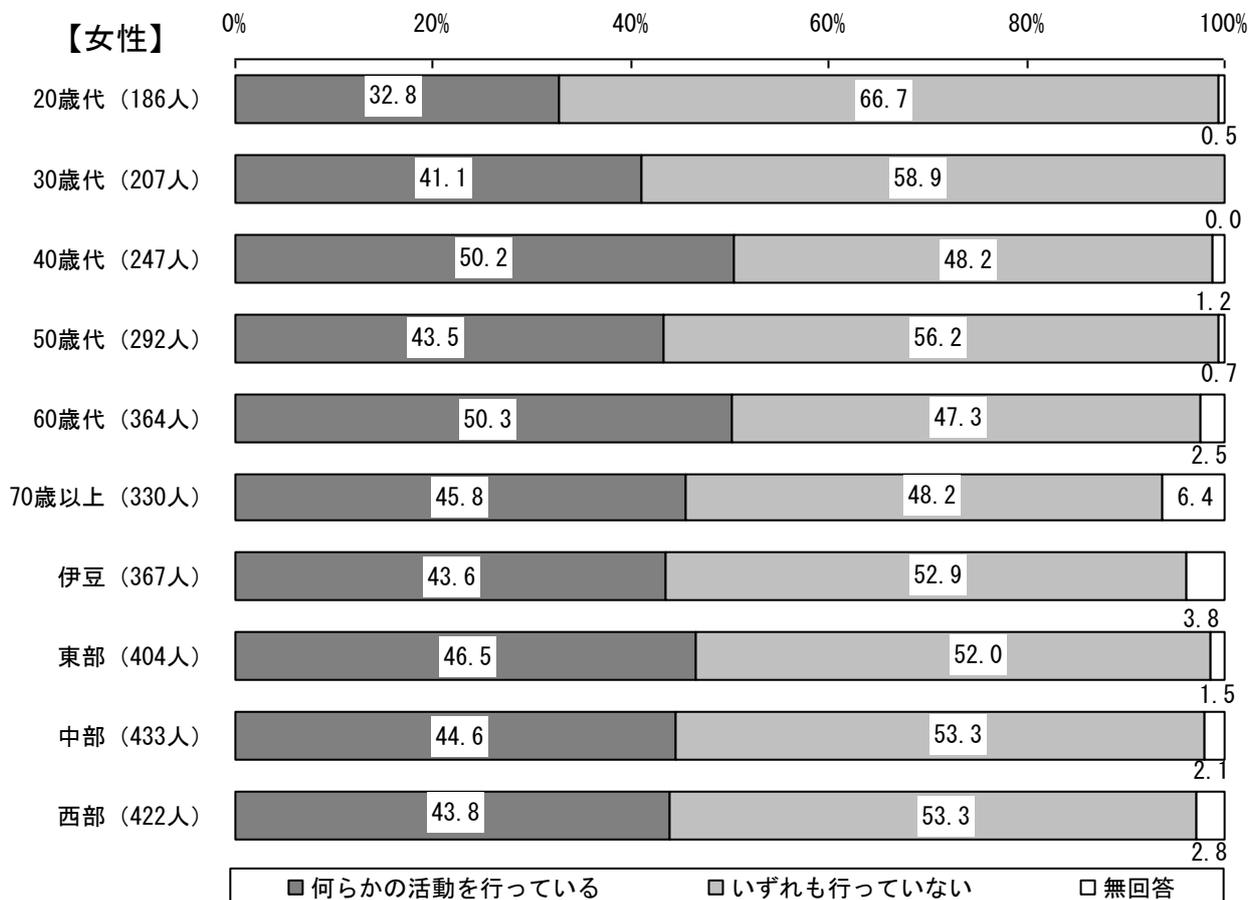
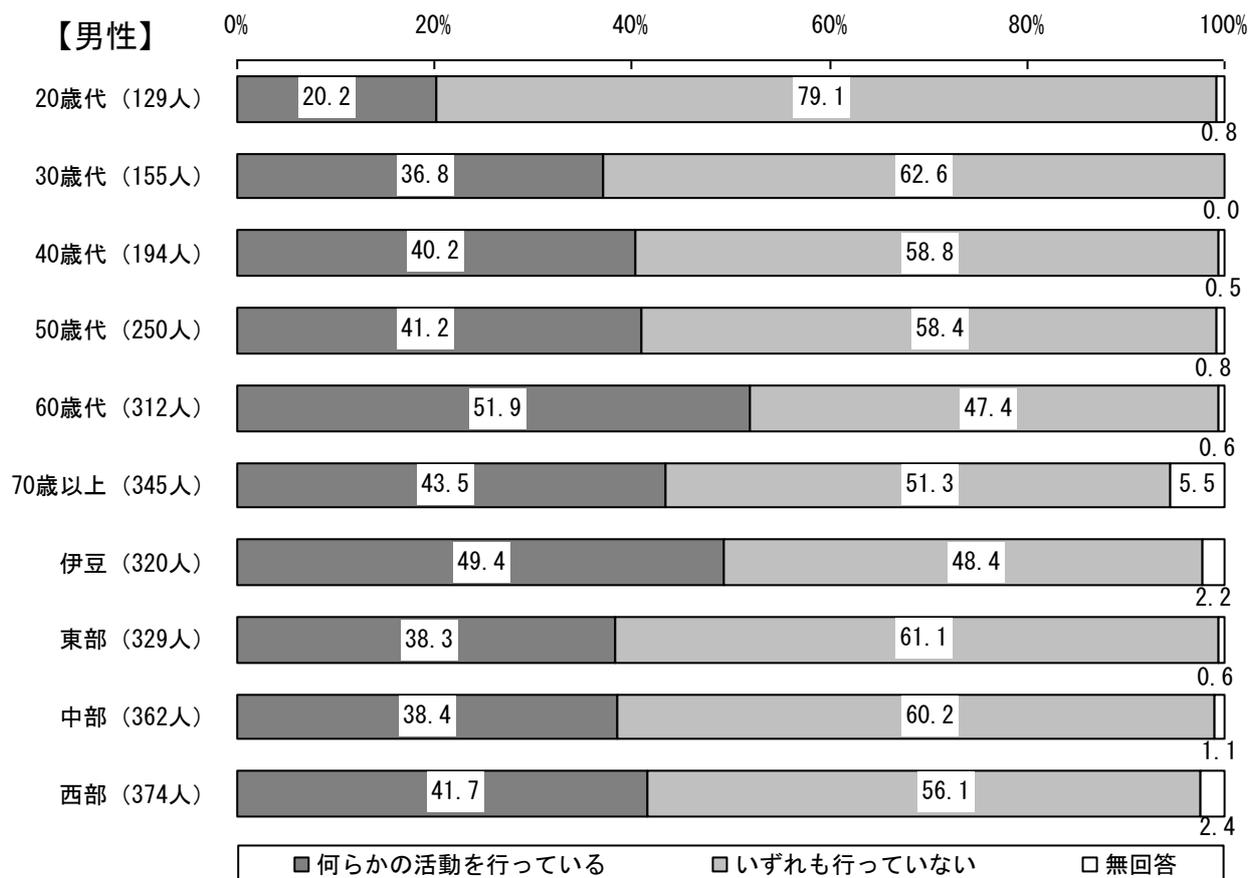
地域社会活動、趣味やおけいこ事などの活動状況について、全体では「何らかの活動を行っている」は42.5%、「いずれも行っていない」は55.6%となっている。

性別では、「何らかの活動を行っている」は男性が40.1%、女性が44.8%と女性が4.7ポイント上回っている。

地域別では、「何らかの活動を行っている」との回答が最も高かったのは伊豆が46.3%、最も低かったのは中部が41.6%となっている。

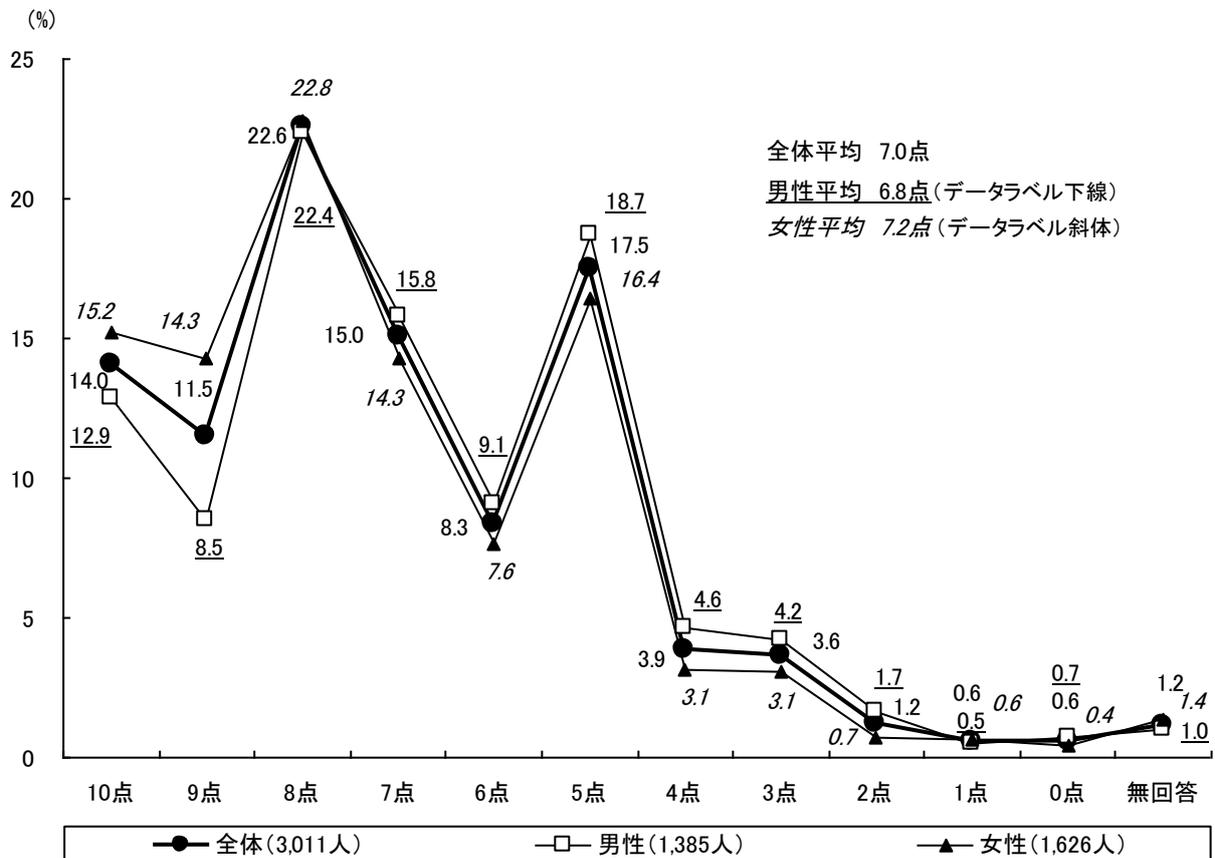
性・年代別にみると、「何らかの活動を行っている」との回答が最も高かったのは男女共に60歳代であり男性60歳代51.9%、女性60歳代50.3%となっている。最も低かったのは男女共に20歳代であり男性20歳代20.2%、女性20歳代32.8%となっている。

性・地域別にみると、「何らかの活動を行っている」との回答が最も高かったのは、男性では男性伊豆49.4%、女性では女性東部46.5%となっている。



## 6-9 主観的幸福感

【問 32】現在あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。



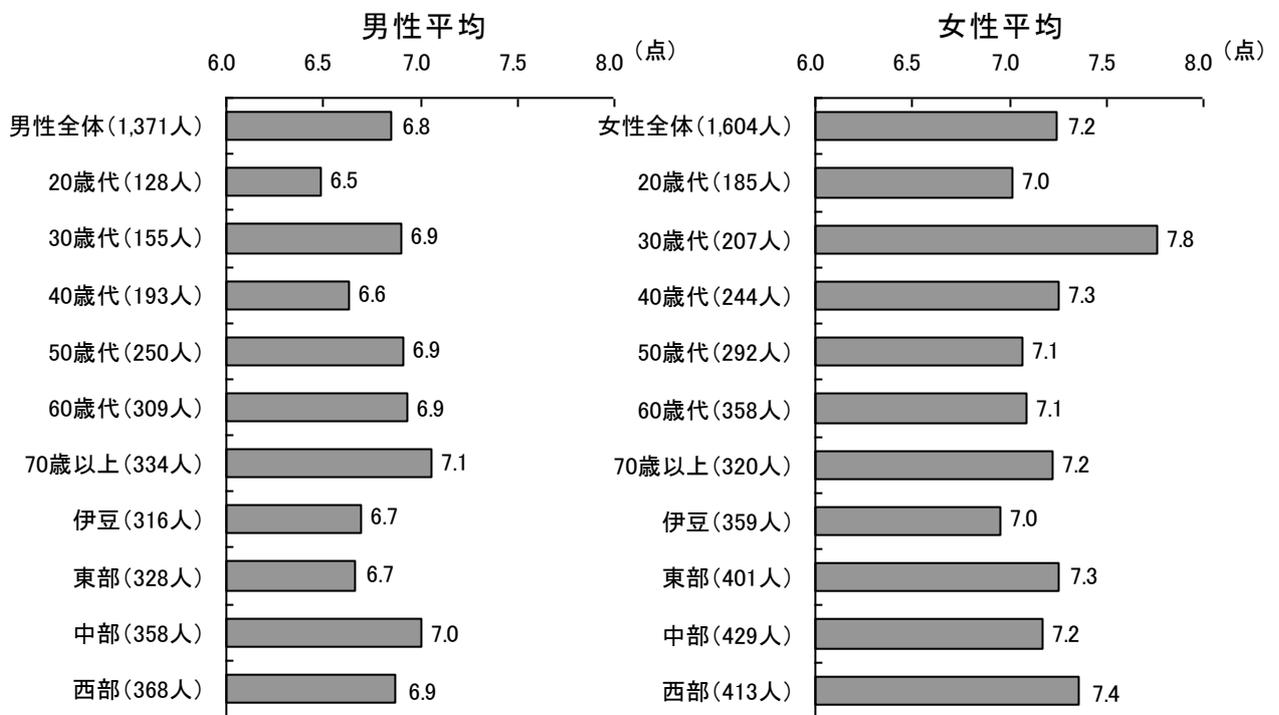
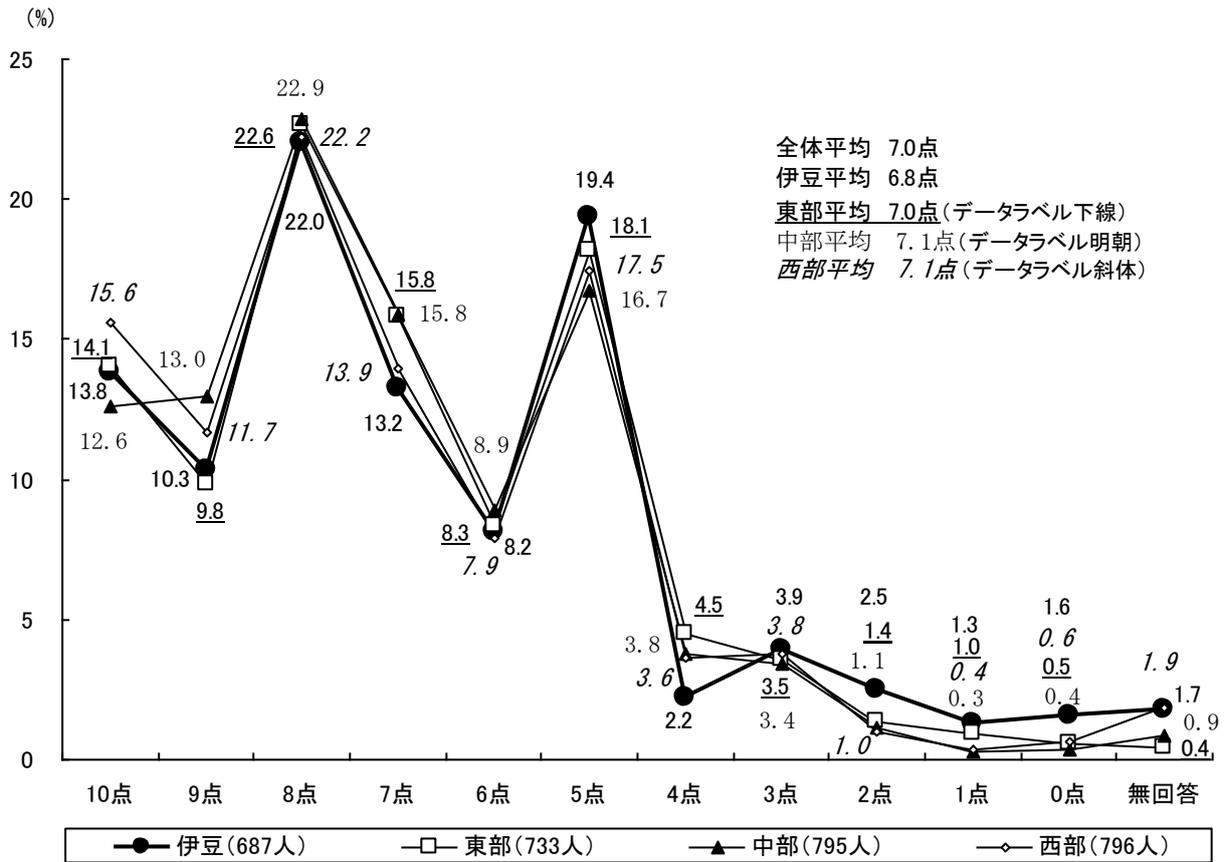
主観的幸福感について、全体では「8点」22.6%、「5点」17.5%、「7点」15.0%の順となっている。平均は7.0点となっている。

性別では、男性は「8点」22.4%、「5点」18.7%、「7点」15.8%の順となり、男性平均は6.8点となっている。女性は「8点」22.8%、「5点」16.4%、「10点」15.2%の順となり、女性平均は7.2点となっている。

地域別では、いずれの地域でも「8点」「5点」の順になっている。平均点が最も高いのは中部、西部7.1点、最も低いのは伊豆6.8点となっている。

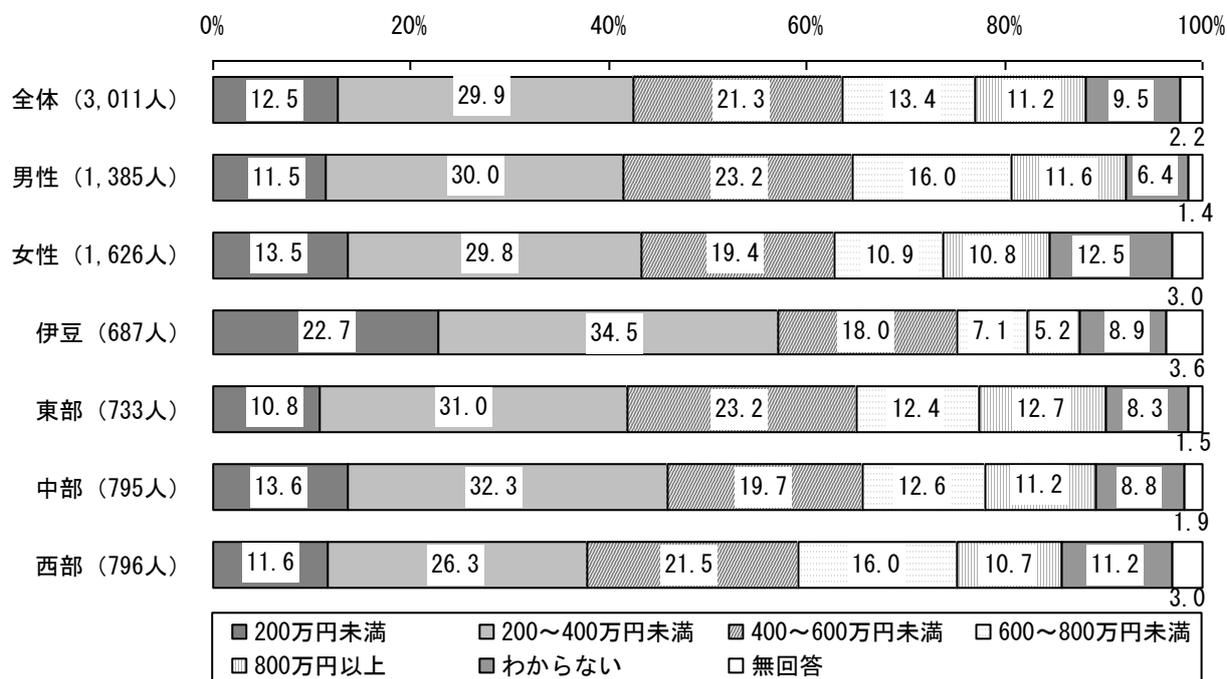
性・年代別にみると、男性で最も高い平均点は男性70歳以上7.1点、最も低いのは男性20歳代6.5点となっている。女性で最も高い平均点は女性30歳代7.8点、最も低いのは女性20歳代7.0点となっている。

性・地域別にみると、男性で最も高い平均点は男性中部7.0点、最も低いのは男性伊豆、男性東部6.7点となっている。女性で最も高い平均点は女性西部7.4点、最も低いのは女性伊豆7.0点となっている。



## 6-10 世帯の過去1年間の年間収入

【問33】 あなたの世帯の過去1年間の年間収入はだいたいどれくらいになりますか。



世帯の過去1年間の年間収入について、全体では「200～400万円未満」29.9%、「400～600万円未満」21.3%、「600～800万円未満」13.4%の順となっている。

性別では、男性は「200～400万円未満」30.0%、「400～600万円未満」23.2%、「600～800万円未満」16.0%の順となっている。女性は「200～400万円未満」29.8%、「400～600万円未満」19.4%、「200万円未満」13.5%の順となっている。

